

## II 植物（星 忠直、酒井 芳男、三森 房義、原島 徳一、千葉 衣子、中川幸夫）

今回の調査対象地域の西那須野地区・塩原地区は那須塩原市の南部から西部にあたる地域で、那須野が原の扇状地と一部が日光国立公園に含まれる山岳地域である。

塩原地区の山麓地区と西那須野地区の大半は、箒川と蛇尾川に挟まれた扇状地の上であり、扇頂部（約 500m）から扇端部（約 200m）にほとんどが含まれる。扇状地の植物相は、概ねアカマツ・ススキの基本生態系からコナラ・クヌギ林、さらに植林によるスギ・ヒノキ林へと、自然の遷移とその時代に対応を迫られた林が分布している。この植物相が分離丘陵の多くに見られる。また、その丘陵の周辺に湧出した湧水は湿地や水辺を作り、水生植物や湿地性植物の生態系を作っている。田畑の周辺では在来の植物種と帰化した植物種が混合した生態系を作っている。

一方、日光市と接する日留賀岳（1,848m）、鹿又岳（1,817m）の高山帯、矢板市や日光市と接する高原山系の釈迦ヶ岳（1,794m）、前黒山（1,678m）、明神岳（1,627m）、剣ヶ峰（1,540m）の亜高山帯があり、亜高山植物や高山植物が分布している。

山岳地域の植物は国立公園といった立地条件とやや下火になりつつある山草ブームによって、以前より回復がみられる。一方、平地林は開田や宅地の造成、管理の放棄によって植生に変化が見られた。

今回の調査では日数の関係で十分とは言えず、更なる調査の必要性を感じる。

### 1. 植物相の現況

平成 17 年度から 5 カ年にわたり、西那須野地区・塩原地区の植物相の現況を、黒磯地区の調査と同様な方法で実施した。

調査の区分は A 地域：国道 4 号以南の地域、B 地域：国道 4 号と東北自動車道に挟まれた地域、C 地域：東北自動車道以北で海拔約 500m 未満の地域、及び山岳地域：海拔 500m 以上の地域の 4 地域に分けて調査した。5 年間と短期間だったので、十分な調査とは言えないが、この間にそれぞれの地域で知りえた那須塩原市として考えられる貴重な植物・保全すべき種や植物相について記したい。

#### (1) 国道 4 号以南の地域・・・A 地域

##### ①一区町と国道 461 号（大田原―野崎線）付近の植生

製紙工場付近や国道 461 号の両側は水田や宅地になり、丘陵地や平地林がほとんど見られない地域である。平地林は小規模なコナラ・クヌギ林で、現在は手入れもなく、林縁はアズマネザサなどがおおっている。林内は暗く、湿度も高く、ツルリンドウ、ヤブコウジ、ウバユリ、チゴユリ、ヤブランなどがあり、林縁ではムラサキシキブ、ウグイスカグラ、ガマズミなどの木本とゲンノショウコ、オオバコ、ヨモギ、ナズナ、イワニガナ（ジシバリ）、ヒメジョオン、ハルジオン、ノアザミ、アメリカセンダングサなど帰化植物と在来の植物とが混在していた。水田の土手では秋にはオオオナモミ、テリミノイヌホオズキ、ユウガギク、カントウヨメナ、タイヌビエ、アキノエノコログサ、エノコログサ、フタバムグラ、イヌトウバナ、ヒメヒラテンツキ、メヒシバ、アキメヒシバなどが見られた。また、前記したようにユウゲショウ、タケトアゼナ、アメリカアゼナ、オッタチカタバミ、アメリカタカサブロウなど、最近にこの地方に侵入した植物も見られた。

##### ②二区町・二つ室付近の植生

ここでは常盤ヶ丘、二つ室岳などの小さな丘陵（250m 級、分離丘陵の一つ）がいくつかあり、スギ・ヒノキ林や従来林のクヌギ・コナラ林が見られた。常盤ヶ丘周辺では、アカマツの大木やシラ

カシ、クヌギの混交林とヒノキの小さな林があり、コナラ、ホオノキ、アオハダ、イイギリなどもあった。ミツデウラボシ、ネバリタデ、ガガイモ、フクオウソウ、コバギボウシ、イチヤクソウ、キッコウハグマ、ヒメヤブラン、ヌマトラノオ、オカトラノオ、オオカモメヅル、オクモミジハグマなどがあり、公園化で植物相も変化しつつあった。

二つ室岳付近ではアカマツ林が衰退してコナラ、リョウブ、アオハダ、エゴノキ、ハリギリ、ネジキなどで林を構成していた。また、常緑樹のアオキ、ヒサカキ、シロダモも見られた。人工林としてヒノキ林・スギ林もあり、低木として林縁にはヤマツツジ、ガマズミ、ムラサキシキブなどがあり、その隙間をアズマネザサが埋めていた。林内は繁茂期にはやや薄暗く、チゴユリ、チヂミザサ、コバギボウシなどがあり、林縁にはガガイモ、メヤブマオ、アカソ、カラスウリ、ヤマノイモ、オニドコロなどがあつた。黒磯地区ではカラスウリよりキカラスウリが多く、キカラスウリに代わっているが、ここでカラスウリが多く見られた。また、特筆したい種類として県内の貴重種である暖地系のムヨウランもあつた。

太夫塚神社にはサネカズラ（ビナンカズラ）が繁茂して目を引いた。また、ハリガネワラビ、ベニシダなどシダ類も多かった。

大山墓所の参道は市天然記念物のイロハモミジの並木で彩られているが、墓所内にスダジイ、ムクロジ、サカキ、カシワ、チャンチン、ヒマラヤスギなどが植栽されていた。下永田の大山小学校にはコナラ・クヌギの林が残されており、県内では珍しいキガンピがあり校内に広がっていた。環境省選定の貴重種のトキホコリや植栽されたと思われるニワウルシも見られた。

### ③石林地区の植生

乃木神社を中心とした植生は、湧水や長く環境を保ってきた神社の境内などが大きく作用している。乃木神社の裏の境内ではシラカシ、ケヤキ、スギの混交林でその他にヒサカキ、サカキが多く植栽されていた。また、別邸の周りにはスダジイ、ユズリハ、エノキ、ケンポナシ、シロダモが見られ、春にはヤブツバキの花がすばらしい彩りを添えていた。

乃木湧水には、淡水産紅藻類のノギカワモズクが生育し代表的な貴重種になっている。乃木湧水と曇沼用水が流れる石林地区の河川にはバイカモ、ミズハコベ、ドクゼリ、ヌマゼリ、フトヒルムシロ、ナガエミクリなど最近各地で減少している貴重種が見られ、水質が良いことがうかがわれた。

一方、田の傍の流れには、貴重なエンコウソウ、ハイキンポウゲ、カザグルマがあり、その流れの末端は蕪中川に注ぐが、そこにもエンコウソウとハイキンポウゲが群生していた。エンコウソウは市内唯一の生育地と思われる。蕪中川の上流の両岸にはコナラ、クヌギ、アブラチャン、シラカシ、ヤマコウバシ、ユズリハ、アオキ、ミヤマウグイスカグラ、シロダモ、カクレミノの林があるが、ゼンテイカ（ニッコウキスゲ）、オクタマスミレ、エイザンスミレ、ヒナスミレ、ジロボウエンゴサク、イチリンソウ、ニリンソウ、ヒヨドリジョウゴなどがあり、センダイタイゲキ、キチジョウソウ、キカシグサなどの貴重種も見られた。この河畔にはベニシダ、イタチシダ、シシガシラ、アカハナワラビ、オオハナワラビなどシダ類が多く見られた。

権現山から龍北山にかけて分離丘陵が続くが、他の地域と同じように、アカマツ林からコナラ、クヌギの落葉広葉樹、そして、スギ、ヒノキ林と人の手によって変化している。人の手の入らない林はアズマネザサ、アズマザサが藪を作っており、そこにはツクバネが比較的多かった。また、トケンラン、ヒメフタバラン、ミヤマウズラ、ジガバチソウなどのラン科の貴重種があつた。権現山の植林の切れているところにはシイ、シラカシ、ヤブツバキ、ウラジロノキ、アオキ、コアジサイ、イタヤカエデ、リョウブ、ガマズミ、ヤシヤブシ、ヒイラギナンテンなどの樹木があり、その下草にシュンラン、ミヤマウズラ、ヒトツボクロ、オオカモメヅル、コシオガマ、ヤブソテツ、オオバイノモトソウ、モミジイチゴ、ヤダケ、アオイスマレなどスマレの仲間が見られた。また、アメリカイヌホオズキ、ヨウシュヤマゴボウ、ベニバナボロギク、コシロノセンダングサ、ノハラナデシコ、メリケンカルカヤ、イチビなどの帰化植物もかなり侵入していた。

#### ④槻沢・関根・東遅沢地区の植生

この地域には清水川、津室川湧水などいくつかの湧水地があり、水辺の植物や沈水植物が見られた。清水川にはエビモがあり、流れの近くにはオオバジャノヒゲ、キツリフネ、アキノウナギツカミなどがあつた。特に津室川湧水地にはコブニレ（ハルニレのホルク層の発達した一型）の大木があり、その周りにはアブラチャンが何本か見られた。湧水の中にはミズハコベ、オランダガラシ、オオハライが多く生育していた。湧水の流れを囲むスギ・ヒノキ林にはアオキが多くあり、林下にはイワガネソウ、オクマワラビ、ホソバナライシダ、リョウメンシダ、ベニシダなどのシダ類が多く見られた。また、春には水辺近くでハイキンポウゲ、ゴウソ、ビロードスゲ、ムラサキサギゴケ、オノノゲシなどがあり、特に、ハイキンポウゲはよく生育していた。

高柳地区には愛知県、岐阜県、対馬にだけ自生している貴重な樹木ヒトツバタゴ（別名：ナンジヤモンジャノキ）の大木が植栽されていた。

東関根から東遅沢まで蛇尾川を上るとカワラニガナが多く、ツルマンネングサ、クルマバナ、マルバアカザ、アブラシバ、オオバヤナギ、ドクウツギなどが見られた。河原の両岸にはツルヨシが繁茂していた。

A地区の林の多くに鳥類の伝播によると思われるカクレミノ、ゴンズイ、ヤツデ、アオキ、ヒイラギナンテン、トウジュロ、マンリョウ、センリョウ、タチバナモドキ、シロダモなど樹木の幼木が見られた。

### (2) 国道4号と東北自動車道に挟まれた地域・・・B地域

#### ①三区町・四区町地区の植生

この地区にはアカマツ、コナラ、クヌギなどの混交林がA地域に比べて残っており、その中にクロモジ、オトコヨウゾメ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、アオハダ、ハリギリ、ハシバミ、ネジキ、エゴノキ、ヌルデ、ツリバナ、ゴンズイ、ガマズミ、レンゲツツジ、ヤマツツジ、バイカツツジ、ノリウツギ、ベニバナニシキウツギ、イヌシデ、クマシデ、アカシデなどが混合していた。また、植林によるスギ・ヒノキ林も各所に見られた。

これらの林の下にはイカリソウ、フモトスミレ、クラマゴケ、トウゲシバ、タチシオデ、ノガリヤス、オヤブジラミ、コウヤボウキ、ハエドクソウ、イヌトウバナ、トンボソウ、ヤナギタデ、ヤブコウジ、シュンラン、オトギリソウ、ヤブラン、ジガバチソウ、ガクビソウ、オオカモメヅル、クモキリソウ、キリンソウなどがあり、ナツエビネ、エビネ、ミヤマウズラ、ムヨウランなどの貴重な種類も見られた。これらの多くの林は下刈りや落ち葉さらいなどがなされておらず。林縁はアズマネザサなどの「籐(シノ)」で被われ、倒木も多く見られた。林の再生がされないと貴重種も減少の一途をたどると思われる。

#### ②烏ヶ森丘陵とその周辺の植生

植栽された樹木と自然の樹木とが混在しており、丘陵の周辺の環境も非常に変化して宅地や耕地になっていた。丘陵を代表する樹木はアカマツの大木でコナラやミズメ、モチノキ、トベラ、カクレミノ、ヒサカキ、ヤブツバキ、ヒマラヤスギ、コメツガ、モミ、サネカズラ（ビナンカズラ）などがあり、サクラの仲間のソメイヨシノ、ヤマザクラ、カワヅザクラ、ツツジの仲間のヤマツツジ、レンゲツツジ、アジサイの仲間のアジサイ、ガクアジサイ、コアジサイなどがあつた。北側にはミズキ、アカシデ、ホオノキ、コシアブラ、コナラ、ヤマウルシなど公園化以前の樹木があり、多くの斜面にはコスミレ、ヒメスミレ、アカネスミレ、ツボスミレ、マルバスミレ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレがあつた。春にはカタクリ、キランソウ、エゾタンポポが見られ、季節に応じてヤマユリ、アカネ、ナズナ、ノボロギク、スズメノヤリ、ヤマジノホトトギス、ケキツネノボタン、セリ、ミズヒキ、ネコノメソウ、ヤマネコノメソウ、アマチャヅル、シュンラン、サイハイラン、ギンリョウソウ、ヤブソテツ、リョウメンシダ、トウゲシバなどがあつた。シャガの群生やキチジョウソウ、カヤラン、アサザなど貴重な種も見られた。

### ③母智ヶ丘・赤田山周辺の植生

母智ヶ丘はアカマツを中心とした樹林が現存しているが、赤田山はアカマツ林にシラカシ、モミ、スギ、クマシデ、モウソウチクで林を構成している。さらに、西側から北側の斜面にはヤツデ、タカノツメ、カクレミノ、シロダモ、アオキが後から侵入したものと思われる。その点で西那須野地区の他の植生と共通する。また、ミヤマウグイスカグラ、ヤマブキ、ウリカエデ、ヒメコウゾ、ハリギリ、ムラサキシキブ、ヤマウルシもあり、ツルアリドオシ、イヌザクラ、バイカツツジ、ヒトツボクロ、シュンラン、ギンラン、ネジバナ、オオバギボウシ、フユノハナワラビ、オオハナワラビや帰化植物のモミジバヒメオドリコソウ、ミチタネツケバナも見られた。夏には境内の平坦部はヒメジソが被っていた。

### ④井口・西遅沢地区の植生

この地区には出釜（でがま）と呼ばれている湧水地が数か所見られ（季節で水の出ないものもある）、その環境が植相に大きな影響を与えている。井口の大鷹の湯付近では過去に湿地だったと思われる環境が見られ、コナラ・クヌギ林にクロウメモドキ、ノリウツギ、ヤマナラシ、イボタノキ、ナツハゼ、ハシバミなどがあり、ゼンテイカ、ツルボ、ヌマトラノオ、カントウタンポポ、ヤマタツナミソウ、コカモメヅル、ダイコンソウ、コイトスゲ、ヒメスゲ、シロイトスゲ、イチヤクソウ、ササバギンラン、クサイチゴ、シオデ、ミヤマナルコユリ、ヤマハッカ、ヒメシロネなどがあつた。特異な種類としてイブキトラノオ、ホタルサイコ、エゾノタチツボスミレ（白色）、ラッキョウヤダケがある。また、センダイタイゲキ、ルリソウ、バアソブ、オミナエシ、キジカクシ、キンラン、エビネなどの貴重種も多数見られた。

西遅沢地区の遅沢橋の蛇尾川の河川敷には、カワラニガナの群生が見られ、ネジバナ、アブラガヤ、コモチマンネングサ、ツルマンネングサ、カワラヨモギ、カワラノギク、マメグンバイナズナ、ナンテンハギ、ドクウツギ、エノキ、オオバヤナギ、ニワウルシ、キバナノマツバニンジン、ノカンゾウ、ヤブカンゾウ、イタチハギ、ムシトリナデシコがあり、河岸にはエビヅル、ヒルガオ、コオニユリ、イタドリ、ツルマメ、オオケタデ、ネナシカズラ、コナギ、フシグロ、チョウジタデ、スズメウリ、ニコゲヌカキビ、シナダレスズメガヤなどがあり、在来種と外来種が混生していた。

### ⑤接骨木地区の植生

地方競馬教養センターの傍に、藤荷田山と権現山をつなぐ小さな分離丘陵があり、アカマツの林がある。また、センターの周辺にはコナラ・クヌギ林があつた。その林にはリョウブ、エゴノキ、ヤマザクラ、アオハダ、ヤマウルシ、ヌルデなどが混交しており、アカマツ・ススキの生態系も見られた。さらに、ヨツバヒヨドリ、ヒヨドリバナ、ヤブラン、コウヤボウキ、フモトスミレ、チヂミザサ、コケイラン、ジガバチソウ、クモキリソウ、ミヤマウズラ、ヒゲシバが見られ、東北自動車道近くの草地にはウマノアシガタ、オオアブラススキ、ミツバツチグリ、ノハナショウブ、オオニワゼキショウなどがあつた。

## (3) 東北自動車道より北部で山麓までの地域（海拔 500m未満）・・・・・・C地域

### ①藤荷田山と那須野が原公園の植生

北東の急斜面は植栽されたスギ林で、ベニシダ、ハリガネワラビ、ホソバシケシダ、チヂミザサ、キッコウハグマ、ドクダミなどがあつた。下部斜面はコナラ、クマシデ等の疎林で、一部にアズマネザサが密生しているが、春先にはカタクリの咲き乱れるところがある。山頂部にはコバギボウシ、ヤマジノホトトギス、フモトスミレなどがあり、西側斜面はアカマツ、モミ、シラカシ、クマシデ、コナラなど落葉広葉樹林と針葉樹林の混交林になっていて、南東側は東北自動車道で断ち切られていた。また、西側から北側にかけて那須野が原公園や赤田調整池があり、シラカシ、コナラ、クヌギ、クリ、アカマツ、モミの混交林が広がっていた。その林にはリョウブ、ヤマツツジが多く見られ、ヤマウルシ、タラノキ、コゴメウツギ、エゴノキ、ウリカエデなどの低木があり、チゴユリ、

コバギボウシ、チヂミザサ、ツリガネニンジン、ウスゲタマブキ、ヒメニラなどが下草として生育していた。那須野が原公園には植栽されたトウカエデ、スズカケノキなどのような街路樹も多くあった。今後の推移が注目される。

## ②千本松周辺の植生

千本松牧場、畜産草地研究所、栃木県酪農試験場、全畜連研修牧場、ゴルフ場など研究機関やスポーツ施設、レジャー施設が占めている地域で、アカマツを中心とした林相やコナラ・クヌギ・ミズナラの混交林が見られた。また、スギ林・ヒノキ林もあり、アカマツの大木、ユリノキの大木が旧松方邸の周りで見られた。その前面の林にはミズメ、ウメモドキ、ウグイスカグラ、バイカツツジ、トウゴクミツバツツジ、レンゲツツジ、ネジキ、ナワシログミ、オオイタヤメイゲツ、オオモミジ、ウリハダカエデ、ウリカエデ、イロハモミジ、カラコギカエデ、ハシバミ、ウスノキなどがあり、イチヤクソウ、マルバイイチヤクソウ、ジンヨウイチヤクソウ、サジガンクビソウ、ヒトツボクロ、ウメガサソウ、ヤブコウジ、ツルリンドウ、クモキリソウ、オオバノトンボソウ、コセリバオウレン、ツチアケビなどがあった。また、ジガバチソウ、キンラン、ササクサ、ジンバイソウなどの貴重な種も見られた。牧草地や植栽との関係か、シラユキゲシ、オオカナダオトギリなどの種類が路肩に見られた。

畜産草地研究所の牧草地に外来種のマキバスマイレがあり、芝地にはミヤコグサも少数見られた。牧草地の周囲にアカマツ、ヒノキ、アカシデ、クマシデ、クヌギ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、エゴノキ、イタヤカエデ、ヤマモミジ、コナラ、リョウブ、ホオノキ、ミズキなどの混交林、落葉広葉樹林があり、アオキ、アケビ、イヌツゲ、ガマズミ、クマイチゴ、ニガイチゴ、シロダモ、タラノキ、サワフタギ、ニシキギ、ムラサキシキブ、ヤマウルシなどの低木が生える。下草としてはゼンマイ、オカトラノオ、アマチャヅル、カメバヒキオコシ、タニソバ、コバノカモメヅル、スイカズラ、ヒヨドリバナ、アキノキリンソウ、タチドコロ、ヤマジノホトトギス、ミヤマウズラ、アケボノシュスラン、ベニシュスランなどが見られる。また、早春にはアオイスマイレ、エイザンスミレ、コスミレ、アズマイチゲ、キクザキイチゲなどが林縁で見られた。

## ③金沢の河川敷の植生

高阿津に接している金沢地区の河川敷にはツルヨシ、オギ、ススキなどのイネ科の仲間が多く見られる。その中で特に目立つ種類として、カワラナデシコ、エゾカワラナデシコ、オオナンバンギセルがあった。各地の河川敷でその数を減らしているカワラナデシコが、沢山見られるのは貴重である。また、メガルカヤの群落も見られた。一部耕地として利用されている草地にはノハラアザミの奇形とみられるクルマアザミがあった。また、ツリガネニンジンやシラゲシャジンも見られた。

## ④大貫地区の植生

スギ・ヒノキ林やアカマツ・コナラ・クヌギの混交林などが点在している。そこにはイロハモミジ、オオヤマモミジ、コシアブラ、ウコギ、ヤマウルシ、ヌルデ、ミヤマガマズミ、ヒサカキ、ゴンズイなどがあり、低木として、ヤブコウジ、ツクバネ、コウヤボウキ、バイカツツジ、オオバマンサクがあった。その周囲にはオカメザサ、アズマネザサ、ヤダケなどのササの仲間が見られた。その下にはヒロハノトウゲシバ、ホソバノトウゲシバ、イヌトウバナ、アカバナ、ヤブコウジ、クルマバナ、クモキリソウ、ノチドメ、ジャノヒゲ、ヨツバムグラ、ヤマムグラが見られた。林内には倒木や立ち枯れの樹木があり、平地林の景観が壊れているところもあった。

## ⑤宇都野・金沢地区の植生

大貫地区から宇都野橋を渡った宇都野地区は、箒川の影響が大きく河川敷の延長のような植生が見られた。また、山際の植生はコナラ・ミズナラ・クヌギの混交林や植林されたスギやヒノキ林が見られた。また、金沢地区の箒根神社周辺ではスギの古木が林をつくり、テイカカズラ、ツルマサ

キ、ツタウルシなどが生育していた。

宇都野地区の河川敷近くにはヒルガオ、ガガイモ、カナムグラ、カラムシ、ナガバヤブマオ、メヤブマオ、クサコアカソ、ツユクサ、コボタンヅル、ヤブツルアズキ、キクイモなどがあり、山林にはキバナアキギリ、サラシナショウマ、ハンショウヅル、ヤブハギ、エビヅル、フジカンゾウ、ツルニンジン、ノササゲ、ナツノハナワラビがあった。また、小規模な湿地や休耕田の周辺にはヒメテンツキ、コバノカモメヅル、ヤマカモジグサ、ヒデリコ、ヘラオモダカ、ホツツジ、トネアザミ、カンガレイ、アゼムシロ、イヌホタルイ、アブラガヤなどが見られた。

前記の箒根神社の林にはアスナロ、ヤブムラサキ、アワブキ、フジカンゾウ、アオミズ、ナガボハナタデ、タマブキ、フシグロセンノウ、ショウジョウバカマ、トンボソウ、シャガ、ミョウガ、ツリフネソウ、キツリフネがあり、林縁の土手にはツルボ、ヒメノガリヤス、ニガクサがあった。

## ⑥大黒岩から塩原ダム周辺の植生

大黒岩周辺は箒川に沿った溪谷で、多くの化石を含む地層が河岸に見られる。また、この地層が水の浸食と風化によって岩塊を作ったり、湿った地層を作ったので、日蔭で湿ったところを好むシダ植物などが見られた。

この溪谷や箒川に流れ込む下戸倉沢はフサザクラ、ツノハシバミ、ヤマコウバシ、ミズナラ、カツラ、ウラゲエンコウカエデ、アブラチャン、キブシ、シラキ、ミズキなどの樹木で被われていた。

岩塊や湿った地層、石垣にはコケ類と共にクモノスダ、ツルデンダ、イワデンダ、ハコネシダ、ビロードシダ、ミツデウラボシ、イワヒバなどのシダ植物があった。また、同じような環境を好むイワタバコ、ダイヤモンドソウ、イワキンバイなどが見られた。その他としてはアカザ、コアカザ、メナモミ、コメナモミ、センダイトウヒレン、ハナタデ、ヤマハッカ、オオヤマハコベ、ダイコンソウ、ヒメノガリヤスがあった。

塩原ダムへの道の両側はスギ林で、その林縁や林内にタニソバ、ボントクタデ、フタバアオイ、ヤマハタザオ、オオヤマハコベ、カラスザンショウ、フジウツギ、シラネセンキュウ、キツネノマゴ、タマブキ、ヤブミョウガ、ナガバハエドクソウ、ギンリョウソウ、ギンリョウソウモドキなどが見られた。

## ⑦横林地区の植生

横林地区にはアカマツ・コナラ・クヌギの混交林や植林されたスギ、ヒノキ、サワラなどの常緑針葉樹が点在していた。また、水田や畑のそばに放棄された草地などがあり、旧来の植生に近い土地もあった。

その混交林にはキブシ、ウグイスカグラ、ミヤマウグイスカグラ、ミツデカエデ、イタヤカエデ、ミツバウツギ、ツクバネ、ウツギ、イボタノキ、ヒトツバカエデ、カジカエデ、ノリウツギ、ムラサキシキブなどがあり、草本としてはキクザキイチゲ、カタクリ、ヒゲネワチガイソウ、ウスバサイシン、ユキザサ、ヤマガシユウ、ギンリョウソウ、ミヤマカラマツ、ヒトリシズカ、キツリフネ、ヤブレガサ、オオバジャノヒゲ、キバナノマツバニンジン、ツチアケビ、オオヤマサギソウ、シデシャジン、カノツメソウ、ウマノミツバ、ダイコンソウ、フシグロセンノウ、キツネノカミソリ、イヌコウジュ、ヒメキンミズヒキ、トネアザミ、ツルリンドウ、ツルニンジン、タニソバ、アマチャヅル、アズマレイジンソウ、アキノウナギツカミ、ヤマタツナミソウ、マルバコンロンソウ、カテンソウ、アマナなどがあった。特筆したい種類としてはシュスラン、オオカモメヅル、アケボノシュスラン、ベニシュスラン、ミヤマウズラ、ジガバチソウ、カワラニガナなどが挙げられる。水田や休耕田にはヒメハリイ、アゼトウガラシ、チョウジタデ、ヤナギタデ、ハイヌメリグサ、キカシグサなどが見られた。

## ⑧関谷・遅野沢付近の植生

この地区はミズナラ・コナラ・クヌギなどの落葉広葉樹林と整備されたスギ林・ヒノキ林や農耕

地が多くを占めている地区であったが、分譲による宅地造成や酪農による草地の確保によって樹林が少しずつ減少している。しかし、近年は「森林の大切さ」に配慮された開発により、樹林が十分保全されるようになってきている。

関谷地区の分譲された林を見ると、ミズナラ・コナラを中心に、リョウブ、エゴノキ、イイギリ、コハウチワカエデ、ヌルデ、モミ、ウリハダカエデ、アオハダ、ノリウツギなどが林を作っている。その下にはアズマネザサ、スズタケ、ミヤコザサ、ノササゲ、カラハナソウ、ヤマハギ、サイハイラン、オオカモメヅル、チョウジザクラがあり、春にはツクバキンモンソウ、サクラスミレ、オオタチツボスミレなどが見られた。また、この地区にはトケンラン、コケイランなどの貴重な種類も見られた。

安戸山の麓にあたる遅野沢付近はヒノキ林やスギ林が多く、その間に落葉広葉樹林があった。また、植林された針葉樹林を過ぎると落葉広葉樹が広がっている。針葉樹林下ではキバナアキギリ、カノツメソウ、ハルトラノオ、オオミゾソバ、マツカゼソウ、カンスゲ、フシグロセンノウ、カメバヒキオコシ、エゴマ、タツノヒゲ、アシボソ、ダイコンソウ、ヤマハッカ、アケボノスミレなどがあり、エビネ、ジガバチソウ、カヤランなどの貴重な種類もあった。この落葉樹林にはスズタケの群落があった。

## ⑨ 墓沼周辺の植生

この地区は蛇尾川を挟んだ二地区に分かれていて、河川敷・河岸段丘、旧河川敷と変化の多い地区である。

蛇尾川の西側の段丘にはミズナラ、コナラ、モミの混交林カタクリ、セツブンソウ、キクザキイチゲ、ハクサンハタザオ、ユリワサビなどがあり、墓沼用水の水路に沿ってはフサザクラ、ハンバミ、サワグルミ、マダケ、ハチクなどが繁っていた。

河川敷では、より上流の区域に生育量が多いバッコヤナギ、カワラハンノキ、オオバヤナギ、ヤシヤブシ、クマシデなどの幼苗や成木が見られた。また、西側の河岸では植林された針葉樹林の中にコハウチワカエデ、ウリカエデ、オニイタヤ、ミヤマイボタ、ミヤマガマズミ、マルバアオダモ、サルナシなどがあり、アズマレイジンソウ、レンゲショウマ、アケボノシュスラン、ヒメニラ、ナベナ、キジカクシなどもあった。春には、草地にアズマイチゲ、キバナノアマナ、フクジュソウも見られた。

東の対岸的那須塩原クリーンセンターの周辺はミズメ、イヌザクラ、ウワミズザクラ、カスミザクラ、ヤマザクラ、ミズナラ、コナラ、クヌギ、アカマツの混交林とスギ・ヒノキ林があり、クロヒナスゲの群生、アケボノシュスランの群生、サイハイランの群生があり、キンラン、ササバギンラン、ハクウンラン、ヒゲシバ、ヒトツボクロも見られた。また、湿地にはイトモ、カンガレイ、ガマあり、この環境がビオトープ池でも見られるように配慮されている。この近くの河川敷にはカワラニガナの群落もあった。シダの仲間ではミヤマクマワラビ、ナライシダ、キヨタキシダ、ツヤナシイノデ、ヤマイヌワラビ、オシダ、イワヘゴ、ヤマイタチシダなどが見られた。

## (4) 海拔 500m以上の山岳の地域・・・山岳地域

### ① 安戸山の植生

山麓のスギ・ヒノキ林を過ぎた標高の植生を見ると、基本的にミズナラ、ブナ、オオイタヤメイゲツ、アサノハカエデ、ヤマハンノキなどの混交林とトウゴクミツバツツジ、アカヤシオ、ゴヨウツツジなどツツジ科の低木の林が見られる。東斜面の林にはダケカンバ、クマシデ、チドリノキ、ヤマネコヤナギ、オオバマンサク、ハクウンボクがあり、落ち葉が多く堆積して腐葉土を作っていた。また、これらの樹木は雪に根元を曲げられて生育していた。この林の下草としては、ミヤコザサが占め、カタクリ、エンレイソウ、ウスバサイシン、フタバアオイ、ハナネコノメ、ニッコウネコノメ、ツルキンバイ、ヒメイチゲ、ヤマエンゴサク、カンスゲ、ミヤマカンスゲ、マキノスミレ、トウゴクサバノオ、バイケイソウ、ハシリドコロ、レンゲショウマ、メタカラコウ、サラシナショ

ウマ、フシグロセンノウ、キツネノカミソリ、カメバヒキオコシ、クルマバハグマ、ヤマブキシソウ、アズマレイジンソウ、ミツバベンケイソウなどがあった。北斜面の林ではキハダ、メグスリノキ、カジカエデ、ダケカンバが高木を形成し、その下にツツジ科の仲間があったが、腐葉土は少なく根が露出していた。この下草としてはイワウチワ、ショウジョウバカマ、オカスミレ、タガネソウ、アケボノスミレ、コウヤボウキ、オクモミジハグマ、ミヤマツチトリモチ、ユキザサ、シモツケソウ、ルイヨウショウマ、オオバショウマ、ヤマシャクヤク、オオヤマハコベ、キクザキイチゲ、ニリンソウ、ソバナ、コセリバオウレン、ミヤマママコナなどがあった。

送電用鉄塔下の草地にはオオナンバンギセル、カキラン、マツムシソウ、カシワ、ママコナ、リンドウなどがあった。今回の調査で、初めてマツムシソウが見つかった。

特記したいものとしては、ハシリドコロ・バイケソウ・キツネノカミソリ・イワウチワ・ショウジョウバカマ・コセリバオウレン・レンゲショウマの群落が挙げられる。

## ②八汐ダム周辺の植生

ここの植生を見るとミズナラ、ブナ、オオモミジ、ヤマハンノキ、ヤマネコヤナギなどの混交林で、ミズメ、ウダイカンバが混入していた。また、川筋ではツノハシバミ、フサザクラ、ヤマネコヤナギが占有種であった。

林道であった取り付け道路の両側には、カエデの仲間のイロハモミジ、オオモミジ、ハウチワカエデなどと、ヤシャブシ、オオバヤシャブシ、ヒメヤシャブシなどヤシャブシの仲間が多く植えられていた。また、この道路の入口付近はスギ・ヒノキの林になっていた。さらに、クマシデやクサギがあり、そのクサギが多彩な色の花を咲かせていた。

八汐ダムの周辺にはヤマアジサイ、エゾアジサイ、タマアジサイ、ツノハシバミ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ヒトツバカエデ、ヤマネコヤナギなどの混交林が見られ、その下をテンニンソウ、ヤグルマソウやチシマザサが被っていた。また、アジサイの仲間やヤシャブシの低木の間にはクマイチゴ、クロイチゴ、エビガライチゴが広がっていた。

草本類では従来の種に加えて、工事によって他所から運ばれて来た種や外来種が見られた。主な種類を挙げると、サルナシ、オオヤブジラミ、トモエソウ、オオウバユリ、ギシギシ、ムカゴイラクサ、ミズ、アキノウナギツカミ、イヌタデ、サンカクヅル、ウチワドコロ、ヤマハタザオ、クサボタン、フシグロセンノウ、サラシナショウマ、レンゲショウマ、オヤマボクチ、ハンゴンソウ、キオン、オオヨモギ、カメバヒキオコシ、カラハナソウ、カナムグラ、イワヨモギ、オトコヨモギ、トネアザミ、ナンブアザミ、ヤマニガナ、ニガナ、ハナニガナ、エゾスズシロ、ツボミオオバコ、エゾノギシギシ、カワミドリ、カワラマツバなどであった。

## ③墓石園地から留春の滝まで（回顧コース）の植生

墓石園地から回顧吊り橋を渡る箒川の両岸にはミズキ、ケヤキ、ウラジロモミ、ゴヨウツツジ、ケアオダモ、オニイタヤ、アカシデ、ウラゲエンコウカエデ、ヤマアジサイ、フサザクラ、ミヤマハハソ、クサギ、オオバマンサク、キブシ、ネジキ、ヤシャブシ、クマシデなどがあり、カエデの仲間のイロハモミジ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、チドリノキなどが溪谷を被っていた。そこから山に入るとイヌブナ、ウラジロモミ、ケンボナシ、キハダ、ウダイカンバ、ハリギリ、モミ、シラカシなどの大木があり、植栽されたスギ林と続く。さらに進むとトウゴクミツバツツジ、ゴヨウツツジ、ヤマツツジ、ウリハダカエデ、コハウチワカエデ、リョウブなどの低木の林になる。この低木林を下るとモミ林となりサワグルミ、チドリノキ、コナラ、イヌブナ、アワブキ、クマシデ、アカシデ、ウワミズザクラ、イタヤカエデなどの混交林になる。留春の滝付近ではフサザクラ、クマノミズキ、イイギリ、イヌブナ、アワブキが溪谷を被い、その下にテンニンソウ、タマアジサイ、ヤマアジサイ、ミヤマハハソ、ウリノキそして、ウワバミソウ、アカソなどが露頭を被っていた。

この地で特筆されるものにはツツジ類が多く見られること、塩原溪谷の特性のカエデの仲間が多く見られることである。また、最高地点付近にはヒメシャガの群落があり、さらに下るとイワタバ



コ、クモノスシダ、ハコネシダ、モミラン、ウチワゴケ、オオバギボウシ、ダイヤモンドソウ、シャクジョウソウ、ケヤマウツボ、サワリソウなどの貴重な種も見られた。

ツツジ類の咲く季節にはその下にマキノスミレ、オカスミレ、エイザンスミレ、ヒゲネワチガイソウ、ミヤマハコベ、ヒロハテンナンショウ、ヒメフタバラン、ヤマネコノメソウ、ミヤマエンレイソウ、エンレイソウ、フデリンドウ、ツルキンバイなどがあり、林下にはムカゴツヅリ、ヒトリシズカ、ヒメフタバラン、ベニシュスランなどが見られた。このコースの岩石の露出しているところにはヒメウツギが多く、シダの仲間のフクロシダ、イワイタチシダ、クモノスシダ、ハコネシダ、ツルデンダ、コウヤコケシノブ、ビロードシダ、オウレンシダなどが着生していた。猿岩洞の近くのイタヤカエデにはテイカカズラが見られた。この遊歩道にはシロヨメナが多く見られたがニホンジカ、ニホンカモシカなど哺乳類の採餌行動との関係が考えられる。

#### ④竜化の滝周辺の植生

駐車場から竜化の滝の入口へと進むとミズナラ、ケヤキ、ブナ、イタヤカエデ、イヌシデの落葉樹の混交林に入る。さらに、溪谷沿いに滝へ遡るとフサザクラ、チドリノキ、ヤマアジサイ、ハルニレが見られる。途中の露出した岩場にはコケシノブ、タマガワホトトギス、ヒメカンスゲ、アズマスゲ、コカンスゲ、イヌヨモギ、ヒゲネワチガイソウ、オククルマムグラ、フモトスミレ、ケヤマウツボ、フタバアオイ、ツルネコノメソウ、ハナネコノメソウ、ユリワサビ、キクザキイチゲ、ダイヤモンドソウなどがあり、滝の両岸にはイワヒバ、シモツケソウが確認された。滝に向かう道筋にはイワトラノオ、ヒロハイヌワラビ、サカゲイノデ、ツヤナシイノデ、キヨタキシダ、イワガネゼンマイなどのシダの仲間があった。

大網から箒川ダムを経て不動の湯に到る遊歩道にはブナ・ミズナラ原生林があり、4月中旬にはアカヤシオの群生も見られる。林内にはスミレサイシンが多く見られ、不動の湯の近くにはキバナウツギ、ベニバナツクバネウツギが見られた。

大網の付近ではキンラン、ササバギンラン、ユウシュンランなどラン科の種類が良く見られた。また、クワガタソウが数多く見られた。

#### ⑤中塩原（谷地畑・幕岩坪・八幡下）の植生

幕岩坪のシラン沢と箒川の合流点の近くにはエゾエノキ、カヤ、コナラの大木があり、コナラにはシノブが着生していた。また、シラキ、オオミヤマガマズミ、ヒメコウゾ、サルナシなどがあり、その道路沿いにクマワラビ、ヒゴクサ、トボシガラ、カニツリグサ、ヒメカンスゲなどがあつた。また、八幡下の側壁にはタヌキランの群生が見られた。

日塩道路の逆杉から上塩原に通じる新道近くの谷地畑・田代と呼ばれる地区には、水田とヤマモミジ、イヌシデ、アカシデ、クリ、コナラ、エゴノキなど落葉樹の林、スギの林、アカマツを主とした林、ススキの草地などがありそれぞれに特徴のある植生をしていた。

水田の周辺や休耕田にはオオヤマフスマ、ヤマハタザオ、ラショウモンカズラ、ホウチャクソウ、ホタルブクロ、アオスゲ、カワラスゲ、ゴウソ、ヒゴクサ、ヤマアゼスゲ、ツルカミカワスゲ、イ、アブラガヤ、アイバソウ、ガマ、エゾミソハギ、ヤブカンゾウ、チダケサシなどがあり、スギの林縁にはミツバウツギ、クロウメモドキ、ヤマウコギ、ミズタマソウ、ムカゴイラクサ、フシグロセンノウ、マタタビ、ゴマナ、トネアザミ、ナンブアザミ、ミズヒキ、コゴメウツギ、アサノハカエデ、シシウド、サラシナショウマがあり、特記したい種としてナベナがあつた。

シダの仲間にはコウヤワラビ、ヒメシダ、ジュウモンジシダ、オウレンシダ、ハクモウイノデ、フモトシケシダ、ヤマイヌワラビ、ミサキカグマなどがあつた。

落葉樹の林縁にはガマズミ、ヤマウルシ、コシアブラ、アオハダ、コゴメウツギなどがあり、ヤマニガナ、ママコナ、エゾタチカタバミ、アキカラマツ、カワラナデシコ、エビヅル、オカトラノオ、ヒヨドリバナ、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、フタバアオイも見られた。また、アカマツ林とコシアブラ、ガマズミ、アズマネザサの中にハクウンラン、ミヤマウズラ、イチヤクソウ

が多数見られた。

その先の草地にはススキの中にキキョウ、カワラナデシコ、オミナエシ、キジカクシ、オオヒナノウスツボ、ギシギシ、ツリガネニンジン、シラゲシャジン、イブキボウフウなどがあり、昔の草地や田圃の風景が残っていた。現在では重要な環境保全の対象地と考えられる。

### ⑥赤川溪谷遊歩道とその周辺の植生

赤川溪谷遊歩道は溪谷に沿っての遊歩道なので、塩原の多くの溪谷に見られる樹木の植生が見られた。その樹木を挙げるとクマノミズキ、フサザクラ、オノオレカンバ、ミズメ、ハリギリ、ミヤマハハコ、ハウチワカエデ、ウリハダカエデ、チドリノキ、オオモミジ、コハウチワカエデ、イタヤカエデ、イロハモミジ、オオウラジロノキ、ネジキ、クリなどである。また、その樹木の下を占めている種としてはテンニンソウ、ウリノキ、ヤマアジサイ、エゾアジサイ、タマアジサイ、ミヤマガマズミ、スズタケ、ミヤコザサなどがあった。草本としては、イワギボウシ、オニルリソウ、イワキンバイ、サワギク、ウマノミツバ、ツルアリドオシ、イワタバコ、ダイモンジソウ、ハンゴンソウなどがあり、特筆すべき種類として、イワヒバ、シノブ、キヨスミウツボなどがある。

近くの湿地やゴルフ場を造成途中で放棄した湿地にはヌマガヤ、アブラガヤ、エゾアブラガヤ、アイバソウ、クサヨシ、トダシバ、ホウキギク、エゾミソハギ、ホソバノヨツバムグラ、ヒメナミキ、フシグロセンノウ、コウモリカズラなどがあり、モウセンゴケ、コオニユリ、オヒルムシロなど貴重な種も見られた。また、ここの周囲の樹木にはズミ、ケヤマハンノキ、タニガワハンノキ、ヤマネコヤナギ、オノエヤナギ、ヤシャブシ、オオバヤシャブシ、カマツカそして、オオバボダイジュが見られた。このゴルフ場造成の際の残砂にフシグロ、ハマエンドウ、ハマヒルガオがあった。

### ⑦八方湖・嶽山箒根神社周辺の植生

嶽山箒根神社にはスギの大木があり、その樹上に貴重種のヤシャビシヤクが着生していた。また、近くの倒木にはミヤマノキシノブ、ヒメノキシノブが着生していた。ヒノキ・アスナロの林下にはアケボノソウ、アオフタバラン、ヒメフタバランなどがあった。八方湖の周辺はミズナラ、ウダイカンバ、ウリハダカエデ、ヒナウチワカエデ、ナナカマド、クマシデなどの落葉広葉樹が見られた。

八方ヶ原は別荘地造成のために湿原が道路で寸断されたり、乾燥化するための側溝が作られ、かなり湿原が破壊されていた。しかし、レンゲツツジの群落やコバイケイソウの群落、オタカラコウの群落が見られ、ゴヨウツツジ、コヨウラクツツジ、サラサドウダン、ホツツジ、コメツツジなどツツジ科の種類がよく見られた。また、サワフタギ、シモツケ、ミヤマニガイチゴ、チシマザサなどがツツジの間を埋めていた。ミズゴケの部分がスギゴケに変わりつつある湿地の部分もあった。

湿原内ではハルリンドウ、アギスミレ、ノギラン、モウセンゴケ、ハリガネスゲ、アゼスゲ、オオアゼスゲ、ヒメカンスゲ、アカバナシモツケ、アキノキリンソウ、ヒメシロネ、ヤマハハコ、タチコゴメグサ、サワオトギリ、トダシバ、ノガリヤス、ニガナがあった。

### ⑧学校平から塩の湯までの植生

学校平から山道を下る林はミズナラを主としているが、イヌシデ、ミズメ、クマシデ、オオウラジロノキ、アワブキ、ナナカマド、ダケカンバ、リョウブ、アサダ、ブナなどがあり、溪谷沿いにはチドリノキ、カツラ、トチノキ、サワグルミの大木が多くあった。特に、鹿股川の上流のスッカン沢、桜沢には雄飛の滝、雷霆の滝、咆哮霹靂の滝などがあり、湿り気の多い立地を好む種の生育環境を作っていた。そこにはイワタバコ、ダイモンジソウ、コケシノブ、カンスゲ、イワギボウシ、スギラン、ミヤマツチトリモチ、ケヤマウツボなどが見られた。

ここの地区の低木としてはコアジサイ、タマアジサイ、エゾアジサイ、ヤマアジサイ、ノリウツギ、キブシ、キバナウツギ、ウリノキ、マツブサ、スズタケ、アオジクマユミ、ウラジロイチゴ、クロイチゴなどがあり、草本としてはテンニンソウ、トネアザミ、フクオウソウ、ヤマトウバナ、カメバヒキオコシ、ヒキオコシ、シラネセンキュウ、ツルリンドウ、コチャルメルソウ、イワセン

トウソウ、シャク、ルイヨウショウマ、クサアジサイ、ヤマタイミンガサ、ヤグルマソウ、モミジハグマ、クワガタソウ、ミヤマタニソバ、ムカゴイラクサ、ヒゲネワチガイソウ、オオバショウマ、ニガクサ、オオモミジガサ、オオダイコンソウ、ツルネコノメソウ、シロヨメナ、カノツメソウ、ヒロハテンナンショウ、ヒトツバテンナンショウ、トリアシショウマ、トウゴクシソバタツナミソウ、シラヒゲソウ、コケイラン、アリドウシラン、エゾスズラン、ミヤマツチトリモチ、ヤマウツボなどが見られた。塩の湯に近くなるとマタタビが群生していた。また、シダの仲間が目立ちイノデ、フモトシケシダ、ホソバナライシダ、オニヒカゲワラビ、ツルデンダ、ヒメイワトラノオ、イワイタチシダ、フクロシダ、ビロードシダなどがあった。この地区の植生を見ると、滝や谷沿いのやや湿度の高い環境を好む種と、落葉広葉樹林の腐葉土の多い土地を好む種が見られた。

### ⑨明神岳周辺の植生

ハンターマウンテン塩原の遊歩道の山頂に高原山系の標高 1,594.5mの明神岳がある。その遊歩道の入口からコメツガ、ミヤマザクラ、ミネザクラ、ウダイカンバ、サワシバ、ダケモミ、トウヒ、コミネカエデ、ホツツジ、ハクサンシャクナゲ、ナナカマド、サビバナナカマド、コメツツジ、クマシデ、オオカメノキなどが風雪で樹高を抑えられ地上近くの幹を曲げられた姿で見られた。その下にシラタマノキ、アカモノ、ゴカヨウオウレン、コミヤマカタバミ、タケシマラン、コイチヨウラン、ヒメイチゲ、クロイチゴ、マイヅルソウ、イワオトギリ、ヒメノガリヤスなどが見られた。

東斜面や南斜面では北斜面よりも樹高が高く、イラモミ、ウラジロモミ、ウダイカンバ、ジゾウカンバ、ヒメコマツなどが林を構成していた。また、東斜面から南斜面にはミヤコザサが多く、北斜面にはチシマザサが見られた。

スキー場の頂点から下降するとゲレンデとゲレンデの間にカラマツ、シナノキ、ヤマハンノキなどの林があり、その中にヨツバヒヨドリ、ヤマハハコ、ミヤマタニタデ、ホソバガンクビソウ、シロヨメナ、ハナニガナ、アブラガヤ、ネバリタデ、ツルアジサイ、オトギリソウなどがあり、アサギマダラが多数見られた。このスキー場の入口でオニツルウメモドキ、ミモチスギナがあった。

### ⑩日留賀岳周辺の植生

ダンコウバイ、カワミドリ、イヌトウバナ、オニルリソウ、クサボタン、イブキヌカボなどがある林道を進み登山道の入り口の林に入ると、ウダイカンバ、ミズメ、オノオレカンバ、ミズキ、ヤマハンノキ、イヌブナ、ナツツバキなどの混交林で、やや半日陰の環境が続く。その下ではクルマバソウ、クルマバハグマ、コウヤボウキ、ナガバノコウヤボウキ、レンゲショウマ、ヤマタイミンガサなどがあり、7月にはキヨスミウツボの群生が見られた。さらに、つづら折りを進むと、エゾアジサイ、ミズナラ、イタヤカエデ、アオダモ、ヒナウチワカエデ、ヒトツバカエデ、ウリハダカエデ、サワシバ、マユミ、ミツバウツギの混交林となる。さらに進むと、アスナロの林になる。その先の林はイヌブナ、オオバミネカエデ、コミネカエデ、ウラジロモミ、コメツガ、ゴヨウツツジ、ムラサキヤシオツツジ、ヤマグルマがあった。これらの途中の林にはホソバカンスゲ、アリドオシラン、ツルアリドオシ、アケボノシュスラン、スマレサイシン、ツルリンドウ、テングノコズチ、チシマザサ、チマキザサ、シナノザサ、イチヤクソウ、シャクジョウソウ、ルイヨウボタン、カメバヒキオコシ、オオバショウマ、カノツメソウ、ウスバサイシン、アオヤギソウなどがあった。標高 1,849mの山頂近くでは高山植物や亜高山植物のベニサラサドウダン、ハイマツ、アズマシャクナゲ、ハクサンシャクナゲがあり、その下にオオバスノキ、イワカガミ、ハクサンチドリ、カモメラン、イチヨウラン、ミツバオウレン、ゴゼンタチバナ、ハリブキ、イワナシ、ツマトリソウ、ツバメオモト、タケシマラン、ヤマトユキザサ、クルマユリ、ズダヤクシュ、ハイイヌツゲ、ミヤマシキミ、コイチヨウランがあった。

### ⑪土平園地周辺の植生

土平園地は標高約 1,200mで旧県道中塩原板室那須線（通称：塩那スカイライン）の中塩原の入

口から約 7km 入った所にある。その入口の駐車場周辺（標高約 1,000m）の植生を見ると、弥太郎山側はカラマツが整然と植林されていて林下はミヤコザサやテンニンソウで覆われていた。土平園地側はカラマツと落葉広葉樹との混交林で、ミズナラ、ヤマハンノキ、ウリハダカエデ、イヌシデ、イタヤカエデ、シナノキ、サワシバ、オオモミジ、サワグルミ、オノオレカンバ、ハクウンボクなどがあった。その下にノリウツギ、クロモジ、コゴメウツギ、ニワトコ、ミヤマガマズミ、キブシなどのやや低い樹木が占め、その下にはテンニンソウ、ミヤコザサ、トネアザミ、タニソバ、イヌトウバナ、クルマバナ、オオイタドリ、ヤブタバコ、タニタデ、ヨツバヒヨドリ、ツリフネソウ（淡い桃色）、キオン、ヤマムグラ、ミヤマスマレ、キンミズヒキ、クサコアカソ、オトコエシなどが見られた。それらの木や草にイケマ、カラハナソウ、ヤマブドウや帰化植物のツルタデが巻きついて

いた。傾斜のある混交林をさらに登るとカラハナソウ、ルイヨウショウマ、オニルリソウ、イケマ、ムラサキシキブ、ミヤマザクラ、サラシナショウマ、タガネソウ、ヒゲネワチガイソウ、ヤマブドウなどが見られた。鉄塔 10 号線の周りにはイタチハギ、ニセアカシアなどの帰化植物があった。さらに進むとサラサドウダン、アカヤシオ、ヒナウチワカエデ、ハウチワカエデ、リョウブ、サワシバ、ホオノキ、キハダ、ナツツバキ、ケアオダモ、ムシカリなどがあり、低木にサルナシ、ミヤママタタビ、マツブサなどが巻きついて

いた。標高 1,160m 付近ではミズナラ、ブナ、モミの大木が原生林を構成していた。モミの大木は目通りで周囲 330cm ぐらいのものもあった。この付近のウリハダカエデなどカエデの仲間の根にミヤマツチトリモチが寄生していた。その数は 9 月上旬には大変多かった。

標高 1,173m の鉄塔 11 号線では平坦な土地で、ヤエガワカンバ、ミヤマガマズミ、ミヤマウグイスカグラ、タニガワハンノキ、サルナシ、ウラジロイチゴなどがあり、それらの樹高は比較的低いものだった。

この園地には標高 1,210m 付近に、「しろやしおコース」と「なつつばきコース」があり、それぞれその名の通りゴヨウツツジ、ナツツバキが多く見られた。それぞれの樹林の中にウダイカンバ、リョウブ、ミズナラ、ヤエガワカンバ、ダケカンバ、ウリハダカエデ、ムラサキシキブなどがあり、下草にはミヤコザサの他に、マイヅルソウ、ツルリンドウ、カノツメソウ、イチヤクソウ、ミヤマニガイチゴ、ハイコマユミなどが見られた。

## ⑫富士山の植生

この山は標高 1,184m で、前黒山（標高 1,678.3m）の寄生火山で、新湯富士とも呼ばれている。山全体の多くはミズナラ林と植栽されたスギ・ヒノキ林と考えられるが、サワラ、イチイ、クロベ、アスナロなどの針葉樹も見られる。ヨシ沼から北側に位置する新湯にかけてはミズナラ、ネジキ、ホツツジ、リョウブが林をつくり、ミヤコザサ、ミヤコザサ・チマキザサの複合体のササが林の下を埋めていた。さらに進むとオシダの見事な群生地が見られる。山頂にかけてはコミネカエデ、コヨウラクツツジ、アスナロ、ハルニレ、メグスリノキなどの群落があり、イワセントウソウ、ヌカボシソウ、ミヤマカンスゲ、マイヅルソウ、ヒトツバテンナンショウ、ミヤマスマレ、ツクバネソウなどが見られた。

上記のほかにトウゴクミツバツツジ、ミヤマニガイチゴ、ムラサキケマン、ルイヨウショウマ、オオタチツボスマレ、イチヨウラン、ヤマシャクヤク、イワガラミ、ホソバノトウゲシバ、ホソバコケシノブ、ミヤマメシダ、タカネサトメシダ、ミヤマベニシダ、オサシダなどがあった。

北西の麓には小川に沿ってトネアザミ、ナンブアザミ、ハナマキアザミ、ネズミガヤ、イワアカバナ、シシウド、タツノヒゲ、ヌカキビ、ヤマアワ、ケイタドリなどの群落があり、バアソブがチシマザサに巻きついて

いた。その上部はミズナラ林とつながっていた。東側の標高 1,000m 付近にはダケカンバ、ブナ、フサザクラ、ミズナラ、ホオノキ、イタヤカエデ、サワグルミ、ハリギリ、サワシバ、カツラ、アサノハカエデ、リョウブ、ハウチワカエデなどがあり、その下には溶岩流によって造られた風穴があり、オシダの群生と共にウサギシダ、シラネ

ワラビ、ミヤマワラビが見られた。南東側の斜面には、針葉樹に替えてカエデ類やミズナラなどの落葉樹を植えているので、生態系も元の姿に変わると思われる。

### ⑬ヨシ沼・大沼周辺の植生

ヨシ沼はその名のとおりにヨシが沼の北西側から北側に多く見られ、東側ではヌマガヤが優占する湿原で低層湿原と中間湿原が多くを占めている。しかし、最近ミズゴケも回復しつつあり、高層湿原の部分も見られるようになった。トキソウ、サワラン、ミズチドリなどのラン科の植物を始めとして、ワタスゲ、サギスゲ、ミツガシワ、ヒツジグサ、コオニユリ、ノハナショウブ、ジュンサイ、エゾシロネ、ホソバノヨツバムグラ、アオゴウソ、ヤチカワズスゲ、サワオトギリ、ムラサキミミカキグサ、サワギキョウ、イヌタヌキモ、クロイヌノヒゲモドキ、ヤマドリゼンマイなどが見られる。その周辺にはバイカツツジ、ヤマナラシ、ホオノキ、ヒノキ、ミズナラ、ノリウツギ、ヒトツバカエデ、ミヤマザクラ、ネジキ、エゾイボタ、リョウブ、ウリハダカエデ、カンボクなどの樹木があり、樹下にはマルバイチヤクソウ、ヒカゲノカズラ、ヤマオダマキ、ダイコンソウ、ゴマナ、ジュウモンジシダ、シシガシラ、ウマノミツバ、ウバユリ、ミズヒキなどがあつた。

標高 960mにある大沼はヨシの群落とヌマガヤの群落やオニナルコスゲ、アゼスゲ、ヤガミスゲ、クロヒナスゲなどスゲの仲間が広がる草地、そして、沼地に大別できる。この沼の周囲は北西側から南東側にミズナラ、ブナ、イヌブナ、ハルニレ、トチノキの大木で覆われ、北東側から東側にかけてはヒノキ、カラマツの植栽の林になっている。さらに、湿原や沼の周辺にはズミ、カンボク、オオズミ、カラコギカエデ、イヌエンジュ、カマツカが取り巻いていた。

ヌマガヤが優占する湿地にはエゾミソハギ、コバノカモメヅル、ノハナショウブ、エゾシロネ、エゾリンドウ、ホソバノアマナ、トキソウ、クサレダマ、コキツネノボタン、オトコゼリなどがあり、ヨシの群落にはヤマドリゼンマイ、ホソバノヨツバムグラ、オニナルコスゲ、アケボノソウなどがあつた。ヌマガヤの群生するところを流れる小川にはホソバミズヒキモ、フトヒルムシロが見られた。この湿原のスゲには前記の種の他にホソバオゼヌマスゲ、ミノボロスゲ、クロヒナスゲ、カワラスゲ、ニッコウハリスゲ、ヒカゲスゲなどがあつた。沼や湿原の周囲の草地にはコキツネノボタン、キツネノボタン、オトコゼリ、コヒロハハナヤスリ、ヒロハハナヤスリ、ハマハナヤスリ、ヒメハッカ、ミヤマキンポウゲ、ヤマアワ、ミヤマチドメなどがあるが、降雨量が多くなると水没してしまう種もあつた。樹林内の湿地にはバイケイソウ、タニミツバ、ニッコウハリスゲ、ミツバなどがあつた。ブナ・ミズナラの林床にはミヤコザサとチマキザサの中間種のミナカミザサがあつた。大沼から小沼へ通じる林にはヤグルマソウ、ヒカゲノカズラが多く、マルバイチヤクソウが群生していた。また、ウメガサソウ、シャクジョウソウ、タニタデ、ミズタマソウ、ショウジョウバカマ、ミヤマイノデ、ハクモウイノデが多く見られた。

この周辺の樹木は、沼の湿気を含んだ空気によりコケ類が着きやすく、ビロードシダ、ホテイシダ、ノキシノブ、シノブ、ミヤマノキシノブ、イワオモダカ、クモイジガバチなどが着生していた。

この沼の木道の両側や西側のミズナラ、ブナには地衣類と共にヤドリギが多く着き、ヤドリギだけでなく栃木県の 2000 年の調査で確認出来なかつたアカミヤドリギも見られた。

この沼の北東部にあたる上端の地には市内唯一のミズバショウの群生地があり、春の開花は見事である。また、ミヤマツチトリモチ、オニノヤガラ、コウモリカズラも夏には見られた。

休憩所のある草地にはハルニレ、オオヤマザクラ、ミズキ、ミズナラに囲まれ、サギゴケ（ムラサキサギゴケ、シロバナサギゴケ）、クサスゲ、コテングクワガタが見られた。また、その先の小高いところはミズナラに被われていて、そこにはミヤマガマズミ、オクモミジハグマ、フクオウソウ、センダイトウヒレンなどがあつた。

(文責：酒井 芳男)

## 2. 保全すべき種等

### (1) 天然記念物（植物）

西那須野・塩原地区の天然記念物の詳細は市の案内冊子「那須塩原市の文化財」（平成21年度から作成作業を開始）を参照願いたい。ここでは概要のみを記す。

#### ①逆杉（国指定天然記念物）…中塩原・塩原八幡宮

県内最大の杉で、推定樹齢約1,500年、雄木が樹高40m、幹回り11m、雌木が樹高約33m、幹回り8m。杉の古木は多少枝を垂れるのが普通であるが、この木の枝を垂れた姿によって逆杉の名が付けられた。

#### ②一本杉（市指定天然記念物）…永田町

かつて原っぱの中に杉の木が1本だけあったので、こう名付けられた。幹回り2m65cm、推定樹齢約200年。この一帯は明治初めまでは那須野ヶ原と呼ばれる広大な原っぱであった。江戸時代、何本かの杉の木が目印として植えられたが、ほとんどが野火で焼けたり、伐られたりし、この1本だけとなった。

#### ③妙雲尼塔の大杉（市指定天然記念物）…塩原・妙雲寺

推定樹齢約500年、樹高約45m、3本の杉が根本で結合していて幹回りはそれぞれ4.6m、4.1m、3.6m、全体の根回りは約12m。妙雲寺開山当時、平重盛の姥妙雲禅尼の墓印として植えられたと伝えられている。

#### ④塩原八幡宮の大栃（市指定天然記念物）（栃木名木100選）…中塩原・塩原八幡宮

県下第3位のトチノキといわれ、その枝張りは25mにも及んでいる。推定樹齢約250年、樹高約25m、幹周り4.8m。

#### ⑤嶽山箒根神社の大杉（市指定天然記念物）（栃木名木100選）…宇都野・嶽山箒根神社

嶽山の行者、山本義昭が神社の守護樹として四方に植えたものといわれ。現在はこの1本のみとなっていて、枝はすべて上方を向いていて、箒のような形状になっている。推定樹齢約1,000年、樹高約21.2m、幹回り約8.7m。

#### ⑥乃木神社の樹林（市指定天然記念物）…石林・乃木神社

乃木神社の境内の一部で、大木が多く、この地区の自然林の特徴が見られる貴重な林。木の本数は約500本、樹種約30種類、大きな木の樹齢100～200年。

#### ⑦槻沢小学校の大モミジ（市指定天然記念物）…槻沢・槻沢小学校

西那須野地区最大のモミジの木で、槻沢小学校の卒業記念樹として明治の末の頃東北本線の近くにあった同校校庭に植えられ、1979年東北新幹線の敷設に伴い現在地に移植された。樹種はイロハモミジ（イロハカエデ）で、樹齢約100年、樹高約8m、幹回り2.5m。

#### ⑧大山参道のモミジ並木（市指定天然記念物）…下永田

大山元帥墓所の参道に植えられたモミジの並木で、樹種はイロハモミジ、当初は桜と1本おきに植えられたが、桜は枯れるようになったため伐採された。本数85本、幹回り0.5～2.3m、樹齢約100年。

**⑨宗源寺のエドヒガンザクラ（市指定天然記念物）…東町・宗源寺**

宗源寺境内にあり、この種類としては西那須野地区で一番大きい木である。樹種はエドヒガン（アズマヒガン）、高さ 10 数m、幹回り約 3.3m、推定樹齢 100～150 年である。花は春に葉の出る前に、他の桜より早く咲く。

**⑩金神神社のツバキ（市指定天然記念物）…東関根・金神神社**

西那須野地区で最大のツバキで、金神（かねがみ）神社の東側に生えており、御神木でもあったと思われる。樹種はヤブツバキ、樹高約 13m、幹回り約 1.4m、推定樹齢約 200 年である。高さ 2m 前後の所で数本に分かれており、その先に細い枝が多数あり、現在でも多くの花をつける。このあたりは、ツバキの自生には適さず、大木のツバキは貴重。

**⑪大山小学校のキガンピ（市指定天然記念物）…下永田・大山小学校**

キガンピは近畿以西の本州、四国、九州、韓国南部に自生する低木で、8～10 月頃黄色い小さな花を付け、樹皮は雁皮紙の原料となる。西那須野には大山元帥ゆかりの地に点々と自生している。当地区のキガンピは、分布的に北限・隔離分布する暖地性種ということで貴重。

**⑫高柳の温泉神社のエノキ（市指定天然記念物）…高柳・温泉神社**

西那須野地区最大級のエノキで、高柳の温泉神社境内に生えており、御神木であるとも考えられる。高さは 15.7m、幹回り 4.0m、推定樹齢約 300 年で、2m のところで分かれて太い枝がある。エノキは山地性の樹木であり、神社などに植えられることがあるため、このエノキも植栽されたものと推測できる。

**⑬ノギカワモズク（市指定天然記念物）…石林・乃木神社**

石林の乃木清水の川底の石に付着して生活する淡水産紅藻類。長さ 3～4 cm 前後で、冬から春にかけて乃木清水が涸れている間は孢子で生きのびる。昭和 59 年（1984）に新品種として認められノギカワモズクと名付けられた。維管束植物ではないが、紹介する。

**（2）保全すべき種**

保全すべき種の選定は「環境省レッドリスト植物Ⅰ（2007 年 8 月 3 日）」及び「レッドデータブックとちぎ（2005 年 3 月）」を参考にするとともに、那須塩原市における自生状況等を考慮して選定した。今回の調査期間中に確認出来なかった種もあるが、過去に採集あるいは自生記録がある種（県で絶滅とされた種を含む）も保全すべき種として記載した。

「環境省レッドリスト」及び「レッドデータブックとちぎ」に絶滅のおそれがある種として記載されているものについては科名の後に「環境省レッドリスト」の Kategorie を「環境省：○○○○」として、「レッドデータブックとちぎ」の Kategorie を「栃木県：○○○○」として記載した。記載のない種は那須塩原市として保全に考慮すべき種である。

各レッドリストの Kategorie の詳細に関しては、「凡例」の項を参照されたい。

**①スギラン（ヒカゲノカズラ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：要注目**

**■確認した地域区分…山岳地域**

山地の岩や樹上に着生する常緑性のシダ。茎はまばらに叉状に分岐し 20 cm 程の高さになり、上部が下垂することもある。長さ 10mm 前後の細い葉は鋭尖頭全縁で開出又は斜上し密生する。落下した約 20×60 cm のマット状に密生した塊を見つけ、近辺を詳しく調査した結果、カツラ・サワグルミ等の樹上に小さな塊状の着生が 20 箇所ほど見つかった。他の場所ではミズナラへの着生も確認。非常に少ない。

**②イワヒバ（イワヒバ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧**

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

岩上に着生する常緑性のシダ。アスナロに似た葉状枝を数十枚も放射状に出し、径 20 cm 前後の樹冠形になる。巾 2~3mm の偏平な葉状枝は上面暗緑色、下面淡灰緑色で、耐乾性があり、乾くと内側に巻き込む。乱獲で減少し、人手の届かない岩場にわずかに残る状態。

**③ミズニラ（ミズニラ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：要注目**

■確認した地域区分…山岳地域

鮮緑色で柔らかい夏緑性水草。河や池沼、まれに湿地にも生える。葉は生育地の条件により変異が大きいが、長さ 10~30 cm で 4 稜のある円柱形。葉脈が 1 本ある。卵状に広がった白い茎の基部に孢子囊をつくる。塩原で標本を得た記録があるが、今回の現地調査では確認されなかった。

文献記録：塩原町（とちぎの植物 I）

**④ハマハナヤスリ（ハナヤスリ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい草地や砂地に生える夏緑性シダで、草高約 20 cm。長さ 8 cm 前後の共通柄に狭楕円形全縁で中央より少し上の中が最も広い栄養葉と、約 4 cm の細い孢子囊穂をつけた 10 cm 前後の孢子葉各 1 個がつく。今回の調査では近辺によく似たヒロハハナヤスリ、コヒロハハナヤスリの自生も確認された。何れも個体数は大変少ない。

**⑤ウチワゴケ（コケシノブ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…山岳地域

山地の岩上や樹幹上に生える常緑性シダ。葉身は 10mm 前後で、やや巾広のうちわ形。基部は広いくさび状に切れ込む。辺縁は不規則に浅~深裂し掌状になる。暗緑色で薄い膜質の葉はマット状に密生することが多い。川沿いの多湿な岩壁や樹幹上に見られるが、少ない。

**⑥ハコネシダ（ホウライシダ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

岩上に生える常緑性シダ。葉柄は細く光沢があり帯紫褐色。葉身は 2~3 回羽状に分岐し、20 cm 前後の三角状卵形。葉片は長さ 10mm 前後の狭扇形で、細鋸歯のある上縁に 1 個のソーラスをつける。標準よりはるかに小型で軟弱な個体が、わずかに自生する。

**⑦クモノスシダ（チャセンシダ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山地の岩上に着生する常緑性シダ。葉身は全縁狭披針形の単葉で長さ 10 cm 前後、巾約 1 cm。短柄があり数枚が放射状に広がる。細い葉先がつる状に数 cm 伸びて先端に芽を出す。日向の岩上で葉縁を巻き込み乾燥に耐えている個体もあった。生育地は少ない。

**⑧コタニワタリ（チャセンシダ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…山岳地域

山地のやや陰湿な林床に生える常緑性シダ。葉身は単葉で長さ 30 cm 前後、巾 4~5 cm ほど。辺縁はやや波状となる全縁、鋭頭、基部は心形、両側が小さく耳状に張り出す。8 cm 前後の暗褐色の葉柄がある。限られた狭い範囲に少数が自生する。

**⑨コウライイヌワラビ（イワデンダ科（メシダ科）） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：情報不足**

■確認した地域区分…山岳地域



やや陰湿な林内に生える夏緑性シダ。短い根茎に相接してつく。葉柄は淡黄褐色、長さ 30 cm 前後。披針形鋭尖頭で長さ約 1 cm の褐色の鱗片が下部ほど密に着く。葉身は長さ 40 cm 前後の卵状披針形で 2 回羽状に深裂、羽片と共に鋭頭。各羽片の間隔は羽片の中より広くあく。ソーラスは小羽軸近くにつき J 形。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町（目録）

**⑩ウサギシダ（イワデンダ科（メシダ科）） 環境省：一、栃木県：要注目**

■確認した地域区分…山岳地域

夏緑性。葉身は 3 回羽状、最下羽片が特に大きくなり 3 出葉的に見える。長さ巾ともに 20 cm 前後で全体が五角形の印象。葉質はやわらかく両面ともに無毛。葉柄は葉身よりも長くて細い。葉身が柄の上部で脱落した跡が兔の三つ口状に見えるのが名の由来。自生地は極めて少なく、冷涼な環境が保たれた林内の限られた場所に少数の生育が確認されている。

**⑪イワヘゴ（オシダ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…C 地域

山地の林床や谷沿いに生える常緑性シダ。1m 近くになる葉は数枚が叢生する。葉身の半分より短い葉柄には、葉軸と共に黒褐色でまばらに刺状突起のある細長い鱗片が密生する。葉身は単羽状で 20~30 対の羽片があり下部の 2~3 対は下向きになる。

**⑫シノブ（シノブ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧**

■確認した地域区分…山岳地域

夏緑性の着生シダ。径 3~5mm の根茎は褐色の鱗片が密生し、長く岩上や樹幹を這う。葉身は 3~4 回羽状に深裂し、濃緑色で硬い。ソーラスは裂片に 1 個つき包膜はコップ状。根茎を丸めシノブ玉として観賞する等、古くから親しまれている。生育に好適な環境が保たれた林内では着生がかなり見られるが、自生地は少ない。

**⑬イワオモダカ（ウラボシ科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類**

■確認した地域区分…山岳地域

深山の岩上や樹幹に着生する常緑性シダ。10 cm 前後の葉身は下部で 3~5 中裂し狭三角形。裏面は赤褐色の星状毛が密生し、表面の濃緑色と好対照をなし、特異な形状と共に高所の着生を見出す手掛かりになる。愛好家に乱獲され自生は激減した。一方で庭から逸出し、民家の石垣に密生した不自然な景観を呈する所もある。

**⑭ハイマツ（マツ科） 環境省：一、栃木県：一**

■確認した地域区分…山岳地域

高山帯に群生する常緑針葉樹。幹はよく分枝し、四方に広がり、高さ 1~2m。幹の樹皮は黒褐色で、うすくはげる。短枝の葉は 5、長さ 4~9 cm。雌雄同株。花は 6 月に咲き、毬果は新長枝の頂部につく。山岳地域に僅かに自生している。

**⑮ヤエガワカンバ（カバノキ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類**

■確認した地域区分…山岳地域

山地に生える落葉高木。若い枝は赤褐色で皮目が目立つが、古い枝や樹幹は灰褐色となり、薄い鱗片状に幾重にも剥落し、名の由来（八重皮）となる。葉は互生し長さ 3~6cm の卵形鋭頭、縁に不整の鋸歯がある。葉柄は長さ 5~15mm で軟毛がある。果穂は 2cm 前後の長楕円形。比較的若い個体が同一エリアで数本確認された。

⑯トキホコリ（イラクサ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：要注目

■確認した地域区分…A地域・B地域

湿った所に生える軟弱な1年草。20 cm前後の茎は斜上し開出毛がある。無柄で互生する葉は左右不等の倒卵形で上半分に鋸歯がある。9月頃、雌雄混生する球状の花序を葉腋につける。畦道等に生えていたが、頻繁に除草されるようになり見られなくなった。人家や社寺の空地等にまれに残るが、好適地では密に繁茂することもある。

⑰ミヤマツチトリモチ（ツチトリモチ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

深山の林床に生える多年草。カエデ・シデ類の根に寄生する。地中に塊茎がある。8月頃、鱗片を持った茎のほとんどを地中に残し、長さ5~6 cmの長卵形で濃い赤褐色のざらついた花序を出す。特異な姿がハイカーの目にとまって摘み採られるらしく、無残な姿でころがっているのが時々見つかる。山地帯ではかなり広域の林床等に自生している。

⑱イブキトラノオ（タデ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…B地域・山岳地域

山地の日当たりのよい草地に生える多年草。高さ60~70 cmほどになる。叢生する根生葉は長さ20 cm前後の長披針形で、基部は翼状となって長い柄に沿下する。茎葉は無柄で茎を抱く。6月頃、茎頂の6 cm前後の穂状花序に白~淡紅色の小さな花を密生する。B地域の落葉樹林内の自生地は貴重な存在である。

⑲コギシギシ（タデ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

関東地方以西に生え県内ではまれな多年草。茎は高さ40 cm内外。下部の葉は長柄があり長楕円状倒披針形、基部は切形又はくさび形になり、縁は波状、両面無毛。果時の花被は卵形、縁に2mm弱の刺がある。今回の現地調査では確認出来なかった。

文献記録：塩原町上塩原（森谷1988a）

⑳カワラナデシコ（ナデシコ）（ナデシコ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山野の明るい草地に生える多年草。茎は高さ50 cm前後になり分枝する。8~9月頃、淡紫紅色の美しい花が咲く。各地域に少数が自生するが、特にC地域の採草地には広い範囲に生育し、中には苞が2対で花卉の基部に濃紫紅色の伏毛が筋状に生えるエゾカワラナデシコと見られる型も混在する。

㉑カワラアカザ（アカザ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…A地域・B地域・C地域

河原に生える一年草。高さ50 cm前後の茎に互生する葉は有柄で披針形。花序の軸は白い管状毛が密生する。蛇尾川の河川敷に生えるが、少ない。

㉒フクジュソウ（キンポウゲ科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…C地域

山地の明るい林内等にまれに生える多年草。開葉に先立ち黄色の花が咲く。茎は高さ20 cm前後、葉は細裂し光沢がある。正月用の鉢植等に利用され、個人の庭では多く栽培されているが、自生のものは非常に少ない。C地域に消長を繰返す自生地があり、2007年には3ヶ所で各1個体の開花株が確認されている。花は大変目立ち、盗掘が懸念される。

㊸オオヤマオダマキ (キンポウゲ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい山地に生える多年草。茎は高さ 30~70 cm で、葉と共に無毛。下部の葉は長柄があり、2 回 3 出葉、小葉は更に浅く 2~3 裂し、縁は円頭になる。6~7 月頃、紫褐色の萼と黄色の花弁をもつ 3 cm ほどの花をつける。うつむいて咲く花弁の距がヤマオダマキよりも強く内側に巻くので見分けられる。国内希産種だが塩原山地の一部に咲く。

㊸エンコウソウ (キンポウゲ科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…A 地域

湿地に生える多年草。50 cm ほどに伸びる茎は横に這い、黄色い花をつける先端部は斜上する。葉は鈍鋸歯がある腎円形で基部は切れ込む。根生葉は有柄、茎葉は無柄。水田に沿った小川に点々と自生し、一部にやや密に数十株が群生する所がある。北限に近い。

㊸カザグルマ (シロバナカザグルマ) (キンポウゲ科) 環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…A 地域

木質のつる性、冬は落葉する。長い葉柄で他のものに巻きつく。8 枚の萼片は長楕円形鋭尖頭、全縁だがやや波打つ。平開時は径 10 cm にもなり美しい。水田に隣接するスギ林の林縁で、ササ類の上を這うように広がっているのが見つかった。

㊸ミヤマキンポウゲ (キンポウゲ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

亜高山に生える多年草。高さ 30 cm 前後の茎は上向きの伏毛がある。根生葉は掌状に 3~5 深裂し、裂片は更に 3~5 中裂し鋭頭になる。7 月に黄色い花が咲く。そう果の花柱はウマノアシガタより少し長く、先はより曲がる。少数が自生する。

㊸コキツネノボタン (キンポウゲ科) 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

日当りのよい水湿地に生える多年草。茎は高さ 50 cm ほどで開出する粗毛が多く、よく分枝する。葉は両面共に伏毛がある 2 回 3 出葉。各裂片は更に深裂し歯状の鋭鋸歯縁になる。5~6 月に黄色い小さな 5 弁花をつける。オトコゼリに酷似するが、本種の集合果は 14mm 前後の長楕円形になり花柱は太くて短い。県内自生地は 1 箇所のみとされていた希少種だが、今回、湿地を好むイネ科やカヤツリグサ科の群落に埋もれるように点々と生育しているのが見出された。

㊸バイカモ (キンポウゲ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…A 地域・山岳地域

水中に生える長さ 1m 前後の多年草。3~4 回 3 出の葉は更に 2 裂し最終裂片は糸状になり流れになびく。夏から秋に径 15mm 前後の白い 5 弁花が水中又は水上に咲く。A 地域では湧水由来の清流で、急な流れに耐えて生育している。塩原地区では水害や水質悪化で消滅したとみなされていたが、今回の調査で山際の小川に生えているのが見つかった。自生地の状況から回復傾向にあると推測される。

㊸ハイキンポウゲ (キンポウゲ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…A 地域

湿地に生える多年草。高さ 40 cm 程になる。下部から蔓状の枝を出し、葉腋から発根しながら伸びて新苗を作る。根出葉は長柄、2~3 回 3 出葉で各裂片は更に細裂し歯状の鋸歯がある。茎・葉共に粗毛がある。5 月頃、径約 2 cm の黄色の 5 弁花をつける。当地域の水溜まり状の河床にわずかに

自生していた。また、藪状の樹林が伐採され、プロムナードが設置された小川の岸边と、隣接する休耕田の双方で生育が確認された。南限に近いといわれる。

㊸オトコゼリ（キンポウゲ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

湿地に生える多年草。茎は高さ 80 cm 前後になる。茎や葉の毛の状態、葉の形等、コキツネノボタンと良く似るが、集合果が球形であること、そう果の花柱は太くて三角状長さ 1 mm で先が少し曲がる、等で見分けられる。花期も若干遅い。山の湿地で、コキツネノボタンと同様の環境に少数が生えている。希産種。

㊹セツブンソウ（キンポウゲ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…C地域

2~3 月頃山裾の木陰に咲く小さな多年草。径 2 cm 程のがく片は帯紫白色。雄しべに隠れるようにつく黄色い花弁は 2 分して蜜腺をもつ。C 地域にかけて群生地があったが、1980 年頃の道路工事で消滅した。今回の調査でこの工事跡近辺の林床に少数の開花株が見つかった。幼苗も多数生育しているのが確認されている。

㊺ヒツジグサ（スイレン科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

沼や古池に生える多年草。水面に浮く葉は 10 cm 前後の楕円形で、中央部までやじり状に切れ込む。6~7 月頃径 5cm ほどの乳白色の花をつける。開花の時刻に因んでつけられた名といわれるが、10 時頃には咲いている。山地に毎年開花が認められる沼があるが、水量の減少による陸地化等で生育環境が悪化しつつある。

㊻ジュンサイ（スイレン科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

沼等の水中に生える多年草。水面に浮く長径 10 cm ほどの楕円形の葉は切れ込みが無く、葉柄は楕円状につく。初夏の頃、水面から少し立ち上って赤褐色の小さな目立たない花をつける。筒状に巻いた若葉はゼリー状の粘質物に包まれ食用にする。山地のヨシが群生する沼地にわずかに生育している。年によって動物の侵入や人為的な攪乱で出現した水面の所々にも浮葉が認められる。

㊼ヤマシャクヤク（ボタン科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の林内に生える多年草。2 回 3 出葉の小葉は鋭頭全縁の長楕円形。5 月に咲く白い花はティーカップ状になり平開しない。市内西部と中部の 2 箇所、夫々標高 1,000m あたりの木陰に、開花にいたらない幼株も含めて各々 10 数株を確認した。相変わらず盗掘されるようで、痕跡が見つまっている。

㊽モウセンゴケ（モウセンゴケ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい酸性湿地を好む小形の多年草。根生葉は 10mm ほどの円形で長い柄がある。葉面に赤褐色の腺毛が多く生え、粘液を出して虫を捕らえる。7~8 月に花茎を立て小さな白花を総状につける。所によっては、他の草の根元や小さなすき間に多く生育しているが、生育に好適な環境は少ない。

③⑥ エゾエンゴサク (ケシ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

湿り気のある林内や林縁に生える多年草。全草無毛。高さ 20 cm 前後の茎に 3 出複葉をつける。小葉の形は変化が多い。4~5 月頃、茎頂の総状花序に青紫色の花をつける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：暮沼安戸山 (加藤 1994)

③⑦ ミツバペンケイソウ (ペンケイソウ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山地の林縁や草地に生える多年草。高さ 40 cm 前後で、時に暗紫色を帯びる茎に、鈍鋸歯がある長楕円形の葉を三枚輪生する。8 月頃、淡緑黄色の小さな花が密な花序につく。山地の斜面林縁や崩落した礫地に群生する所がある。

③⑧ シラヒゲソウ (ユキノシタ科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧 I 類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の谷沿いの陰湿地に生える多年草。根生葉は長い柄をもつ。4 稜がある花茎は分枝せず、2~8 個の心円形で無柄の葉をつける。8~9 月頃、茎頂に白い花が 1 個咲く。花卉の縁は糸状に裂ける。5 本の雄しべの間に先が 3 裂した仮雄しべがある。近年確かな記録が無かったが、今回、西部の山地で自生が確認された。

③⑨ ウメバチソウ (ユキノシタ科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

山の日当りの良い草地や湿地に生える多年草。根生葉は有柄で心円形、茎葉は 1 枚で無柄、基部は茎を抱く。8~10 月頃 5 弁の白い花が咲く。雄しべと交互に先が細裂した仮雄しべがつく。生育適地が失われるにつれて減少している。今回の調査期間中に 1 個体だけ山地の畑脇の農道で見つかった。

④⑩ ヤシャピシヤク (ユキノシタ科) 環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

深山の樹上に生える落葉小低木。長さ 1m ほどになり、しばしば下垂する。葉は互生。3~5 cm の腎円形で浅く 3~5 裂し、不規則な鈍鋸歯縁になる。5 月、枝先に 1cm ほどの淡緑色の花を 1~2 個つける。秋に熟す果実は 10mm ほどの球形で緑色、腺毛を密生する。1 箇所だけ高木に着生しているのが確認された。

④⑪ ナガボノ (アカ) ワレモコウ (バラ科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

やや湿った草地に生える多年草。茎は高さ 1m 前後になり、上部で枝を分ける。楕円形で鋸歯のある 9 枚前後の小葉をもった奇数羽状複葉を互生し、暗紅紫色で 4 裂した萼からなる花穂をつける等、ワレモコウに似るが、花穂がやや長く暗紫色の葯をつけた花糸は萼より長く伸びる等の相違がある。花期は 8~9 月。

④⑫ ミヤコグサ (マメ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…C 地域

道端や草地に生える多年草。全草無毛。茎は叢生して地を這い、長さ 30 cm 前後になる。3 小葉からなる複葉と基部に小葉と同形の托葉をもつ。春~夏に長い柄の先に鮮黄色の花を 1~3 個つける。千本松近辺で僅かに自生していた。

④③ハクサンフウロ（フウロソウ科） 環境省：－、栃木県：－

■確認した地域区分…山岳地域

山の草地に生える多年草。50 cm前後の高さになる茎は下向きの伏毛がある。長い葉柄がある葉は巾4～7cmで5深裂し、各裂片は更に細く深裂する。7～8月に咲く花は紅紫色で径25～30mm。花卉の脈は目立たない。高山性で少ない。

④④センダイタイゲキ（トウダイグサ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…A地域・B地域

湿地に生える多年草。高さ40～60cm。葉は6～8cmの長楕円形で互生する。総苞葉はほぼ三角形。杯状花序の付属体は三日月形で鈍頭。花期は4月で短い。現存する出釜の近くや、かつて出釜があった自然林の一角に小規模な群生地がある。

④⑤キガンピ（ジンチョウゲ科） 環境省：－、栃木県：－

■確認した地域区分…A地域

落葉低木。細い枝に5cm弱で鈍頭の楕円形の葉が対生する。8～9月に淡黄色の小花を総状につける。分布域は近畿以西であるが大山家ゆかりの地域に点々と自生し、少しずつ生育域を広げているようだ。しかし、平地林の宅地化等で、消滅する所もある。大山小学校の校庭で大切に保護されている。

④⑥エゾノタチツボスミレ（スミレ科） 環境省：－、栃木県：－

■確認した地域区分…B地域

明るい林内に生える多年草。有茎で高さ30cm前後になる。托葉は櫛状に鋭く切れ込み、7～10mmの萼裂片は細長く鋭尖頭。短い距は左右から張合わせたように少し凹んだ筋がある。湿潤な平地林の林縁に白花種が生育する。ノイバラ等の低木類に押され気味だが個体数を増やしているようである。

④⑦ヒゴスミレ（スミレ科） 環境省：－、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…C地域

関東以西の山地や日当りの良い路傍に生える多年草。葉は鳥足状に5全裂し、各裂片は更に細裂する。4月頃、花卉の巾が広めのふくよかな白花が咲く。砂利集積地で確認されたが、本来の自生か逸出か定かではない。

④⑧スミレサイシン（スミレ科） 環境省：－、栃木県：－

■確認した地域区分…山岳地域

山地の適湿な木陰に生える多年草。白く太い地下茎がある。4～5月頃、淡紫色の大きな花をつける。先が細長く尖った心形の葉は花に遅れて展開し、柄は通常帯紫色。日本海側に多い。整備された遊歩道脇に群生する斜面がある。

④⑨ミズマツバ（ミソハギ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：要注目

■確認した地域区分…B地域

湿地や水田に生える小形の1年草。基部から分岐する茎は高さ7cm前後、細い葉が3～4枚輪生する。約10mm長の葉先に2個の微突起がある。9～10月頃、淡紫紅色の小さな花が咲く。稲作の早期化にともない農機具等での攪乱が1年草の生育サイクルを中断したり、水田の宅地化が進む等により、急速に減少しているようである。

⑤⑩ゴゼンタチバナ（ミズキ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

亜高山帯の樹林内や林縁に生える常緑の多年草。高さ 10 cm 前後の茎頂に広楕円形の葉を、開花株で 6 枚、未開花株で 4 枚輪生状につける。6~7 月頃、頭状に集まった多数の花が花弁状の 4 枚の白い総苞片に囲まれて咲く。登山道脇に群生していた。

⑤⑪ホタルサイコ（セリ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…B 地域・山岳地域

山地の林縁や草地にまれに生える多年草。茎は高さ 1m 以上になる。長楕円形の根生葉は長柄があり、互生する長さ 5~15 cm の茎葉は無柄で、基部はやや耳状になり茎を抱く。平行脈が目立つ。8 月頃、枝先につく複散形花序に黄色い花をつける。B 地域では明るい林内に少数自生する。山岳地域では近年動物の食害にあい開花には至らない年もある。

⑤⑫イブキボウフウ（セリ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山野の草地にややまれに生える多年草。茎の高さ 80 cm 前後で稜線があり有毛。上部でよく分枝する。葉は 2~3 回羽状複葉で裂片は変異が多い。7~8 月頃、径 3~6 cm の小散形花序にやや密に白い花をつける。今回の調査で、山の草地に開花している株が見つかった。

⑤⑬タニミツバ（セリ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

谷間の木陰に生えるややまれな多年草。多少肥厚した数本の根がある。高さ 60 cm 前後の茎は中空で細く、上部で分枝する。互生する葉は披針形の 3~5 小葉からなり、縁に細かい鋸歯がある。8 月頃まばらな複散形花序に白い花をつける。湿地に続く林内に少数が生えている。

⑤⑭ヤマナシウマノミツバ（セリ科） 環境省：絶滅危惧 I B 類、栃木県：絶滅危惧 II 類

■確認した地域区分…山岳地域

山の木陰に生える多年草。非常に少ない。有柄葉は根生し、茎頂に対生する無柄の葉がつく。通常、茎葉は無いが、時に茎の下部に有柄葉を 1 枚つける。今回の現地調査では確認できなかった。文献記録：比津羅山（加藤 1994）

⑤⑮ヌマゼリ（サワゼリ）（セリ科） 環境省：絶滅危惧 II 類、栃木県：要注目

■確認した地域区分…A 地域

湿地に生える多年草。高さ 60 cm ほど。互生する葉は奇数羽状複葉で、鋸歯がある披針形の小葉が 7~9 枚つく。夏に白い小花を複散形花序につける。出釜の湧水を集めた清流にミズハコベやバイカモ等と混生しているが、水流が急な所ではしばしば折れて側枝を出し、草丈も低くなっている。個体数は増加の傾向。

⑤⑯ヒメイワカガミ（イワウメ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山の岩場に生える常緑の多年草。葉は 3 cm 前後の卵形で縁は 2~3 対の低い鈍鋸歯がある。4~5 月頃、花茎の先に 1~5 個の白かまれに紅色の花がややうつむいて咲く。岩質でやせた尾根の林内に、白花をつけて群生するのが確認されている。

⑤⑰シャクジョウソウ（イチヤクソウ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山地の暗い木陰に生える多年性の腐生植物。全草黄褐色で高さ 20 cm 弱。7 月頃、鱗片葉のある茎に吊鐘状の花が数個総状に下向きにつく。さく果は球形で上向きにつき、翌年の花期まで残ることもある。希産種だが安定した環境では数 10 本もの花茎が束生する。

⑤⑨オオヤマツツジ (ツツジ科) 環境省：一、栃木県：情報不足

■確認した地域区分…B 地域

山地の日当たりのよい斜面に生える半常緑低木。葉が展開する前に紫紅色の花をつける。雄しべは 10 本、子房に白い長毛が密生する。記録はあるが近年の標本などは無く現状は不明。今回の現地調査でも見つからなかった。

文献記録：西那須野町 (目録)

⑤⑩アイナエ (マチン科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…B 地域

日当たりの良い草地等に生える小形の 1 年草。茎は高さ 8 cm 前後で針のように細い。下部に対生する 10 mm 前後の披針形全縁の葉が数対集まってつく。茎葉は無い。8~9 月頃、上部でまばらに分かれた枝に筒状で先が 4 裂した 4 mm ほどの白花をつける。芝生に混生することが多いが、芝刈りの時期を選ばないと消滅するおそれがある。

⑤⑪ハルリンドウ (リンドウ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい湿り気の多い所に生える越年草。重なるように多くつく根生葉は長さ 2~3 cm の楕円形で鋭頭、花期も残る。5~6 月頃、対生する小さな葉を 2~3 対つけた約 10 cm の茎が数本集まって立ち、茎頂に紫青色で径 2 cm ほどの花を一つずつつける。副裂片には牙齒がある。自生地では少数ながら白花種も咲く。花は曇天では閉じる。

⑤⑫ハナイカリ (リンドウ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい山地にややまれに生える越年草。4 稜がある細い茎に 3 脈が目立つ狭卵形の葉を対生する。8~9 月頃、淡緑黄色で 4 本の距が錨を思わせる小さな花をつける。山間部のササ林の縁に数本が群がって咲くのが確認された。

⑤⑬イヌセンブリ (リンドウ科) 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…B 地域・山岳地域

草地や山地の日当たりのよい湿地にまれに生える越年草。高さ 30 cm ほどの茎にセンブリよりも巾の広い葉を対生する。苦みはない。秋に咲く花は白色で淡紫色の筋がある。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：西那須野町 (目録)、よし沼 (続那須)

⑤⑭テングノコヅチ (リンドウ科) 環境省：準絶滅危惧、栃木県：要注目

■確認した地域区分…山岳地域

山地にまれに生える多年草。長さ 30 cm ほどの細い茎は横に這い、短い柄のある卵心形の葉を対生する。7~8 月頃、茎頂及び上部の葉腋に、濁りのない淡青紫色の花を 1~3 個つける。筒状花は 5 裂し副裂片がある。ツルリンドウのように、他のものに巻きつきながら長く伸び多くの花をつけることはない。1,000m 以上の高地 2 ヶ所で見つがっている。



⑥④ミツガシワ（ミツガシワ科） 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の沼や湿地にまれに生える多年草。長い柄に楕円形で全縁或いは低い鈍鋸歯のある4~8cmの3小葉をつける。葉は平開しない。5月頃、40cmほどの花茎に総状に咲く花は、やや淡紅色を帯びた白色で、深く5裂し、縮れた白毛が密生する。

⑥⑤ホソバノロクオンソウ（ガガイモ科） 環境省：一、栃木県：絶滅

■確認した地域区分…B地域

山間の草地に生える多年草。極めて少ない希少種。直立又は上部が少しつる状に伸びる茎に長楕円形の葉を対生する。5~6月頃、葉腋から出る花序にまばらに帯白色の花をつける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：西那須野町狩野（目録）

⑥⑥マメダオシ（ヒルガオ科） 環境省：絶滅危惧ⅠA類、栃木県：絶滅

■確認した地域区分…B地域

1年草のつる性寄生植物で茎は細く黄色。7~10月頃、無柄の豆粒状の小さい花が数個密集してつく。農作物にも寄生する害草だが、昨今、ほとんど見られなくなった。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：西那須野町（目録）

⑥⑦サワリソウ（ムラサキ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

山地のやや湿気の多い木陰にまれに生える多年草。高さ50cmほどの茎は上部で分枝する。大きな倒披針形鋭頭で濃緑色の葉を互生する。6月に筒部が長く先が5裂した12~13mmの花を渦巻状の花序につける。色は淡紫~白色があるようだが、今回の調査では外側がほのかに紫色を帯びた白花が見つかりしている。

⑥⑧ルリソウ（ムラサキ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…A地域・B地域

山地の林内にまれに生える多年草。高さ20cm前後で開出毛が多い茎に倒披針形全縁で細毛のある葉を互生する。4~5月頃、茎頂の二分岐する渦巻状花序に径10~15mmの紫青色の花をつける。両地域のやや湿り気のある林内に少数の開花株があった。

⑥⑨ジュウニヒトエ（シソ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

丘陵地の明るい林内に生える多年草。全草に縮れた白毛がある。20cm前後の茎に低い波状鈍鋸歯が少しある葉を対生する。5~6月頃、茎頂の4~6cmの総状花序に白~淡紫色の花をつける。両地域の落葉樹林内や林縁にわずかに自生していたが、伐採や整地等で、殆ど見かけなくなっている。

⑦⑩ミズネコノオ（シソ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…B地域

湿地に生える一年草。高さ15~50cmの茎に細い葉を4~6枚輪生する。8~10月頃、細い花穂に2mmほどの白花を密につける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：西那須野町（目録）

⑦ヒメハッカ（シソ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

湿地にまれに生える多年草。白く長い地下茎がある。直立する高さ 25 cm 前後の茎は分枝し、長さ 10~20 mm の楕円形全縁の葉を対生する。8 月頃、枝先の短い花序に淡紫紅色の小さな花をつける。全草に清々しいハッカの香りがある。山地にやや密に群生する湿地があるが花期に水位が上昇し、水没の被害に会う年が多いようである。

⑧アオホオズキ（ナス科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

やや湿り気のある山地の木陰に生える多年草。50 cm 前後になる茎は叉状に分枝し長楕円形有柄の葉をつける。果実を包む萼は先が開いたつぼ状になる。山岳地域から標本が得られた記録があるが、今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町宇都野嶽山箒根神社（とちぎの植物）

⑨サウトウガラシ（ゴマノハグサ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…B 地域・C 地域・山岳地域

沼地の近くや水田に生える 1 年草。高さ 10 cm ほどの細い茎は基部で分枝し、長さ約 1 cm で鋭頭全縁の細い葉は対生する。8~9 月頃、紫紅色で二唇形の小さな花をつける。B 地域・C 地域の水田で各 1 個体を確認。山地に広く群生する湿地があった。

⑩タチコゴメグサ（ゴマノハグサ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい山の草地に生える半寄生の 1 年草。茎高 30 cm 前後になり上部で分枝する。葉は 1 cm 前後の円形で 4~6 対の鋸歯があり、先は鋭く芒状にとがる。8 月頃、約 6 mm 程の花をつける。花冠は白色で二唇形、紫色の筋が入る。産地は少ない。

⑪キヨスミウツボ（ゴマノハグサ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山地の木陰に生える多年性の寄生植物。落葉広葉樹の根に寄生することが多く、叢生する短い茎は多数の鱗片葉に覆われる。7 月頃、茎頂につく複数の花が地上に出る。花冠は白~淡黄色、2~3 cm ほどの細長い筒部の先が二唇形になる。雄しべは 4 本。花期が短いので見付け難いようである。

⑫ゴマノハグサ（ゴマノハグサ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…C 地域

山のやや湿り気のある草地に生える多年草。茎は方形で直立して分枝せず、80~150 cm になる。葉は長さ 6~10 cm の卵形、やや鋭い小鋸歯があり、対生する。葉柄は短い。7~8 月頃、細い円錐花序に、淡緑色で長さ 6~7 mm の壺状花をつける。雄しべは 4 本。非常に少ない。

⑬クガイソウ（ゴマノハグサ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…C 地域

山の草地に生える多年草。高さ 1m 前後の茎に 4~6 枚輪生する葉が疎らな層状につく。葉は細鋸歯があり 10 cm 前後の長披針形。7 月頃茎頂の長い総状花序に淡紫色の花が密につく。萼は 5 裂、5~6 mm の筒状花冠は 4 裂し、2 本の雄しべが花外に伸び出る。非常に少ない。

⑭イヌタヌキモ（タヌキモ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

池や沼に浮遊するまれな多年草。平面に細裂した葉に捕虫胞をつける。8~9月頃、少数の鱗片葉があり茎よりも太い10cmほどの花茎に、短い距をもった黄色の花が咲く。夏頃から明らかな越冬芽を作る。今回山地の沼で少数浮遊しているのが見出された。

㊦ ムラサキミミカキグサ (タヌキモ科) 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい湿地にまれに生える多年草。糸状の地下茎に捕虫胞をつけ、所々で3mmほどのへら形の地上葉を出す。8月頃、10cm前後の細い花茎に下向きの距をもつ淡紫色の小さな花を疎らにつける。山地の沼にわずかに自生する。

㊧ チチブヒョウタンボク (スイカズラ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山地の日当たりのよい所に生える落葉小低木。よく分枝し高さ1~2mになる。長さ4cm前後の卵形全縁で両面有毛の葉を対生する。5月頃、葉枝から出る15mm程の細い柄に下向きに淡黄色で2cm弱の筒状花を2花つける。2個の子房は中部まで合着し、7月頃に赤熟する液果は高さ約7mmのヒョウタン形になる。個体数は少ない。

㊨ オミナエシ (オミナエシ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…B地域・山岳地域

日当たりのよい山野に生える多年草。高さ1m近くになり、羽状に深裂する葉を対生する。8月頃、上部がほぼ平になる集散花序に黄色の小さな花を多数つける。かつてB地域の林縁にも自生していたが、今回の現地調査では見当たらなかった。山地に少数が自生する。非常に少なくなった。

㊩ ナベナ (マツムシソウ科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山地の日当たりのよいやや湿った所に生える越年草。1mを越える茎は良く分枝し、全体に刺状の剛毛がある。対生する葉は羽状に切れ込み、鋸歯がある。8月頃、沢山の淡紫紅色の小花が集まって球状になる頭花を、茎頂に1個ずつつける。頭花は径2cmほどで、基部に反り返ってつく細い総苞片がある。希少種。

㊪ マツムシソウ (マツムシソウ科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

山の乾いた草地に生える越年草。茎は高さ70cm前後になり分枝する。葉は羽状に分裂し鈍頭、長さ5~10cm。8~9月頃、径4cm前後の淡紫色の頭花をつける。周辺部の筒状花の花冠は外側の裂片が大きくのびる。果時は15mmほどの球形になる。山地にわずかに咲いているのが確認された。

㊫ パアソブ (キキョウ科) 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：一

■確認した地域区分…B地域・山岳地域

山地の林縁や草原にまれに生える多年性のつる草で、太い根がある。長楕円形全縁で長さ3cm前後の葉は短枝上に3~4枚接してつき、輪生するように見える。葉裏に白い伏毛がある。8月頃、径2cmほどの吊鐘形の花をつける。うつむいて咲く花の先は浅く5裂して反り返り、内面は濃紫色を帯びる。種子は光沢のある黒褐色で翼はない。

㊬ サワギキョウ (キキョウ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山間の湿地に生える多年草。50~100cmの茎に鋸歯のある披針形の葉が多数互生する。8月頃、茎

頂の総状花序に濃紫色の花がつく。花は径3 cmほどで二唇形、下唇は3中裂して横向きに咲く。山地の沼に群生しているが自生地は少ない。

⑥キキョウ（キキョウ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい山野の草地に非常にまれに生える多年草。高さ70 cm前後の茎に、細かい鋸歯のある狭卵形の葉を互生する。7～8月頃、茎頂近くに青紫色の美しい花をつける。近年激減し、自生地も数えるほどになっている。今回の調査でやや乾いた斜面草地にススキ・アキカラマツ等に埋もれるように2～3本が咲くのを確認した。

⑦イワヨモギ（キク科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、県：—

■確認した地域区分…山岳地域

山中や海岸の岩場に生える半低木。高さ50～100 cm。葉は初めくも毛があり、下面に腺点がある。中部の葉は大きく、長さ7～8 cm、2回羽状に全裂し、中軸は櫛の歯状になる。9～10月頃、円錐花序に多数の小さな頭花を付ける。本州には自生しないとされているが、道路工事後の斜面に出現する例があり、国内帰化などともいわれる。山岳地域の拓かれた斜面に確認された。

⑧カワラノギク（キク科） 環境省：絶滅危惧ⅠB類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…B地域・C地域

大きな川の中流域で流水量の激変により攪乱される丸石河原に生える1回稔実性2年草。草丈50 cm前後、上部で分枝する。葉は5 cm前後の狭披針形全縁、葉柄は無い。上方の葉ほど小さくなる。茎葉共に短毛がある。10月頃、淡紫色でやや細い舌状花をもつ径4 cm前後の花をつける。冠毛は約5 mm、総苞片は線形。今回の調査で少数の自生が確認された。

⑨オケラ（キク科） 環境省：—、栃木県：—

■確認した地域区分…B地域・山岳地域

日当たりのよいやや乾いた林縁等に生える多年草で雌雄異株。細くて硬い50 cm前後の茎に互生する葉は刺状の鋸歯があり、下部のものが1～2対羽状に深裂、上部のものは単葉になることが多い。花期は9～10月。周囲に魚の骨状の苞葉がある白色の頭花をつける。個体数は少ない。

⑩アズマギク（キク科） 環境省：—、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

明るい乾いた草原に生える多年草。茎は高さ20 cm前後になる。根生葉はへら状。やや小形の葉を茎上にまばらに互生する。全草に白い軟毛がある。5～6月頃、茎頂に径35 mmほどで淡紫色の重なって密につく舌状花と黄色の筒状花からなる頭花を単生する。今回の現地調査では確認されていない。

文献記録：塩原町中塩原日塩道路（長谷川 2001）

⑪カワラニガナ（キク科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：要注目

■確認した地域区分…A地域・B地域・C地域

河原の砂礫地に生えるややまれな多年草。全縁又はわずかに鋸歯がある細長い葉が根元から多数立ちあがる。夏、30 cmほどの茎に径約2 cmでタンポポ様の黄色い花をまばらにつける。市の中央部を流れる蛇尾川にやや疎らに連続して自生する。

⑫ニッコウコウモリ（キク科） 環境省：—、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

亜高山帯に見られる茎高 120 cm にもなる大形の多年草。対生する葉は三角状ほこ形で脈上に細毛が少し生える。頭花は 10~15 の小花からなり総苞片は 7~9 個。今回の現地調査では確認されていない。

文献記録：日留賀岳（目録）

㉔コウリンカ（キク科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

日当たりのよい山地の草原に生える多年草。茎は 50~60 cm で直立し、枝を出さない。茎葉は広披針形で長さ 10~16 cm、低い小鋸歯があり、互生する。茎、葉ともにややくも毛がある。7~9 月頃、茎の先にやや散形に数個の赤橙色の頭花を付ける。花径は 3~4 cm、10~15 個の細い舌状花は外反し、下垂して咲く。山地の送電鉄塔用地等、ひらかれた草地にまれに自生する。

㉕イトモ（ヒルムシロ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…C 地域

低山の流水中や水の澄んだ池等にまれに生える小型の多年草。沈水性で地下茎はない。茎葉ともに 1mm ほどの糸状で全縁、よく分枝し枝の先が殖芽となり越冬する。C 地域の溜池で繁殖が確認された。

㉖フトヒルムシロ（ヒルムシロ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…A 地域・山岳地域

池や湧水に生えるややまれな多年草。水中葉は長さ 12 cm 前後の狭披針形、上部につく浮葉は楕円形鈍頭で長さ 10 cm 前後、共に長い柄がある。夏に、花被のない両性花を密につけた長さ 3~5 cm の穂状花序を出す。越冬用の殖芽は作らない。湧水を起源とする清流と山地のヨシの繁る沼に群生する所がある。

㉗ホソバミズヒキモ（ヒルムシロ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

丘陵地や山地の池沼の水中に生える多年草。よく分枝する細い茎に、糸状で鋭頭の水中央葉と楕円形の小さい浮水葉がつく。山地の湿原をゆるやかに流れる水路の深みに 2~3 本生えているのが見つかった。観察時には各個体とも浮水葉は無く水中葉のみであった。増水時には流れが早くなるようで、根元の土砂がえぐり取られた跡があった。

㉘ギョウジャンニク（ユリ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

深山の林内に生える多年草。葉は長さ 20 cm 前後の長楕円形。6~7 月頃、50 cm 内外の花茎に白い小さな花を散形につける。全草に強いニンニク臭があり、若葉を山菜として食する習慣がある。山地に自生地がある。

㉙キジカクシ（ユリ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…B 地域・C 地域・山岳地域

山の草原に生える雌雄異株の多年草。茎の高さ 70 cm 前後、よく分枝する。似ているオランダキジカクシより巾の広い葉状枝を束生する。5 月頃、1~2 mm のごく短い柄に緑白色の小さい花をつけ、果実は赤熟する。B 地域・C 地域の明るい落葉樹林内では少数が散在する。山岳地域では、草地に他の草と混生している所が見つかっている。

㊦スズラン (ユリ科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の草地や明るい林内に生える多年草。4～5月頃、葉と共に花茎を出す。葉は2枚、長楕円形で長さ10～17cm。葉よりも短い花茎に下向きに咲く吊鐘形の白い花を8個前後つける。今回の現地調査では確認されていない。

文献記録：塩原町北部山地（栃木県高等植物目録改訂版2002）

㊦ヒメアマナ (ユリ科) 環境省：絶滅危惧ⅠB類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

やや湿った原野にまれに生える多年草。葉は1枚で10～20cmの細い線形。春、1本の花茎に2～5の花柄を出し、1cmほどの黄色い花を散形につける。今回の現地調査では確認されていない。

文献記録：塩原町中塩原（栃木県高等植物目録改訂版2002）

㊦キバナノアマナ (ユリ科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山野に生える多年草。卵形で径約1cmの小さな根茎から細長い葉を1枚だす。花期は4月。花茎の高さ15cm前後。2個の苞葉を持ち、長短がある花柄に約2cmの黄色い花を数個つける。まばらな落葉樹林下や耕地の畦畔に見られるが、生育地は甚だ少ない。

㊦クルマユリ (ユリ科) 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

亜高山帯の草地に生え、高さ70cm前後の茎の中程に数枚の葉が輪生状につく。葉は長さ7～10cmの鋭頭披針形。7～8月頃、1～6個の朱赤色の花がややうつむいて咲く。4cm前後の花被片は強く反り返り、内側に斑点がある。登山道脇の草地に自生が確認された。

㊦ホソバナノアマナ (ユリ科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山地の草原に生える多年草。細い根生葉を1～2枚つける。4～5月頃、数枚の小さな葉を持った20cm前後の茎の上部に2～5個の白い花をつける。花被片は淡緑色の細い筋が入り、長さ約15mmほど。山地に小規模な群生地がある。2001年に山岳地域～C地域で4～5本の開花が見られた。

㊦ヒオウギ (アヤメ科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…C地域

低山の草地に生える多年草。粉白色を帯びた厚い葉は2列互生し、扁平な扇状になる。8～9月頃に枝を分けた花茎に5cmほどの花が咲く。黄赤色で濃色の斑点がある花被片6個は内外ともに同形で平開する。種子は光沢がある深い黒色。

㊦ヒメシャガ (アヤメ科) 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の岩の多い乾いた斜面に生える多年草。地下茎は横に這って分岐する。剣状の葉は長さ巾とも小形で、質うすく、先端は垂れる。花がなければイネ科やカヤツリグサ科と誤認されやすい。5月頃、15cm前後の細い花茎に淡青紫色で径4cmほどの花が咲く。花後、径約8mmの球形の果実を結ぶ。県内でも自生地は非常に少ないが、塩原山地には群生地がある。又、国道沿いの崖地にも自生している。

⑯クロイヌノヒゲモドキ（ホシクサ科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の湿地にまれに生える1年草。細い葉は根生して斜上する。夏、10 cm前後の細い花茎を数本出し黒色の頭花を単生する。膜質の総苞片は頭花よりも長い。山地の湿地にわずかに自生する。尚、基準産地は高原山といわれる。

⑰ヒゲシバ（イネ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…B地域・C地域

低山の日当たりのよいやや湿り気のある草地に生える小形の1年草。高さ5~10 cmほどの細い桿は根元でわずかに分枝する。細くて短い鋭尖頭の葉の縁には白色でやや長めの繊細な開出毛が行儀よく並んで生える。8~10月に4 cm前後で暗赤褐色の細い花穂を立てる。群生するが、産地は局所的でまれである。

⑱ショウブ（サトイモ科） 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

水辺に群生する多年草。横に這う太い地下茎から出る葉は扁平で2列に叢生し、長さ50~90 cm、巾15 mmほどの細長い剣状、中肋が目立ち基部は淡紅紫色になる。初夏、30 cm前後の扁平な花茎に長さ7~8 cm巾1 cm強の円柱形肉穂花序を出す。全草に芳香があり古くから薬用に栽培された。山間部の湿地に群生地が見出された。

⑲ミズバショウ（サトイモ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

山中の湿地に生える地上茎のない多年草。白い仏炎苞に包まれて円柱状に両性花を密集してつけた肉穂花序が、4~5月頃雪解けを待って出る。花よりやや遅れて筒状に巻いた状態に出る葉は、夏には柄も含めて80 cm近い壮大な姿になる。大沼の自生地では年々範囲を広げて増えている。当地方では希産種である。

⑳ナガエミクリ（ミクリ科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：要注目

■確認した地域区分…A地域

浅い流水中に生える多年草。横走する地下茎がある。巾10 mmほどの細長い葉を互生する。8~10月頃、70 cm前後で分枝しない花茎の上部に雄花、下部に雌花の球状頭花を数個ずつつける。最下の雌頭花には3 cmほどの柄がある。群生地で河川工事のため一冬水を涸らした年があったが、通水後は他の水草と共に復活した。急流に押されて水面に倒れる葉が多い。開花はまれといわれるが、ここでは毎年数本の花茎が立つ。

㉑クロヒナスゲ（カヤツリグサ科） 環境省：一、栃木県：要注目

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山地のやや乾いた落葉樹林内に生える多年草。株はゆるく叢生する。巾2 mmほどの細い葉は若い時は毛がある。花期は3~5月。20 cm前後の茎の先に1個の細長い雄小穂と1~2個の短い雌小穂が集まってつく。柱頭は三岐する。産地は少ない。

㉒ヤガミスゲ（カヤツリグサ科） 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

低地丘陵から山の沼地や河畔等、湿った草地に生える多年草。花のない茎にも葉がつき叢生する。5月頃、50 cm前後の茎に15~20個の無柄の小穂をやや密につける。小穂は雌雄性で果胞が熟すと少し外反して金平糖状を呈し、5 cm余りの花序全体では凹凸のある円柱状となる。沼辺のところどこ

ろに自生する。

⑭ **ホソバオゼヌマスゲ (カヤツリグサ科)** 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地帯の湿地にまれに生える多年草。根茎は短く叢生する。葉は濃緑色で巾2~3mm。6~7月頃、高さ50cm前後の細い茎に無柄の小穂が数個やや離れてつく。5~10mmの小穂には数個の雌花と基部に少数の雄花がつく。柱頭2岐。山地の湿地に流れる水路脇に、わずかに生えている。

⑮ **タヌキラン (カヤツリグサ科)** 環境省：一、栃木県：一

■確認した地域区分…山岳地域

山地の水湿斜面や崖に生える大型の多年草。太い茎は高さ90cm近くになり、葉は叢生して大株になる。5月頃、長い柄の先につく小穂は上部1~3個が雄性、2~3cmの楕円形~球形で下垂するのが雌性である。塩原山地には、常時流水で湿った石の隙間に多数の大株が生える崖地がある。産地は少ない。

⑯ **サギスゲ (カヤツリグサ科)** 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

低地から高山帯にかけての湿地に、ややまれに生える多年草。茎より短い線形の葉を少数つける。6月頃、40cm前後の茎の上部に柄のある小穂を2~3個つけ、果時には白い綿毛が2cm近くにのびて倒三角状の楕円形になる。山地の湿地に少数がまばらに生える。

⑰ **コアゼテンツキ (カヤツリグサ科)** 環境省：一、県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

低丘陵地から山地の湖沼畔や水田の畦道にまれに生える1年草。高さ7~15cmになり、叢生する。葉は短く、鞘とともに有毛。8~10月頃、桿頂の散形花序に4~7mmの卵形で淡褐色の小穂を多数つける。鱗片の芒は短い。花柱基部は無毛、柱頭は2岐、雄しべは1個。山岳地域の湿地で少数が確認された。

⑱ **ムギラン (ラン科)** 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

岩や樹上に着生して群生する常緑の多年草。横に這う茎に偽球をつけて2cm内外の長楕円形円頭の葉を1枚出す。6月頃、短い花柄に1~3個の帯黄白色で小さい花をつける。関東以西に分布し当地方では非常に希産。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町大綱（栃木県高等植物目録改訂版2002）

⑲ **キソエビネ (ラン科)** 環境省：絶滅危惧ⅠA類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

山林内にまれに生える多年草。長さ20cm前後の大きな葉を2~3枚つける。7~8月頃、うつむいて咲く帯紫色の花を数個つける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町大綱（栃木県高等植物目録改訂版2002）

⑳ **エビネ (ラン科)** 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…B地域・C地域

平地から低山の林内に生える多年草。長さ15~30cmの大きな葉を2~3枚根生する。5月に多数の花を総状につける。花の色は基本的には紅紫褐色の花被片に白色の唇弁がつくが、濃淡が様々で、人家で栽培されることが多い。当地域の林内数箇所に自生するが、盗掘による絶滅が心配される。



㉔キンセイラン（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の木陰に生えるまれな多年草。縁がやや波打つ長さ15~30cmの葉を3~5枚根生する。6月、30cm前後の花茎に淡黄緑色の花を10個ほどまばらにつける。今回の現地調査では確認されていない。

文献記録：塩原町日留賀岳（栃木県高等植物目録改訂版2002）

㉕ナツエビネ（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：—

■確認した地域区分…B地域

やや湿気のある林内に生える多年草。エビネより少し大型でしっかりした葉を4~5枚束生する。8月に距の無い淡紅紫色の花を多数つける。10月上旬、林内で萎れた花が残る花茎が立つ1個体を確認した。

㉖ギンラン（ラン科） 環境省：—、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…B地域・C地域・山岳地域

低山の明るい林内・林縁に生える多年草。高さ20~40cmの茎に狭い長楕円形の葉を3~6枚互生する。5~6月頃、小さくて平開しない白い花を上向きに3~10個つける。上部の苞葉は花序より短い。小さいものは開花時でも高さ約10cmである。

㉗ユウシュンラン（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山地の林内に生える多年草。高さ10cmほどの茎に2~3cmの狭披針形の葉を1~2枚つける。5~6月頃、白い小さな花を上向きに1~2個つける。唇弁の先は少し朱色。山地に僅かに自生するが、深い林よりも少し開かれた林縁や登山道脇に見られるようである。

㉘キンラン（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…B地域・C地域・山岳地域

平地から低山の落葉樹林内に生える多年草。茎は高さ50cm前後になり長楕円形の葉を6~8枚互生する。5月頃、鮮黄色の平開しない花が10個近く上向きに咲く。美しく目立つので盗掘されやすい。B地域のもは大型で個体数も多かった。

㉙オノエラン（ラン科） 環境省：—、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

高山の日当たりのよい岩上や草地に生える多年草。基部に2枚出る葉は長さ10cm内外の楕円形。7~8月頃、白い花を2~7個やや密につける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町日留賀岳（栃木県高等植物目録改訂版2002）

㉚トケンラン（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…A地域・C地域・山岳地域

林内に生える多年草。長楕円形の葉を2枚つける。6月頃、30cm内外の花茎に7~8個の黄褐色で紫色の斑点がある花をつける。日本海側要素の強い種といわれ、県内でもごく希産。市内の林下にまれに生えるが、平地林の開発で消滅してしまった自生地もあり甚だ残念である。

㉛コアツモリソウ（ラン科） 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

山の木陰に生える多年草。4 cm内外の心円形の葉を対生する。葉縁はやや縮れ3~5本の葉脈がはっきりしている。5~6月頃、下垂する花柄に唇弁が袋状の淡黄緑色の花を1個つける。標本が塩原町湯本で採取されているが、今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録:塩原町湯本(とちぎの植物I)

㊸クマガイソウ(ラン科) 環境省:絶滅危惧Ⅱ類、栃木県:絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

山の木陰に生える多年草。直立する茎は粗毛を密生し30 cm内外。上部に扇円形の大きな葉が2枚つく。4~5月頃、茎頂に8 cmほどの大きな淡緑色の花が1個下垂して咲く。袋状になる唇弁に紅紫色の筋が入る。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録:安戸山ほか(栃木県高等植物目録改訂版2002)

㊹ハクサンチドリ(ラン科) 環境省:一、栃木県:絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

高山の草地に生える多年草。20~40 cmの茎に3~6枚の葉がつく。6月、2 cmほどの紅紫色の花をやや密につけ美しい。市内のごく限られた山地で日当たりのよい草地に少数が自生する。

㊺イチヨウラン(ラン科) 環境省:一、栃木県:準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

高地の樹林内に生える多年草。短い柄がある広卵形の葉が1枚つく。5~6月頃、10 cm前後の花茎に径2~3 cmの花が1個つく。淡緑色で細い花被片には紫褐色の斑点があり、白い大型の唇弁には淡紅紫色の大きめの斑点がある。市内でもごく希産だが、山岳地域に局地的に開花株が点々と生える所がある。

㊻サワラン(アサヒラン)(ラン科) 環境省:一、栃木県:絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の明るい湿原に生える多年草。15 cm前後の茎に細長い葉を1枚つける。花期は7月。茎頂に2 cmほどの紫紅色の花が1個横向きに咲き、平開しない。湿原にごくまれに咲くが、美しい花が目立ち盗掘されやすく、絶滅寸前の状態である。

㊼カキラン(ラン科) 環境省:一、栃木県:絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

丘陵地や山地の湿地に生育する多年草。高さ30~70 cmで、葉は狭卵形から広披針形。花期は7月頃で、花は数個から十数個付き、横向きに開く。花弁は萼片と同長で、橙黄色。唇弁は白色、内部に紅紫色の斑点がある。園芸採取、開発等により激減し、市内ではごく限られた地域に少数が自生する。

㊽カモメラン(ラン科) 環境省:準絶滅危惧、栃木県:絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

深山の木陰にまれに生える多年草。下部に1枚の葉をつけた15 cm程の茎に、2~3個の淡紅紫色で唇弁の大きな花がつく。6月に2本が寄り添うように咲くのが確認できた。大変貴重な存在である。

㊾ベニシュスラン(ラン科) 環境省:一、栃木県:絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…C地域・山岳地域

山地の林内に生える多年草。高さ3~5 cmの茎に網目状に白斑が入った葉を4~5枚つける。葉裏

は紫紅色。7～8月頃、長さ約25mmで平開しない筒状の花を横向きに1～2個つける。花は淡紅紫色。林内に、少数ずつ点々と生えている。

⑬ アケボノシュスラン (ラン科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…A地域・C地域・山岳地域

丘陵地から山地の林内に生える多年草。茎の下部は地上を這い節毎に根を出す。斜上する茎につく4～5枚の葉は縁が小さく波打ち、時には中央部に緑白色の筋状紋が入る。8～9月頃、淡紅紫色を帯びた白い小さい花を数個やや偏側生する。市内低地から山地の湿り気の多い林内に群生地が散在する。

⑭ シュスラン (ピロードラン) (ラン科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…C地域

山地林内に生える多年草。高さ10cm前後の茎につく葉は数枚、暗緑色でピロード状の深い光沢があり中央に白い筋が入る。9月頃、7mmほどの白い花を10個近く、偏側にややまばらにつける。分布域は関東南部以西といわれるが、今回の調査で平地林内に30個体近くが生えているのを確認、そのうち8個体あまりが花をつけた。非常にまれである。

⑮ ノビネチドリ (ラン科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■確認した地域区分…山岳地域

高山の樹林内や日当たりのよい所に生える多年草。高さ50cmほどのやや太めの茎に楕円形で縁が波状に細かく縮れた葉が5～6枚つく。5～6月頃、小さな淡紅紫色の花が大きな総状花序に咲く。北西部の高山に小さな群生地があるが、登山道脇の林下にぽつんと咲いていたりする。非常に少ない。

⑯ テガタチドリ (ラン科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

高山の草地に生える多年草で茎の高さ40cm前後。根は一部掌状になる。葉は狭披針形。7～8月頃、長い距のある淡紅紫色の花を総状花序に密につける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町高原山 (栃木県高等植物目録改訂版2002)

⑰ ムヨウラン (ラン科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…A地域・B地域

山地の林内に生える腐生植物。長い地下茎がある。6月頃、紫褐色で20cm前後の茎の上部に淡紫褐色を帯びた白い花を数個まばらにつける。花被片の長さ20mm、横向きにやや半開する。蕾のまま脱落するものも多い。やや湿度が高い林内に断続的に自生する。年により個体数の多寡がある。平地林では近隣に宅地が迫り、開発による消滅の懸念がある。

⑱ ジガバチソウ (ラン科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…A地域・B地域・C地域・山岳地域

林内に生える多年草。下部に出る2枚の葉は巾4cm、長さ8cm前後で鋭頭、縁が細かく縮れ、網目状の葉脈がはっきりしている。5～6月頃、15cm前後の花茎にハチ類のジガバチに似ると言われる小さな花を10個程つける。花の色は紫褐色～淡緑色 (この型をアオジガバチソウと呼ぶ) まで変化がある。平地から山地の林内に自生するが、生育地や個体数はやや少ない。

⑲ クモイジガバチ (ラン科) 環境省：絶滅危惧ⅠA類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■確認した地域区分…山岳地域

山地の湿度の高い林内で樹幹に着生する小形の多年草。小さな葉を2枚つける。6~7月頃、紅紫褐色で細い花被片の小さな花がまばらに3~5個ほど咲く。山地のごく限られた範囲で落葉樹に少数が着生している。大変希産の種で継続的な見守りが望まれる。

㊦ アリドオシラン (ラン科) 環境省：一、栃木県：一

■ 確認した地域区分…山岳地域

深山の木陰に生える小さい多年草。基部は横に這い、長さ1cm程の卵形鈍頭の葉をまばらに互生する。7~8月頃、5cm前後立ち上がった茎の先に1~2個の小さな花を横向きにつける。花は僅かに淡紅色を帯びた白色で約1cm、大きめの唇弁をもつ。登山道近くの木陰で自生が確認された。

㊧ コケイラン (ラン科) 環境省：一、栃木県：準絶滅危惧

■ 確認した地域区分…A地域・B地域・C地域・山岳地域

山地林内に生える多年草。細長い葉を2枚つける。6月頃、40cmほどの茎に黄褐色の小さな花を多数、まばらな総状につける。A地域・B地域・C地域では何れも1本ずつ2~3ヶ所、山岳地域でも10数本と非常に少ない。蘭ブームの影響か、山地に多産していた地点から全く姿を消した例もある。

㊨ ミズチドリ (ラン科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■ 確認した地域区分…山岳地域

山の湿地に生える大形の多年草。高さ50~90cmの茎に10枚前後の葉をつける。7月頃、小さな白い花が20cmほどの総状花序に密につく。山間部の湿地で長く伸びたヨシの間に僅かに自生する。

㊩ トキソウ (ラン科) 環境省：準絶滅危惧、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■ 確認した地域区分…山岳地域

日当たりの良い湿地に生える多年草。15cm前後の茎の中程に細長い葉を1枚つける。6~7月頃、淡紅紫色で3cmほどの花を1つ横向きにつける。山地の自生地では、乱獲されて一時激減したが、近年復活の兆が見えている。

㊪ ヤマトキソウ (ラン科) 環境省：一、栃木県：絶滅危惧Ⅱ類

■ 確認した地域区分…C地域

日当たりのよい山の草地や湿地に生える多年草。高さ15cmほどの茎の中程に倒披針形の葉を1枚つける。6~8月頃に咲く花は白に近い淡紅紫色で上を向きほとんど開かない。かつて、C地域の草地で委員の一人が確認したことがあるが、今回の現地調査では確認できなかった。

㊫ ヒナチドリ (ラン科) 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■ 確認した地域区分…山岳地域

山地の苔の生えた樹上に着生する多年草。長楕円形の葉を1枚つける。7~8月頃、斜上する茎に1~8個の紅紫色の花をつける。今回の現地調査では確認できなかった。

文献記録：塩原町鹿股川上流域 (栃木県高等植物目録改訂版 2002)

㊬ ウチョウラン (ラン科) 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：絶滅危惧Ⅰ類

■ 確認した地域区分…山岳地域

山地の湿った岩壁の割目等に生える多年草。斜上する茎に広線形の葉を2~3枚つける。6月頃、淡紅紫色の花を偏側生に数個つける。2007年塩原を流れる川の上流部で確認された。かつては多く見られたが、乱獲により少なくなった。

㊸ マツラン（ベニカヤラン）（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…山岳地域

マツやツガの樹上に着生する常緑の多年草。密に互生する厚みのある葉は長さ 15mm 前後で鈍頭の線状長楕円形、暗緑色で時に紫色の斑紋がある。5～6 月頃、短花序に淡黄緑色の小さな花をつける。県内でもはなはだ希産で、市内では今回の調査で初めて確認された。

㊹ モミラン（ラン科） 環境省：絶滅危惧Ⅱ類、栃木県：情報不足

■確認した地域区分…山岳地域

樹上に着生する常緑の多年草。白い根を出しながら樹幹を這い 5～6 cm 余りに伸びる。濃緑色で紫色の斑がある小さな葉を密に互生する。4～5 月に淡緑黄色で唇弁がわずかに赤い小さな花が咲く。文献に記録があるが、長い間所在が不明だった。今回の調査で 2007 年アサダの樹幹に着生するのが確認された。この樹木は残念ながら伐採されてしまったが、同じ様な環境の他所に着生するのが見つかかり、再度の消息不明は免れた。ごく希産。

㊺ カヤラン（ラン科） 環境省：－、栃木県：－

■確認した地域区分…A 地域・B 地域・C 地域

丘陵地や平地の樹上に着生する常緑の多年草。基部から太い根を出して着生し、下垂しながら 6 cm 前後に伸びた茎に狭披針形鋭尖頭で濃緑色の葉を密に互生する。4～5 月頃、長さ 2～4 cm の細い花柄の先に 1 cm ほどの淡黄色の花を数個つける。唇弁には紫紅色の斑紋がある。比較的湿度の保たれた環境の古木に着生している。

㊻ ハクウンラン（ラン科） 環境省：－、栃木県：準絶滅危惧

■確認した地域区分…C 地域・山岳地域

山地の林内に生える 10 cm 足らずの多年草。下部に小さな卵形の葉が数枚まとまってつく。8 月、茎の上部に白い小さな花が 1～6 個やや集まって咲く。C 地域の落葉樹林内に他の草類に埋まるように 2～3 本咲いていた。他に山岳地域の林内で、かなりの数の開花が確認された。自生地は大変少ない。

（文責：千葉 衣子、原島 徳一）

### 3. 保全すべき地域等・保全への提言

#### （1）県レッドリスト植物群落

詳細は「レッドデータブックとちぎ」にあるので、ここでは名称のみを挙げる。

##### ① 単一群落

- ア. 大佐飛山のオオシラビソ群落
- イ. 大佐飛山のコメツガ・オオシラビソ群落
- ウ. 塩原町桜沢・雷霆の滝のサワグルミ群落
- エ. 塩原溪谷の赤松群落
- オ. 塩原溪谷のモミ群落
- カ. 箒根のモミ群落
- キ. 蛇尾川のカワラニガナ群落（塩原）
- ク. 塩原大沼のミズバショウ群落

## ②複合群落

- ア. 大佐飛山の自然植生
- イ. 高原山の自然植生
- ウ. 塩原溪谷の自然植生

## (2) 保全すべき地域・保全への提言

### ①二つ室分離丘陵の腐性ラン群落

二つ室にある一番南の標高約 230m、東西南北とも約 250m、ほぼ円形の孤立した丘陵(名称不明)で、コナラ、リョウブなどの広葉自然林とヒノキの人工林で覆われている。

この林の中に、県準絶滅危惧種Cランクの希少植物ムヨウランの群落がある。

#### 【保全への提言】

丘陵の近くまで分譲された住宅が建ち並んでいる。丘陵は開発されていないが、自然林の方は伐採されるかもしれない。人工林のヒノキは樹齢が若いので当分伐採はされないであろう。しかし、このような田園地帯の中の平地林は、植物の保全のみならず自然保護の観点からも開発の手から守る手段をとりたい。

### ②石林蕪中川支流及び乃木湧水地

乃木清水の旧河川敷と思われる水路跡の湿地にエンコウソウ、ハイキンポウゲ、カザグルマが生育している。冬期はあまり水が流れないが周囲の水田で耕作が始まると同時に水が流れ、蕪中川へ合流する。

乃木神社の社叢林北側の乃木清水を水源として石林地区を流れる用水路にノギカワモズク、フトヒルムシロ、ナガエミクリ、バイカモ、ヌマゼリ等の希少水生植物の群落がある。乃木神社西側を流れる藁沼用水は、ナガエミクリ、バイカモ、ミズハコベ、ヌマゼリ等の希少水生植物の群落がある。乃木清水を水源とする用水は、藁沼用水に合流し、蕪中川へと流れ込む。

#### 【保全への提言】

この水路の北側は耕地整理されているが、反対側は畑や竹林、藪になっており、水路を含めて耕地整理される可能性がある。その際は、希少植物のエンコウソウやカザグルマが消滅する心配があるので、地権者に、これらの植物の希少性を理解してもらい、耕地整理等が行われるときには移植等の保全策を採るようにしたい。

乃木清水は、冬期涸れることがあり、その際、用水路の川さらいが行われ、これらの植物が掘り上げられてしまう心配がある。したがって、用水路の管理者に希少植物の重要性を理解してもらい、保全に努めたい。

### ③西富山津室川湧水地と周辺山林

本地域は、田園空間博物館の展示場の一つで、湧水量は乃木清水に比べても多い(数カ所の集水のため)。周囲の針葉樹(杉)の人工林は約 3ha あり、樹齢も 40 年以上と推定される。

林床には、アオキなどの低木とオクマワラビ、リョウメンシダ、ベニシダ、ホソバナライシダ、イワガネソウなどのシダ類が繁茂し、アケボノシユスランも見られる。水路にはミズハコベ、オランダガラシ、ヌマゼリが生え、ハイキンポウゲ、フジカンゾウが空き地に見られる。駐車場近くの川縁にアブラチャンの大株も数本見られ、ハルニレもある。

那須野が原は全体に水が乏しい地域であるが、この湧水地のような場所は貴重なところなので保全すべきである。

#### 【保全への提言】

この湧水地は那須野が原のほぼ中央部分に位置しており、周囲の人工林が伐採されても水源が涸れることはないと思われる。しかし国道4号が北から西側を通っているため、もし林が伐採されれば自動車の排気ガスが冬季の季節風によって直接この地に当たるので、植物相の変化が考えられる。

したがって、この林の保全を所有者にお願いするか、行政や民間団体で買い上げるなどの方策を採るべきであろう。

#### ④蛇尾川の河川礫原植物群落

本地域は、関根・東関根・遅沢地区の蛇尾川河原で、県道55号遅沢橋上流からJR東北線下流まで5km以上にわたる地区である。那須野が原の扇状地であるため、水が伏流水として流れ、水のほとんどない河原が続いている。その河原には、希少種のカワラニガナ、カワラノギク、カワラアカザのほか、オオバヤナギ、カナビキソウ、カワラハハコ、カワラヨモギなどが見られる。

#### 【保全への提言】

これらの河原は、毎年洪水によって氾濫し、水流が変化するが消滅することなく生育しているため、川砂利採取などによる河床掘削がなければ絶滅することはないと考える。

#### ⑤三区の混交樹林下のラン類生育地

この地域は、コナラ、クヌギなどの広葉樹とスギ、ヒノキなど植林による針葉樹が混在している。これらの林床には、イカリソウ、フモトスミレ、オトギリソウ、オケラなどともに、クモキリソウ、ジガバチソウ、シュンラン、ムヨウラン、エビネ、ギンラン、ナツエビネ、ミヤマウズラなどの貴重種を含む多種のラン類が生育している。

#### 【保全への提言】

近くには分譲された住宅があり、開発が始まる可能性がある。このような田園地帯の中の平地林は、植物の保護のみならず自然保護の観点からも開発の手から守る手段を採りたい。

#### ⑥井口分離丘陵東山麓地区

この地域は、地方競馬教養センター方面から大鷹の湯の東を通り西富山方面へ水路が掘られているが、以前は相当な湿地であったと思われる。現在、希少種のエビネ、キンラン、センダイタイゲキ、キジカクシ、バアソブ、エゾノタチツボスミレ、ルリソウ、イブキトラノオの他、ネコノメソウ、アズマイチゲ、イチリンソウ、ニリンソウなどが生育している。また、逸出したラッキョウヤダケも見られた。なお、地方競馬教養センターの西側の丘陵上部にヒゲシバが生育しているほか、東斜面にはカタクリの群生地があり、コケイラン等も自生している。

#### 【保全への提言】

この地域全体が分譲地となっているようなので、早晩宅地となる可能性が高い。希少絶滅危惧種等の移植をすべきであろう。

#### ⑦墓沼、蛇尾川の河岸段丘の植物群落

墓沼は、遅野沢集落台地の下の墓沼大橋を中心とした蛇尾川の両岸である。

西側（右岸）は、墓沼用水水路の両側や台地斜面にセツブンソウ、カタクリ、キクザキイチゲ等が、平地の牧草畑や水田の畦にフクジュソウ、キバナノアマナ、ヒメニラ、上流の河川敷にナベナ、キジカクシ等が生育している。

東側（左岸）は、広葉樹林や植林された針葉樹林内にイヌザクラ、カワラニガナ、ヒゲシバ、オ

オバヤナギ、キクザキイチゲ、ユウシュンラン、キンラン、アケボノシュスラン、ジガバチソウ、イトモ、クロヒナスゲ、ハクウンラン、ヒオウギが見られる。

#### 【保全への提言】

右岸の畑や水田は耕地整理がされていないので、今後改変が行われると、希少植物の消滅が心配される。土地所有者に希少植物の大切さを理解してもらい、現況維持に努めたい。

左岸の那須塩原クリーンセンター建設に当たっては、希少動植物の保全・保護に配慮して事前調査を行い、希少種を移植したり、自然観察路を設けたりするなどの努力をしている。那須塩原クリーンセンター稼働後も動植物への影響をモニタリングすることが必要であろう。

### ⑧塩原ハイキング回顧コース周辺

墓石園地から回顧吊り橋を渡る箒川の兩岸にはアカシデ、ケヤキ等に混ざって、イロハモミジ、イタヤカエデ等多種のカエデ類が溪谷を覆っている。展望台への途中にはマキノスミレ、オカスミレ、ヒメスミレ等のスミレ類、ヤマウツボ、ベニシュスラン等が生育し、展望台より北、留春の滝へ下る尾根の西斜面には県絶滅危惧Ⅱ類（Ｂランク）のヒメシャガの群落が見られる。県レッドデータブックでは県内どの山地でも 100 株程度の生育とあるが、本地域ではそれよりもはるかに多い。留春の滝及びその近辺にはクモノスダ、ハコネシダ、ウチワゴケ、モミラン、サワルリソウ、シヤクジョウソウ、イワヒバ等の貴重植物が見られる。

#### 【保全への提言】

ハイキングコースの路傍なので採取されるのが心配であるが、5月の花期以外は目立たないので現状のままで大丈夫と思われる。注意書きの看板などは、逆効果となる可能性が高い。

### ⑨安戸山の植生

山麓はスギの植林地であるが、標高 600m 以上はブナ類やカエデ類の広葉樹林になる。標高 800 m ぐらまでは、カタクリ、エンレイソウ、ウスバサイシン、フタバアオイ、ヤマエンゴサク、バイケイソウ、ハシリドコロ、レンゲショウマ、キツネノカミソリの群落、アズマレイジンソウが見られる。さらに高いところでは、イワウチワ、ショウジョウバカマ、ミツバベンケイソウ、ヤマシヤクヤク、ヒメイワカガミ、コセリバオウレン、ヤマブキソウ、ハシリドコロの群落、がある。また、一部樹林の切れた草地には、オオナンバンギセル、カキラン、マツムシソウが見られた。

#### 【保全への提言】

山麓は杉の植林地であるが、標高約 600m 以上は広葉樹林で、昔の炭焼き窯の跡も見られる。伐採・萌芽再生の更新が行われてきたと考えられ、現在のところ保全対策の必要はないであろう。

### ⑩八方湖及び嶽山箒根神社周辺

八方湖近くの湿原内では、レンゲツツジ群落、コバイケイソウ群落、オタカラコウ群落が見られる。また、ハルリンドウ、モウセンゴケ、ノギラン、ヒメシロネ、タチコゴメグサが自生している。

嶽山箒根神社には杉の大木があり、その樹上に貴重種のヤシヤビシヤクが着生している。近くの倒木には、ミヤマノキシノブ、ヒメノキシノブが着生していた。

#### 【保全への提言】

八方ヶ原は別荘地造成のために湿原が道路で寸断されたり、乾燥化するための側溝が作られ、かなり湿原が破壊されている。造成後は放棄されている箇所も多いので、今後は追加の造成工事を認めず、元の状態に戻すことで保護していく必要がある。



### ⑪雄飛の滝付近の植生

スッカン沢沿いのカツラの大木やほかの木に貴重種のシノブ、イワオモダカ、スギランなどが多数着生している。林床には、ミヤマツチトリモチ、ケヤマウツボ、イワセントウソウ、ミヤマタニソバ、ムカゴイラクサ、ヒトツバテンナンショウ、シラヒゲソウ、アリドオシラン、コケイラン、エゾスズランが見られる。また、岩場には、イワヒバ、イワタバコが自生している。

#### 【保全への提言】

着生植物は、地上から相当高いところに着生しているので、盗採の恐れは少ないと思われる。そのほかの植物については、盗掘の監視が必要である。

ただし、強風による倒木や歩道施設への損傷防止のために伐採をしたときは、速やかに着生植物を回収して、他の場所で育てるべきである。

### ⑫富士山、ヨシ沼、大沼、小沼一帯

富士山 (1,184m) の山麓には、針葉樹が植えられているが、全体としてミズナラ、ブナ等の広葉自然林で、山頂付近はクロベやアスナロの大木が見られる。林床には県絶滅危惧種のヤマシャクヤク、イチヨウラン等が見られる。山腹には火山岩の堆積で風穴ができており、吹き出し口には局地性のあるウサギシダが生えている。また、オシダの雄大な群落も見られる。

ヨシ沼の湿地には、ヨシ、ミツガシワ、ミズチドリ、イヌタヌキモ、ジュンサイ、ムラサキミミカキグサ、トキソウ、モウセンゴケ、ヒツジグサ、サワラン、クロイヌノヒゲモドキ、イヌタヌキモが生育している。周辺には、ズミ、アサノハカエデ、ミツデカエデ、ヒトツバカエデ、カンボクなどの樹木と、アケボノソウ、ハナイカリ、キバナアキギリなどの草本が見られる。

大沼の上流はヨシ原で、下流は水の増減が著しい沼地である。上流湿地に小規模のミズバショウの群落がある。沼周辺にはカンボク、ハルニレ、ズミなどのほか、ブナ、ミズナラがあり、これらの大木に付いたシノブ、イワオモダカ、スギラン、クモイジガバチなどの着生植物やヤドリギなどが見られる。沼の周囲の湿地や水路にはフトヒルムシロ、ホソバミズヒキモ、ヒメハッカ、コキツネノボタン、トキソウ、ホソバオゼヌマスゲ、ヤガミスゲが生育している。林やその周辺ではミヤマツチトリモチ、トケンラン、コケイラン、オオヤマオダマキ、ホソバノアマナなどの希少種も見られる。

大沼から離れた小沼では、オオカサスゲ群落があり、ヤノネグサやヒメハッカが見られる。周辺はハルニレの群落となっていて、近くではシャクジョウソウ、ミヤマツチトリモチ等も見られる。

#### 【保全への提言】

この一体は国立公園で開発されることはないだろうが、希少種の園芸採取の心配があるので、個体の存在を明確にしないことが安全であろう。

また、大沼のミズバショウ生育地の下流にザゼンソウを移植したのが繁殖し、20株以上に増えているので、本来の姿に戻すためには除去すべきである。

### ⑬塩原のアカヤシオ群生地

アカヤシオは現在希少種にはなっていないが、市の花であり、園芸樹木として人気があって、低山では盗掘されてほとんど見られない。幸い塩原では、山頂から溪谷沿いの岩場に至るまで各所に生育しており、観光資源の一つとなっている。

特に、「塩原温泉ハイキングーやしおコース」のグリーンビレッジ南の谷は見事である。

#### 【保全への提言】

盗掘の監視と、道路開発時の掘り取り移植が必要である。

#### ⑭谷地畑の希少植物群落

この地区は、日塩道路の逆杉から上塩原に通じる新道に近いところで、水田と落葉広葉樹林、杉林、ススキの草地などがある。水田や休耕田の周辺にはオオヤマフスマ、ホタルブクロ、アブラガヤ、アイバソウ、エゾミソハギがある。落葉広葉樹林内にはハクウンラン、ギンランが、杉林の縁にはミツバウツギ、クロウメモドキ、ミズタマソウ、ナベナなどが見られた。ススキを主体とした草地にはキキョウ、キジカクシ、カワラナデシコ、ナガボノアカワレモコウ等の貴重植物が生育している。

##### 【保全への提言】

バイパス開通による開発の危険性と盗掘による被害が考えられる。土地所有者に希少植物の大切さを理解してもらうことで現況を維持すること、盗掘監視が必要である。

#### ⑮日留賀岳の自然植生

比津羅山と日留賀岳の鞍部付近はカラマツの植林地であるが、それ以外は自然林が保たれている。ブナやミズナラの大木も多く、1,500m付近はアスナロの群落があり、山頂付近はハイマツ、コメツガに囲まれている。

林床にキヨスミウツボ、アケボノシュスラン、シャクジョウソウ、テングノコヅチ、イチヨウラン、アリドオシラン、カモメラン、コイチヨウランなどが生育している。鳥居を過ぎてからの西側斜面にはギョウジャニンニクの大群生地がある。山頂近くにはハイマツが生育し、イワカガミ、ハクサンチドリ、ゴゼンタチバナ、イワナシ、クルマユリがある。

##### 【保全への提言】

日留賀岳は、塩原白戸集落の登山口から山頂までの距離が長く急坂も続くのであまり登山する人がいない。しかも登山口の小山家は代々山頂の神社の守り役をしており、登山道の整備や自然保護に力を入れているので山がよく守られている。

山菜採りの人たちにはギョウジャニンニクの群生がよく知られているが、根まで採らないので現在も消滅していない。現状のまま問題ないと思われる。

##### 【全体としての保全への提言】

- 1 私有地の場合は、所有者に生育している植物の貴重性を認めてもらい、保全・保護に協力してもらう。
- 2 私有地が開発される場合、行政への連絡・許可・認可があるだろうから、行政間の横の連絡を取り、希少植物の保護対策をとる。
- 3 移植や保全、監視など民間ボランティアの協力がとれるようにする。
- 4 里山保全のため、相続の発生時に手放すことのないように、市で里山保全条例等を作り、固定資産税の減免措置がとれるようにする。
- 5 市の予算で貴重な里山を購入して次世代の宝とする。
- 6 市民のボランティア活動を推進し、自然保護活動を継続して行う。

(文責：中川 幸夫、三森 房義)

**【目録】**

※目・科の分類・配列に関しては、シダ植物及び裸子植物は J. Reveal (1999)に、被子植物は、H. Melchior and E. Werdermann (eds.), " A. Engler's Syllabus der Pflanzenfamilien. 2Bd., 12 Aufl." (1964) Verlag Gebruder Borntraeger, Berlin に準じた。

※種の配列に関しては、学名のアルファベット順とした。

※和名に関しては、朝日新聞社編 週刊朝日百科「植物の世界」創刊号別冊付録、「植物用語集+植物分類表」(1994)の「植物分類表」(清水建美監修) p. 4-6 に準じた。

※学名に関しては、米倉浩司・梶田忠 (2003)「BG Plants 和名-学名インデックス」(YList), [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_main.html](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html) に準じた。

**【表Ⅱ-目録 植物目別・科別種数一覧】**

総植物数：66 目 164 科 1,612 種類 (種数・亜種数・変種数・雑種数の累計)					
(1) シダ植物：13 目 21 科 133 種類					
目・科名	種数	目・科名	種数	目・科名	種数
①ヒカゲノカズラ目		⑦コケシノブ目		⑫チャセンシダ目	
・ヒカゲノカズラ科	5	・コケシノブ科	4	・チャセンシダ科	5
②イワヒバ目		⑧ウラジロ目		・イワデンダ科 (メシダ科)	30
・イワヒバ科	2	・ウラジロ科	1	・ヒメシダ科	12
③ミズニラ目		⑨キジノオシダ目		・シシガシラ科	2
・ミズニラ科	1	・キジノオシダ科	1	・オシダ科	34
④トクサ目		⑩フサシダ目		・シノブ科	1
・トクサ科	4	・フサシダ科	1	⑬ウラボシ目	
⑤ハナヤスリ目		⑪ミズワラビ目		・ウラボシ科	7
・ハナヤスリ科	8	・ホウライシダ科	5	・ヒメウラボシ科	1
⑥ゼンマイ目		・イノモトソウ科	2		
・ゼンマイ科	3	・コバノイシカグマ科	4		
(2) 種子植物 (裸子植物門)：5 目 5 科 20 種類					
目・科名	種数	目・科名	種数	目・科名	種数
①イチョウ目		③イヌガヤ目		⑤イチイ目	
・イチョウ科	1	・イヌガヤ科	1	・イチイ科	1
②マツ目		④ヒノキ目			
・マツ科	11	・ヒノキ科	6		
(3) 種子植物 (被子植物門・双子葉植物綱・古生花被植物亜綱)：27 目 81 科 674 種類					
目・科名	種数	目・科名	種数	目・科名	種数
①クルミ目		⑤ビャクダン目		・ナデシコ科	27
・クルミ科	2	・ビャクダン科	2	・アカザ科	8
②ヤナギ目		・ヤドリギ科	2	・ヒユ科	5
・ヤナギ科	12	⑥ツチトリモチ目		⑨モクレン目	
③ブナ目		・ツチトリモチ科	1	・モクレン科	5
・カバノキ科	27	⑦タデ目		・マツブサ科	2
・ブナ科	12	・タデ科	34	・シキミ科	1
④イラクサ目		⑧アカザ目		・クスノキ科	6
・ニレ科	6	・ヤマゴボウ科	2	・ヤマグルマ科	1
・クワ科	5	・ザクロソウ科	2	・フサザクラ科	1
・イラクサ科	17	・スベリヒユ科	2	・カツラ科	1

目・科名	種数	目・科名	種数	目・科名	種数
⑩キンポウゲ目		・トベラ科	1	⑳クロウメモドキ目	
・キンポウゲ科	40	・バラ科	55	・クロウメモドキ科	6
・メギ科	7	・マメ科	47	・ブドウ科	7
・アケビ科	3	⑰フウロソウ目		㉑アオイ目	
・ツツラフジ科	2	・カタバミ科	8	・シナノキ科	3
・スイレン科	2	・フウロソウ科	5	・アオイ科	4
⑪コショウ目		・アマ科	1	㉒ジンチョウゲ目	
・ドクダミ科	1	・トウダイグサ科	11	・ジンチョウゲ科	3
・センリョウ科	2	・ユズリハ科	1	・グミ科	3
⑫ウマノスズクサ目		⑱ミカン目		・イイギリ科	1
・ウマノスズクサ科	3	・ミカン科	8	㉓スミレ目	
⑬オトギリソウ目		・ニガキ科	2	・スミレ科	34
・ボタン科	1	・センダン科	1	・キブシ科	1
・マタタビ科	3	・ヒメハギ科	1	・シュウカイドウ科	1
・ツバキ科	5	⑲ムクロジ目		㉔ウリ目	
・オトギリソウ科	8	・ドクウツギ科	1	・ウリ科	5
⑭サラセニア目		・ウルシ科	3	㉕フトモモ目	
・モウセンゴケ科	1	・カエデ科	26	・ミソハギ科	4
⑮ケシ目		・トキノキ科	2	・アカバナ科	13
・ケシ科	10	・アワブキ科	2	・アリノトウグサ科	1
・アブラナ科	21	・ツリフネソウ科	2	㉖セリ目	
⑯バラ目		⑳ニシキギ目		・ウリノキ科	1
・マンサク科	2	・モチノキ科	9	・ミズキ科	6
・ベンケイソウ科	7	・ニシキギ科	16	・ウコギ科	12
・ユキノシタ科	35	・ミツバウツギ科	2	・セリ科	29

(4) 種子植物 (被子植物門・双子葉植物綱・合弁花植物亜綱) : 10 目 37 科 390 種類

目・科名	種数	目・科名	種数	目・科名	種数
①イワウメ目		・ミツガシワ科	2	・ハエドクソウ科	2
・イワウメ科	4	・キョウチクトウ科	1	⑧オオバコ目	
②ツツジ目		・ガガイモ科	8	・オオバコ科	3
・リョウブ科	1	・アカネ科	16	⑨マツムシソウ目	
・イチヤクソウ科	8	⑦シソ目		・スイカズラ科	20
・ツツジ科	25	・ヒルガオ科	9	・レンブクソウ科	1
③サクラソウ目		・ムラサキ科	6	・オミナエシ科	3
・ヤブコウジ科	3	・クマツツラ科	3	・マツムシソウ科	2
・サクラソウ科	5	・アワゴケ科	2	⑩キキョウ目	
④カキノキ目		・シソ科	42	・キキョウ科	10
・カキノキ科	2	・ナス科	12	・キク科	134
・エゴノキ科	2	・フジウツギ科	1		
・ハイノキ科	1	・ゴマノハグサ科	31		
⑤モクセイ目		・ノウゼンカズラ科	2		
・モクセイ科	10	・キツネノマゴ科	1		
⑥リンドウ目		・イワタバコ科	2		
・マチン科	1	・ハマウツボ科	3		
・リンドウ科	10	・タヌキモ科	2		

(5) 種子植物 (被子植物門・単子葉植物綱) 11 目 20 科 395 種類					
目・科名	種数	目・科名	種数	目・科名	種数
①イバラモ目		・イグサ科	10	⑧タコノキ目	
・オモダカ科	2	④ツユクサ目		・ミクリ科	1
・トチカガミ科	1	・ツユクサ科	4	・ガマ科	2
・ヒルムシロ科	6	・ホシクサ科	2	⑨カヤツリグサ目	
②ユリ目		⑤イネ目		・カヤツリグサ科	88
・ユリ科	60	・イネ科	131	⑩ショウガ目	
・ヒガンバナ科	3	⑥ヤシ目		・ショウガ科	1
・ヤマノイモ科	6	・ヤシ科	2	⑪ラン目	
・ミズアオイ科	1	⑦サトイモ目		・ラン科	57
・アヤメ科	8	・サトイモ科	8		
③イグサ目		・ウキクサ科	2		

(1) シダ植物

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
ヒカゲノカズラ目						
ヒカゲノカズラ科	スギラン	<i>Huperzia cryptomerina</i> (Maxim.) Dixit				○
	ヒロハノトウゲシバ	<i>Huperzia serrata</i> (Thunb.) Trevis. f. <i>intermedia</i> (Nakai) Ching		○	○	
	ホソバトウゲシバ	<i>Huperzia serrata</i> (Thunb.) Trevis. var. <i>serrata</i>		○	○	○
	ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> L.		○		○
	マンネンスギ	<i>Lycopodium dendroideum</i> Michx.				○
イワヒバ目						
イワヒバ科	クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i> Spring	○	○	○	
	イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i> (P. Beauv.) Spring			○	○
ミズニラ目						
ミズニラ科	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i> A. Braun				○
トクサ目						
トクサ科	スギナ (ミモチスギナ)	<i>Equisetum arvense</i> L.	○	○	○	○
	トクサ	<i>Equisetum hyemale</i> L.			○	
	イヌスギナ	<i>Equisetum palustre</i> L.		○		
	イヌドクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i> Desf.		○		
ハナヤスリ目						
ハナヤスリ科	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i> (Prantl) Underw.	○		○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ハナヤスリ科)	アカハナワラビ	<i>Botrychium nipponicum</i> Makino			○	
	ナガホノナツノハナワ ラビ	<i>Botrychium strictum</i> Underw.			○	
	フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.	○	○	○	○
	ナツノハナワラビ	<i>Botrychium virginianum</i> (L.) Sw.			○	
	コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i> Hook.				○
	ハマハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> Kom. var. <i>thermale</i>				○
	ヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum vulgatum</i> L.	○	○	○	○
ゼンマイ目						
ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmunda cinnamomea</i> L. var. <i>fokiensis</i> Copel.		○		○
	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.	○	○	○	○
	ヤシャゼンマイ	<i>Osmunda lancea</i> Thunb.				○
コケシノブ目						
コケシノブ科	ヒメハイホラゴケ (ヒ メホラゴケ)	<i>Crepidomanes amabile</i> (Nakai) K. Iwats.				○
	ウチワゴケ	<i>Crepidomanes minutum</i> (Blume) K. Iwats.				○
	コウヤコケシノブ	<i>Hymenophyllum barbatum</i> (Bosch) Baker				○
	コケシノブ	<i>Hymenophyllum wrightii</i> Bosch				○
ウラジロ目						
ウラジロ科	コシダ	<i>Dicranopteris linearis</i> (Burm. f.) Underw.		○		
キジノオシダ目						
キジノオシダ科	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i> Makino				○
フサシダ目						
フサシダ科	カニクサ	<i>Lygodium japonicum</i> (Thunb.) Sw.		○		
ミズワラビ目						
ホウライシダ科	ハコネシダ	<i>Adiantum monochlamys</i> D. C. Eaton			○	○
	イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i> Hieron.				○
	イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels	○			

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ホウライシダ科)	イヌイワガネソウ	<i>Coniogramme</i> × <i>fauriei</i> Hieron.			○	
	カラクサシダ	<i>Pleurosoriopsis makinoi</i> (Maxim.) Fomin				○
イノモトソウ科	オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i> L.	○			
	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i> Poir.		○	○	○
コバノイシカグマ科	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (Sw.) Mett.				○
	オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i> (T. Moore) H. Christ		○		○
	フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i> (Panzer) C. Chr.			○	
	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn var. <i>latiusculum</i> (Desv.) Underw.	○	○	○	○
チャセンシダ目						
チャセンシダ科	ヒメイワトラノオ	<i>Asplenium capillipes</i> Makino			○	○
	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.			○	
	クモノスシダ	<i>Asplenium ruprechtii</i> Sa. Kurata			○	○
	イワトラノオ	<i>Asplenium tenuicaule</i> Hayata				○
	コタニワタリ	<i>Asplenium scolopendrium</i> L.				○
イワデンダ科 (メシダ科)	カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i> Tagawa			○	○
	サトメシダ	<i>Athyrium deltoidofrons</i> Makino				○
	ホソバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i> Rosenst.				○
	ミヤマメシダ	<i>Athyrium melanolepis</i> (Franch. et Sav.) H. Christ				○
	イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance	○		○	
	タカネサトメシダ	<i>Athyrium pinetorum</i> Tagawa				○
	ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i> (Franch. et Sav.) Nakai		○	○	○
	ヒロハイヌワラビ	<i>Athyrium wardii</i> (Hook.) Makino			○	
	へビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i> (Franch. et Sav.) H. Christ	○	○	○	○
	オオサトメシダ	<i>Athyrium</i> × <i>multifidum</i> Rosenst.			○	○
	ヤマヒロハイヌワラビ	<i>Athyrium</i> × <i>pseudowardii</i> Seriz.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イワデンド科 (メシダ科))	ハコネシケチシダ	<i>Cornopteris christenseniana</i> (Koidz.) Tagawa				○
	シケチシダ	<i>Cornopteris decurrenti-alata</i> (Hook.) Nakai.				○
	ホソバシケシダ	<i>Deparia conilii</i> (Franch. et Sav.) M. Kato	○	○	○	○
	コウライイヌワラビ	<i>Deparia coreana</i> (H. Christ) M. Kato				○
	セイタカシケシダ	<i>Deparia dimorphophylla</i> (Koidz.) M. Kato			○	
	シケシダ	<i>Deparia japonica</i> (Thunb.) M. Kato		○	○	
	ハクモウイノデ	<i>Deparia orientalis</i> (Z. R. Wang et J. J. Chien) Nakaike				○
	ナチシケシダ	<i>Deparia petersenii</i> (Kunze) M. Kato			○	
	フモトシケシダ	<i>Deparia pseudoconilii</i> (Seriz.) Seriz.		○		○
	ミヤマシケシダ	<i>Deparia pycnosora</i> (H. Christ) M. Kato var. <i>pycnosor</i>			○	
	オニヒカゲワラビ	<i>Diplazium nipponicum</i> Tagawa				○
	ミヤマシダ	<i>Diplazium sibiricum</i> (Turcz.) Sa. Kurata var. <i>glabrum</i> (Tagawa) Sa. Kurata			○	
	キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i> (Mett.) Matsum.			○	
	ウサギシダ	<i>Gymnocarpium dryopteris</i> (L.) Newman				○
	クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Tod.		○	○	○
	イヌガンソク	<i>Onoclea orientalis</i> (Hook.) Hook.			○	○
	コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> L. var. <i>interrupta</i> Maxim.	○	○	○	○
	フクロシダ	<i>Protowoodsia manchuriensis</i> (Hook.) Ching				○
	イワデンド	<i>Woodsia polystichoides</i> D. C. Eaton				○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
ヒメシダ科	ミゾシダ	<i>Stegnogramma pozoi</i> (Lag.) K. Iwats. subsp. <i>mollissima</i> (Fisch.) K. Iwats.			○	○
	ホシダ	<i>Thelypteris acuminata</i> (Houtt.) C. V. Morton				○
	ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i> (Salisb.) Schott	○	○	○	○
	コハシゴシダ	<i>Thelypteris angustifrons</i> (Miq.) Ching		○	○	
	ゲジゲジシダ	<i>Thelypteris decursivepinnata</i> (H. C. Hall) Ching		○		
	ハシゴシダ	<i>Thelypteris glanduligera</i> (Kunze) Ching		○	○	○
	ハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching	○	○	○	
	コウライヤワラシダ (イワハリガネワラビ)	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching var. <i>formosa</i> (C. Chr.) Nakaike				○
	アオハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching var. <i>musashiensis</i> Hiyama		○	○	
	ヤワラシダ	<i>Thelypteris laxa</i> (Franch. et Sav.) Ching	○		○	
	ミヤマワラビ	<i>Thelypteris phegopteris</i> (L.) Sloss.			○	○
	ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa			○	
	シシガシラ科	オサシダ	<i>Blechnum amabile</i> Makino			
シシガシラ		<i>Blechnum niponicum</i> (Kunze) Makino	○	○	○	○
オシダ科	シノブカグマ	<i>Arachniodes mutica</i> (Franch. et Sav.) Ohwi				○
	ホソバカナワラビ	<i>Arachniodes aristata</i> (G. Forst.) Tindale				○
	リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i> (T. Moore) Ohwi	○	○	○	○
	ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J. Sm. var. <i>fortunei</i>	○			
	ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J. Sm. var. <i>clivicola</i> (Makino) Tagawa		○		○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(オシダ科)	テリハヤブソテツ	<i>Cyrtomium laetevirens</i> (Hiyama) Nakaike		○		○
	ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i> (Baker) C. Chr.			○	○
	ミサキカグマ	<i>Dryopteris chinensis</i> (Baker) Koidz.			○	○
	オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i> Nakai		○	○	○
	イワヘゴ	<i>Dryopteris cycadina</i> (Franch. et Sav.) C. Chr.			○	
	オオクジャクシダ	<i>Dryopteris dickinsii</i> (Franch. et Sav.) C. Chr.			○	○
	ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D. C. Eaton) Kuntze	○	○	○	
	シラネワラビ	<i>Dryopteris expansa</i> (C. Presl) Fraser-Jenk. et Jermy			○	○
	オオベニシダ	<i>Dryopteris hondoensis</i> Koidz		○		○
	ミヤマベニシダ	<i>Dryopteris goldiana</i> (Hook.) A. Grayu subsp. <i>monticola</i> (Makino) Fraser-Jenk.	○		○	○
	ヌカイタチシダモドキ	<i>Dryopteris labordei</i> (H. Christ) C. Chr. var. <i>indusiata</i> (Makino) Seriz.				○
	クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i> (Thunb.) Kuntze			○	○
	トウゴクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i> Koidz.		○	○	
	ミヤマクマワラビ	<i>Dryopteris polylepis</i> (Franch. et Sav.) C. Chr.			○	○
	ミヤマイタチシダ	<i>Dryopteris sabae</i> (Franch. et Sav.) C. Chr.			○	
	イワイタチシダ	<i>Dryopteris saxifrage</i> H. Itô		○		○
	オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	○		○	○
	アイノコクマワラビ	<i>Dryopteris</i> × <i>mituui</i> Seriz.				○
	フジオシダ	<i>Dryopteris</i> × <i>watanabei</i> Sa. Kurata			○	
	ナンゴクナライシダ	<i>Leptorumohra fargesii</i> (H. Christ) Nakaike et A. Yamam.			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(オシダ科)	ホソバナライシダ	<i>Leptorumohra miqueliana</i> (Maxim.) H. Itô	○	○	○	○
	ケヒメシダ (メニッコ ウシダ)	<i>Thelypteris nipponica</i> (Franch. et Sav.) Ching var. <i>borealis</i> (H. Hara) H. Hara				○
	ツルデンダ	<i>Polystichum craspedosorum</i> (Maxim.) Diels		○	○	○
	アイアスカイノデ	<i>Polystichum longifrons</i> Sa. Kurata			○	○
	ツヤナシイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> (Kodama) Sa. Kurata		○	○	
	イワシロイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> (Kodama) Sa. Kurata var. <i>coraiense</i> (H. Christ) Sa. Kurata			○	
	サカゲイノデ	<i>Polystichum</i> <i>retrosopaleaceum</i> (Kodama) Tagawa	○	○	○	○
	ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i> (Kunze) C. Presl	○	○	○	○
	ドウリョウイノデ	<i>Polystichum</i> × <i>anceps</i> Sa. Kurata	○			
シノブ科	シノブ	<i>Davallia mariesii</i> T. Moore				○
ウラボシ目						
ウラボシ科	ミツデウラボシ	<i>Crypsinus hastatus</i> (Thunb.) Copel.	○		○	○
	ホテイシダ	<i>Lepisorus annuifrons</i> (Makino) Ching				○
	ヒメノキシノブ	<i>Lepisorus onoei</i> (Franch. et Sav.) Ching	○	○	○	○
	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching	○	○	○	
	ミヤマノキシノブ	<i>Lepisorus ussuriensis</i> (Regel et Maack) Ching var. <i>distans</i> (Makino) Tagawa		○		○
	イワオモダカ	<i>Pyrrosia hastate</i> (Houtt.) Chin				○
	ビロードシダ	<i>Pyrrosia linearifolia</i> (Hook.) Ching		○	○	○
ヒメウラボシ科	オオクボシダ	<i>Micropolypodium okuboi</i> (Yatabe) Hayata				○

(2) 種子植物 (裸子植物門)

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
イチョウ目						
イチョウ科	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i> L.	○	○	○	○
マツ目						
マツ科	モミ	<i>Abies firma</i> Siebold et Zucc.		○	○	○
	ウラジロモミ (ダケモミ)	<i>Abies homolepis</i> Siebold et Zucc.				○
	カラマツ (ラクヨウシヨウ)	<i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carr.			○	○
	イラモミ	<i>Picea alcoquiana</i> (Veitch) Carr.				○
	トウヒ	<i>Picea jezoensis</i> (Siebold et Zucc.) Carr. subsp. <i>hondoensis</i> (Mayr) Rehder				○
	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc. f. <i>subtrifoliata</i> Hurus.	○	○	○	○
	チョウセンゴヨウ	<i>Pinus koraiensis</i> Siebold et Zucc.			○	○
	ヒメコマツ	<i>Pinus parviflora</i> Siebold et Zucc. var. <i>parviflora</i>				○
	ハイマツ	<i>Pinus pumila</i> (Pall.) Regel				○
	クロマツ (オマツ)	<i>Pinus thunbergii</i> Parl.			○	
	コメツガ	<i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast.				○
イヌガヤ目						
イヌガヤ科	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight) K. Koch		○		
ヒノキ目						
ヒノキ科	サワラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl	○	○	○	○
	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl	○	○	○	○
	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L. f.) D. Don	○	○	○	○
	ニオイヒバ	<i>Thuja occidentalis</i> L.	○			
	ネズコ (クロベ)	<i>Thuja standishii</i> (Gordon) Carr.				○
	アスナロ (アスヒ)	<i>Thujopsis dolabrata</i> (L. f.) Siebold et Zucc.			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
イチイ目						
イチイ科	カヤ	<i>Torreya nucifera</i> Siebold et Zucc.	○		○	○

(3) 種子植物 (被子植物門・双子葉植物綱・古生花被植物亜綱)

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
クルミ目						
クルミ科	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) Makino	○	○	○	○
	サワグルミ	<i>Pterocarya rhoifolia</i> Siebold et Zucc.			○	○
ヤナギ目						
ヤナギ科	ドロノキ (ドロヤナギ)	<i>Populus suaveolens</i> Fisch.			○	
	ヤマナラシ	<i>Populus tremula</i> L. var. <i>sieboldii</i> (Miq.) H. Ohashi	○	○	○	○
	シダレヤナギ	<i>Salix babylonica</i> L.	○	○	○	
	バッコヤナギ (ヤマネ コヤナギ)	<i>Salix caprea</i> L.		○	○	○
	オオバヤナギ	<i>Salix cardiophylla</i> Trautv. et C. A. Mey. var. <i>urbaniana</i> (Seemen) Kudô	○	○	○	○
	オオキツネヤナギ	<i>Salix futura</i> Seemen				○
	ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i> Miq.			○	○
	イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i> Thunb.	○	○	○	○
	コゴメヤナギ	<i>Salix jessoensis</i> Seemen subsp. <i>serissifolia</i> (Kimura) H. Ohashi	○	○	○	○
	カワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> Seemen subsp. <i>gilgiana</i> (Seemen) H. Ohashi	○			
	タチヤナギ	<i>Salix triandra</i> L. subsp. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) A. K. Skvortsov			○	
	オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i> Trautv. et C. A. Mey.			○	○
ブナ目						
カバノキ科	ヤシヤブシ	<i>Alnus firma</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カバノキ科)	ミヤマヤシャブシ	<i>Alnus firma</i> Siebold et Zucc. var. <i>hirtella</i> Franch. et Sav.	○		○	
	ケヤマハンノキ	<i>Alnus hirsute</i> (Spach) Turcz. var. <i>hirsuta</i>		○		○
	ヤマハンノキ	<i>Alnus hirsute</i> (Spach) Turcz. var. <i>sibirica</i> (Spach) C. K. Schneid.		○	○	○
	タニガワハンノキ (コ バノヤマハンノキ)	<i>Alnus inokumae</i> Murai et Kusaka				○
	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.			○	○
	ケハンノキ	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. var. <i>koreana</i> Callier		○		
	カワラハンノキ	<i>Alnus serrulatoidea</i> Callier			○	
	ヤハズハンノキ	<i>Alnus matsumurae</i> Callier				○
	ヒメヤシャブシ	<i>Alnus pendula</i> Matsum.				○
	オオバヤシャブシ	<i>Alnus sieboldiana</i> Matsum.			○	○
	ネコシデ (ウラジロカ ンバ)	<i>Betula corylifolia</i> Regel et Maxim.				○
	ヤエガワカンバ	<i>Betula davurica</i> Pall.				○
	ダケカンバ	<i>Betula ermanii</i> Cham.				○
	ジゾウカンバ	<i>Betula globispica</i> Shirai				○
	ミズメ (アズサ、ヨグ ソミネバリ)	<i>Betula grossa</i> Siebold et Zucc.			○	○
	ウダイカンバ	<i>Betula maximowicziana</i> Regel			○	○
	シラカンバ (シラカバ)	<i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) H. Hara				○
	オノオレカンバ (オノ オレ、アズサミネバリ)	<i>Betula schmidtii</i> Regel			○	○
	サワシバ	<i>Carpinus cordata</i> Blume			○	○
	クマシデ	<i>Carpinus japonica</i> Blume	○	○	○	○
	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume	○	○	○	○
	イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	○	○	○	○
	ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> Fisch. var. <i>thunbergii</i> Blume	○	○	○	○
	ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> Blume	○	○	○	○
	アサダ	<i>Ostrya japonica</i> Sarg.	○	○	○	○
	コアサダ	<i>Ostrya japonica</i> Sarg. f. <i>homochaeta</i> (Honda) Koji Ito				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
ブナ科	クリ	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ブナ (シロブナ、ソバ グリ、オオバブナ)	<i>Fagus crenata</i> Blume	○	○		○
	イヌブナ (クロブナ)	<i>Fagus japonica</i> Maxim.				○
	クヌギ	<i>Quercus acutissima</i> Carruth.	○	○	○	○
	ミズナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume			○	○
	ミヤマナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>horikawae</i> H. Ohba				○
	カシワ	<i>Quercus dentata</i> Thunb.	○	○	○	○
	アラカシ	<i>Quercus glauca</i> Thunb.		○		
	シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume	○	○	○	
	コナラ	<i>Quercus serrata</i> Murray	○	○	○	○
	テリハコナラ	<i>Quercus serrata</i> Murray f. <i>donarium</i> (Nakai) Kitam.				○
	ナラカシワ (カシワ× ミズナラ)	<i>Quercus aliena</i> Blume			○	
イラクサ目						
ニレ科	エゾエノキ	<i>Celtis jessoensis</i> Koidz.		○	○	○
	エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai	○	○		
	ハルニレ (ニレ)	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai	○			○
	コブニレ	<i>Ulmus davidiana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehder) Nakai f. <i>suberosa</i> Nakai	○			○
	オヒョウ	<i>Ulmus laciniata</i> (Trautv.) Mayr			○	○
	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○
クワ科	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold	○	○	○	○
	クワクサ	<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai	○	○	○	
	カラハナソウ	<i>Humulus lupulus</i> L. var. <i>cordifolius</i> (Miq.) Maxim.			○	○
	カナムグラ	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.	○	○	○	○
	ヤマグワ	<i>Morus australis</i> Poir.	○	○	○	○
イラクサ科	クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i> C. H. Wright	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イラクサ科)	アオカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>concolor</i> Makino			○	
	カラムシ (クサマオ)	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich. var. <i>nippononivea</i> (Koidz.) W. T. Wang	○	○	○	
	メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i> (Maxim.) Franch. et Sav.	○		○	○
	ナガバヤブマオ	<i>Boehmeria sieboldiana</i> Blume			○	
	アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i> (Pamp.) W. T. Wang	○	○	○	○
	コアカソ (キアカソ)	<i>Boehmeria spicata</i> (Thunb.) Thunb.	○	○	○	○
	トキホコリ	<i>Elatostema densiflorum</i> Franch. et Sav.	○	○		
	ウワバミソウ	<i>Elatostema japonicum</i> Wedd. var. <i>majus</i> (Maxim.) H. Nakai et H. Ohashi		○	○	○
	ムカゴイラクサ	<i>Laportea bulbifera</i> (Siebold et Zucc.) Wedd.	○	○	○	○
	ミヤマイラクサ	<i>Laportea cuspidata</i> (Wedd.) Friis		○		○
	カテンソウ	<i>Nanocnide japonica</i> Blume			○	○
	ヤマミズ	<i>Pilea japonica</i> (Maxim.) Hand.-Mazz.			○	○
	コケミズ	<i>Pilea peploides</i> (Gaudich.) Hook. et Arn. var. <i>peploides</i>				○
	アオミズ	<i>Pilea pumila</i> (L.) A. Gray	○	○	○	
	ミズ	<i>Pilea pumila</i> (L.) A. Gray var. <i>hamaoi</i> (Makino) C. J. Chen	○	○	○	○
		コバノイラクサ	<i>Urtica laetevirens</i> Maxim.			
ビャクダン目						
ビャクダン科	ツクバネ	<i>Buckleya lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	○	○	○	○
	カナビキソウ	<i>Thesium chinense</i> Turcz.	○	○	○	
ヤドリギ科	ヤドリギ	<i>Viscum album</i> L. subsp. <i>coloratum</i> Kom.			○	○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヤドリギ科)	アカミヤドリギ	<i>Viscum album</i> L. subsp. <i>coloratum</i> Kom. f. <i>rubroaurantiacum</i> (Makino) Ohwi				○
ツチトリモチ目						
ツチトリモチ科	ミヤマツチトリモチ	<i>Balanophora nipponica</i> Makino				○
タデ目						
タデ科	イブキトラノオ	<i>Bistorta major</i> Gray var. <i>japonica</i> H. Hara		○		○
	ハルトラノオ	<i>Bistorta tenuicaulis</i> (Bisset et S. Moore) Nakai var. <i>tenuicaulis</i>			○	○
	ソバ	<i>Fagopyrum esculentum</i> Moench	○	○		
	ソバカズラ	<i>Fallopia convolvulus</i> (L.) A. Löve		○		
	ツルタデ	<i>Fallopia dumetorum</i> (L.) Holub				○
	イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr.	○	○	○	○
	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>uzenensis</i> (Honda) Yonek. et H. Ohashi			○	○
	オオイタドリ	<i>Fallopia sachalinensis</i> (F. Schmidt) Ronse Decr.			○	○
	ミヤマタニソバ	<i>Persicaria debilis</i> (Meisn.) H. Gross				○
	ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai	○	○	○	○
	ヤナギタデ (ホンタデ)	<i>Persicaria hydropiper</i> (L.) Spach	○	○	○	○
	オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Gray	○	○	○	○
	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i> (Bruijn) Kitag.	○	○	○	○
	ハルタデ (オオハルタ デ)	<i>Persicaria maculosa</i> Gray subsp. <i>hirticaulis</i> (Danser) S. Ekman et Knutsson				○
	ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i> (Meisn.) Nemoto				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(タデ科)	タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i> (Meisn.) H. Gross	○	○	○	○
	オオケタデ (オオベニ タデ)	<i>Persicaria orientalis</i> (L.) Spach	○	○	○	○
	イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H. Gross	○	○	○	○
	ハナタデ (ヤブタデ、 ナガボハナタデ)	<i>Persicaria posumbu</i> (Buch.-Ham.) H. Gross	○	○	○	○
	ボントクタデ	<i>Persicaria pubescens</i> (Blume) H. Hara	○	○	○	
	アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> (L.) H. Gross var. <i>sibirica</i> (Meisn.) Miyabe	○	○	○	○
	ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i> (Meisn.) H. Gross	○	○	○	○
	ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H. Gross	○	○	○	○
	オオミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H. Gross var. <i>stolonifera</i> (F. Schmidt) Nakai	○	○	○	○
	ネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> (Makino) H. Gross	○		○	○
	オオネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> (Makino) H. Gross var. <i>robusta</i> (Makino) Hiyama				○
	ハイミチヤナギ	<i>Polygonum arenastrum</i> Boreau		○		○
	ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> L.	○	○	○	
	スイバ (スカンボ)	<i>Rumex acetosa</i> L.	○	○		○
	ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> L. subsp. <i>pyrenaicus</i> (Pourret et Lapeyr.) Akeroyd	○	○	○	
	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i> L.	○	○	○	
	コギシギシ	<i>Rumex dentatus</i> L. subsp. <i>nipponicus</i> (Franch. et Sav.) Rech. f.				○
	ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	○	○	○	○
	エゾノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i> L.	○	○	○	○
	アカザ目					
ヤマゴボウ科	ヤマゴボウ	<i>Phytolacca acinosa</i> Roxb.		○		

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヤマゴボウ科)	ヨウシュヤマゴボウ (アメリカヤマゴボウ)	<i>Phytolacca americana</i> L.	○	○	○	○
ザクロソウ科	ザクロソウ	<i>Mollugo stricta</i> L.	○	○	○	○
	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i> L.		○		
スベリヒユ科	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i> L.	○	○	○	○
	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i> L.		○		
ナデシコ科	ノミノツヅリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i> L.	○	○	○	
	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	○	○	○	
	ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burd var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H. Hara	○	○	○	○
	カワラナデシコ (ナデシコ)	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F. N. Williams			○	○
	エゾカワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>superbus</i>			○	
	ノハラナデシコ	<i>Dianthus armeria</i> L.	○			
	オオヤマフスマ	<i>Moehringia lateriflora</i> (L.) Fenzl	○	○		○
	イヌコモチナデシコ	<i>Petrorhagia nanteulii</i> (Burnat) P. W. Ball et Heywood		○		
	ヒゲネワチガイソウ (ヒゲネワチガイ)	<i>Pseudostellaria palibiniana</i> (Takeda) Ohwi		○	○	○
	ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	○	○	○	○
	ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i> L.	○	○	○	○
	ナンバンハコベ (ツルセンノウ)	<i>Silene baccifera</i> (L.) Roth var. <i>japonica</i> (Miq.) H. Ohashi et H. Nakai		○		
	フシグロ	<i>Silene firma</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ケフシグロ	<i>Silene firma</i> Siebold et Zucc. f. <i>pubescens</i> (Makino) M. Mizush.	○			○
	センジュガンピ	<i>Silene gracillima</i> Rohrb.				○
	マツヨイセンノウ	<i>Silene latifolia</i> Poir. subsp. <i>alba</i> (Mill.) Greuter et Burdet				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ナデシコ科)	フシグロセンノウ	<i>Silene miqueliana</i> (Rohrb.) H. Ohashi et H. Nakai	○		○	○
	ノハラツメクサ	<i>Spergula arvensis</i> L. var. <i>arvensis</i>		○		
	オオツメクサ	<i>Spergula arvensis</i> L. var. <i>sativa</i> (Boenn.) Mert. et W. D. J. Koch	○	○	○	
	ウシオハナツメクサ	<i>Spergularia bocconii</i> (Scheele) Foucaud			○	
	ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray var. <i>undulate</i> (Thunb.) Fenzl	○	○	○	
	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	○	○	○	
	カラフトホソバハコベ	<i>Stellaria graminea</i> L.			○	
	コハコベ (ハコベ)	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	○	○	○	○
	オオヤマハコベ	<i>Stellaria monosperma</i> Buch.-Ham. var. <i>japonica</i> Maxim.	○	○	○	○
	ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i> Weihe	○	○	○	○
	ミヤマハコベ	<i>Stellaria sessiliflora</i> Y. Yabe			○	○
	アカザ科	マルバアカザ (キバナ アカザ)	<i>Chenopodium acuminatum</i> Willd.	○		
カワラアカザ		<i>Chenopodium acuminatum</i> Willd. var. <i>vachelii</i> (Hook. et Arn.) Moq.	○	○	○	
シロザ		<i>Chenopodium album</i> L.	○	○	○	○
アカザ		<i>Chenopodium album</i> L. var. <i>centrorubrum</i> Makino	○	○	○	
アリタソウ (ケアリタ ソウ)		<i>Chenopodium ambrosioides</i> L.		○	○	
アメリカアリタソウ		<i>Chenopodium ambrosioides</i> L. var. <i>anthelminticum</i> (Crantz) A. Gray	○	○	○	
コアカザ		<i>Chenopodium ficifolium</i> Sm.	○	○	○	○
ホウキギ (ホウキグサ、 トシブリ)		<i>Kochia scoparia</i> (L.) Schrad.		○		
ヒユ科	ヒナタイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>fauriei</i> (H. Lév. et Vaniot)	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ヒユ科)	イノコズチ (ヒカゲイ ノコズチ)	<i>Achyranthes bidentata</i> Blume var. <i>japonica</i> Miq	○	○	○	○
	イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i> L.	○	○	○	
	ホソアオゲイトウ (ム ラサキアオゲイトウ)	<i>Amaranthus hybridus</i> L.	○	○	○	
	ホナガイヌビユ (アオ ビユ)	<i>Amaranthus viridis</i> L.	○	○		
モクレン目						
モクレン科	ユリノキ (ハンテンボ ク)	<i>Liriodendron tulipifera</i> L.			○	
	ホオノキ	<i>Magnolia hypoleuca</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	コブシ	<i>Magnolia kobus</i> DC.	○	○	○	○
	キタコブシ (エゾコブ シ)	<i>Magnolia kobus</i> DC. var. <i>borealis</i> Sarg.			○	
	タムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.				○
マツブサ科	サネカズラ (ビナンカ ズラ)	<i>Kadsura japonica</i> (L.) Dunal	○			
	マツブサ	<i>Schisandra repanda</i> (Siebold et Zucc.) Radlk.		○	○	○
シキミ科	シキミ	<i>Illicium anisatum</i> L.	○			
クスノキ科	ヤマコウバシ	<i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume	○	○	○	
	ダンコウバイ	<i>Lindera obtusiloba</i> Blume		○		○
	アブラチャン	<i>Lindera praecox</i> (Siebold et Zucc.) Blume	○		○	○
	クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb.	○	○	○	○
	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb. var. <i>membranacea</i> (Maxim.) Momiy.		○	○	○
	シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	○	○	○	
ヤマグルマ科	ヤマグルマ (トリモチ ノキ)	<i>Trochodendron aralioides</i> Siebold et Zucc.				○
フサザクラ科	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
カツラ科	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
キンポウゲ目						
キンポウゲ科	ヤマトリカブト	<i>Aconitum japonicum</i> Thunb. subsp. <i>japonicum</i>			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キンポウゲ科)	アズマレイジンソウ	<i>Aconitum pterocaule</i> Koidz.			○	○
	ルイヨウショウマ	<i>Actaea asiatica</i> H. Hara				○
	フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i> Franch.			○	
	ヒメイチゲ	<i>Anemone debilis</i> Fisch.				○
	ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i> F. Schmidt	○	○	○	○
	シュウメイギク (キブネギク)	<i>Anemone hupehensis</i> Lemoine var. <i>japonica</i> (Thunb.) Bowles et Stearn		○		
	イチリンソウ	<i>Anemone nikoensis</i> Maxim.	○			
	キクザキイチゲ (キクザキイチリンソウ)	<i>Anemone pseudoaltaica</i> H. Hara	○		○	○
	アズマイチゲ	<i>Anemone raddeana</i> Regel	○	○	○	
	レンゲショウマ	<i>Anemonopsis macrophylla</i> Siebold et Zucc.		○	○	○
	ヤマオダマキ	<i>Aquilegia buergeriana</i> Siebold et Zucc.				○
	オオヤマオダマキ	<i>Aquilegia buergeriana</i> Siebold et Zucc. var. <i>oxysepala</i> (Trautv. et C. A. Mey.) Kitam.				○
	エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> L. var. <i>enkoso</i> H. Hara	○			
	オオバショウマ	<i>Cimicifuga japonica</i> (Thunb.) Spreng.			○	○
	サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i> (DC.) Wormsk.			○	○
	ボタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> DC.	○	○	○	○
	コボタンヅル (メボタンヅル)	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>biternata</i> Makino	○	○	○	○
	ハンショウヅル	<i>Clematis japonica</i> Thunb.		○	○	○
	カザグルマ (シロバナカザグルマ)	<i>Clematis patens</i> C. Morren et Decne. f. <i>leucantha</i> Okuyama	○			
	クサボタン	<i>Clematis stans</i> Siebold et Zucc.			○	○
	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i> DC.			○	
トリガタハンショウヅル	<i>Clematis tosaensis</i> Makino				○	
コセリバオウレン	<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>japonica</i>			○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キンポウゲ科)	ウスギオウレン	<i>Coptis lutescens</i> Tamura				○
	バイカオウレン (ゴカ ヨウオウレン)	<i>Coptis quinquefolia</i> Miq.				○
	ミツバオウレン	<i>Coptis trifolia</i> (L.) Salisb.				○
	トウゴクサバノオ (オ オヤマシロカネソウ)	<i>Dichocarpum trachyspermum</i> (Maxim.) W. T. Wang et P. K. Hsiao				○
	ミヤマキンポウゲ	<i>Ranunculus acris</i> L. subsp. <i>nipponicus</i> (H. Hara) Hultén				○
	ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.		○	○	
	コキツネノボタン	<i>Ranunculus chinensis</i> Bunge				○
	ウマノアシガタ (キン ポウゲ)	<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.	○	○	○	○
	バイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> Nakai var. <i>submersus</i> H. Hara	○			○
	ハイキンポウゲ	<i>Ranunculus repens</i> L.	○			
	キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i> H. Lév. var. <i>glaber</i> (H. Boissieu) Tamura	○	○	○	
	オトコゼリ	<i>Ranunculus tachiroei</i> Franch. et Sav.				○
	セツブンソウ	<i>Shibateranthis pinnatifida</i> (Maxim.) Satake et Okuyama			○	
	アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	○	○	○	○
	ミヤマカラマツ	<i>Thalictrum tuberiferum</i> Maxim.			○	○
	モミジカラマツ	<i>Trautvetteria caroliniensis</i> (Walter) Vail var. <i>japonica</i> (Siebold et Zucc.) T. Shimizu				○
メギ科	メギ	<i>Berberis thunbergii</i> DC.	○	○	○	○
	ルイヨウボタン	<i>Caulophyllum robustum</i> Maxim.				○
	サンカヨウ	<i>Diphylleia grayi</i> F. Schmidt			○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(メギ科)	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> C. Morren var. <i>thunbergianum</i> (Miq.) Nakai	○	○	○	○
	キバナイカリソウ	<i>Epimedium koreanum</i> Nakai			○	
	ヒイラギナンテン	<i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC.	○	○	○	
	ナンテン	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	○	○	○	
アケビ科	アケビ	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.	○	○	○	○
	ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	○	○	○	○
	ゴヨウアケビ	<i>Akebia</i> × <i>pentaphylla</i> (Makino) Makino			○	
ツヅラフジ科	アオツヅラフジ (カミエビ)	<i>Cocculus orbiculatus</i> (L.) DC.	○	○	○	
	コウモリカズラ	<i>Menispermum dauricum</i> DC. f. <i>pilosum</i> (C. K. Schneid.) Kitag.				○
スイレン科	ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi				○
	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i> J. F. Gmel.				○
コショウ目						
ドクダミ科	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	○	○	○	○
センリョウ科	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus japonicus</i> Siebold		○	○	○
	フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	○	○	○	○
ウマノスズクサ目						
ウマノスズクサ科	フタバアオイ (カモアオイ)	<i>Asarum caulescens</i> Maxim.				○
	ウスバサイシン	<i>Asarum sieboldii</i> Miq.			○	○
	ヒメカンアオイ	<i>Asarum takaoi</i> F. Maek.			○	
オトギリソウ目						
ボタン科	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda				○
マタタビ科	サルナシ (コクワ)	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch.			○	○
	オニマタタビ (キウイフルーツ)	<i>Actinidia chinensis</i> Planch.	○	○	○	
	マタタビ	<i>Actinidia polygama</i> (Siebold et Zucc.) Planch.		○	○	○
ツバキ科	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i> L.	○	○	○	○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ツバキ科)	チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze	○	○	○	
	サカキ	<i>Cleyera japonica</i> Thunb.	○			
	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i> Thunb.	○	○	○	
	ナツツバキ (シヤラノキ)	<i>Stewartia pseudocamellia</i> Maxim.	○	○	○	○
オトギリソウ科	トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i> L. subsp. <i>ascyron</i> var. <i>ascyron</i>				○
	オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	○	○	○	○
	コケオトギリ	<i>Hypericum laxum</i> (Blume) Koidz.	○	○	○	○
	イワオトギリ	<i>Hypericum kamtschaticum</i> Ledeb. var. <i>hondoense</i> Y. Kimura				○
	オオカナダオトギリ	<i>Hypericum majus</i> (A. Gray) Britton			○	
	コゴメバオトギリ	<i>Hypericum perforatum</i> L. subsp. <i>Chinense</i> N. Robson				○
	サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolum</i> R. Keller				○
	ミズオトギリ	<i>Triadenum japonicum</i> (Blume) Makino				○
サラセニア目						
モウセンゴケ科	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i> L.				○
ケシ目						
ケシ科	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> H. Hara	○	○	○	
	ジロボウエンゴサク (ヤブエンゴサク)	<i>Corydalis decumbens</i> (Thunb.) Pers.	○		○	
	エゾエンゴサク	<i>Corydalis fumariifolia</i> Maxim. subsp. <i>azurea</i> Lidén et Zetterlund				○
	ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	○	○	○	○
	ヤマエンゴサク	<i>Corydalis lineariloba</i> Siebold et Zucc.	○		○	○
	ミヤマキケマン	<i>Corydalis pallida</i> (Thunb.) Pers. var. <i>tenuis</i> Yatabe			○	○
	ヤマブキシソウ	<i>Hylomecon japonica</i> (Thunb.) Prantl et Kündig			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ケシ科)	セリバヤマブキソウ	<i>Hylomecon japonica</i> (Thunb.) Prantl et Kündig f. <i>dissecta</i> (Franch. et Sav.) Okuyama				○
	タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R. Br.	○	○	○	○
	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i> L.	○	○		
アブラナ科	ハクサンハタザオ	<i>Arabidopsis haller</i> (L.) O'Kane et Al-Shehbaz subsp. <i>gemmifera</i> (Matsum.) O'Kane et Al-Shehbaz	○	○	○	○
	ヤマハタザオ	<i>Arabis hirsuta</i> (L.) Scop.		○	○	○
	ハルザキヤマガラシ	<i>Barbarea vulgaris</i> R. Br.	○		○	○
	ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	○	○	○	○
	ミツバコンロンソウ	<i>Cardamine anemonoides</i> O. E. Schulz			○	○
	ヒロハコンロンソウ	<i>Cardamine appendiculata</i> Franch. et Sav.				○
	ミズタネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i> Thunb. var. <i>latifolia</i> (Maxim.) H. Hara				○
	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i> L.			○	○
	コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i> (Tausch) O. E. Schulz		○	○	○
	オオバタネツケバナ	<i>Cardamine regeliana</i> Miq.	○			○
	タネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	○	○	○	○
	マルバコンロンソウ	<i>Cardamine tanakae</i> Franch. et Sav.			○	○
	イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i> L.	○	○	○	○
	エゾスズシロ	<i>Erysimum cheiranthoides</i> L.				○
	ユリワサビ	<i>Eutrema tenue</i> (Miq.) Makino			○	○
	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.	○	○	○	
	オランダガラシ (クレ ソン)	<i>Nasturtium officinale</i> R. Br.	○		○	○
	ショカツサイ (ハナダ イコン)	<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O. E. Schulz	○	○	○	
	イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	○	○	○	○
	スカシタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i> (L.) Besser	○	○	○	○
	カキネガラシ	<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop.	○			

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
バラ目						
マンサク科	マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> Siebold et Zucc.				○
	オオバマンサク	<i>Hamamelis japonica</i> Siebold et Zucc. var. <i>megalophylla</i> (Koidz.) Kitam.		○	○	○
ベンケイソウ科	ミツバベンケイソウ	<i>Hylotelephium verticillatum</i> (L.) H. Ohba				○
	キリンソウ	<i>Phedimus aizoon</i> (L.)'t Hart var. <i>floribundus</i> (Nakai) H. Ohba		○	○	
	オウシュウマンネングサ (ヨーロッパタイトゴメ)	<i>Sedum acre</i> L.	○	○		○
	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	○	○	○	
	オノマンネングサ	<i>Sedum lineare</i> Thunb.			○	○
	マルバマンネングサ	<i>Sedum makinoi</i> Maxim.	○	○		○
	ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i> Bunge	○	○	○	○
ユキノシタ科	ハナチダケサシ	<i>Astilbe formosa</i> Nakai				○
	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i> Knoll	○		○	○
	トリアシシヨウマ	<i>Astilbe odontophylla</i> Miq.		○	○	○
	アカシヨウマ	<i>Astilbe thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Miq. var. <i>thunbergii</i>	○		○	○
	チダケトリアシ	<i>Astilbe</i> × <i>amabilis</i> H. Hara				○
	クサアジサイ	<i>Cardiandra alternifolia</i> Siebold et Zucc.			○	○
	ハナネコノメ	<i>Chrysosplenium album</i> Maxim. var. <i>stamineum</i> (Franch.) H. Hara			○	○
	ツルネコノメソウ	<i>Chrysosplenium flagelliferum</i> F. Schmidt			○	○
	ネコノメソウ	<i>Chrysosplenium grayanum</i> Maxim.	○	○	○	○
	ヤマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium japonicum</i> (Maxim.) Makino	○	○	○	○
	ミチノクネコノメソウ	<i>Chrysosplenium kamtschaticum</i> Fisch. var. <i>aomorense</i> (Franch.) H. Hara				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ユキノシタ科)	イワボタン (ミヤマネ コノメソウ)	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> Maxim.			○	
	ヨゴレネコノメ	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> Maxim. var. <i>atranderum</i> H. Hara				○
	ニッコウネコノメ	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> Maxim. var. <i>shiobarense</i> (Franch.) H. Hara				○
	タチネコノメソウ	<i>Chrysosplenium tosaense</i> (Makino) Makino				○
	ウツギ (ウノハナ)	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc.	○		○	
	ヒメウツギ	<i>Deutzia gracilis</i> Siebold et Zucc.		○	○	○
	コアジサイ	<i>Hydrangea hirta</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	タマアジサイ	<i>Hydrangea involucrata</i> Siebold			○	○
	ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold	○	○	○	○
	ツルアジサイ (ツルデ マリ)	<i>Hydrangea petiolaris</i> Siebold et Zucc.			○	○
	ヤマアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>serrata</i>			○	○
	エゾアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>yesoensis</i> (Koidz.) H. Ohba				○
	コチャルメルソウ	<i>Mitella pauciflora</i> Rosend.			○	○
	シラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> Hook. f. et Thomson var. <i>foliosa</i>				○
	ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> L. var. <i>palustris</i>				○
	バイカウツギ	<i>Philadelphus satsumi</i> Siebold			○	○
	ニッコウバイカウツギ (ケバイカウツギ)	<i>Philadelphus satsumi</i> Siebold f. <i>nikoensis</i> (Rehder) Ohwi				○
	ヤシヤビシヤク	<i>Ribes ambiguum</i> Maxim.				○
	ザリコミ	<i>Ribes maximowiczianum</i> Kom.				○
	ヤグルマソウ	<i>Rodgersia podophylla</i> A. Gray			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ユキノシタ科)	ダイヤモンドソウ	<i>Saxifraga fortunei</i> Hook. f. var. <i>alpina</i> (Matsum. et Nakai) Nakai			○	○
	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i> Curtis	○	○	○	○
	イワガラミ	<i>Schizophragma</i> <i>hydrangeoides</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ズダヤクシュ	<i>Tiarella polyphylla</i> D. Don				○
トベラ科	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i> (Thunb.) W. T. Aiton		○		
バラ科	ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i> Koidz.	○	○	○	○
	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	○	○	○	○
	ウスゲキンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai f. <i>subglabra</i> Nakai				○
	アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.			○	○
	ウラジロノキ	<i>Aria japonica</i> Decne.	○	○	○	○
	ヤマブキショウマ	<i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H. Hara				○
	チョウジザクラ	<i>Cerasus apetala</i> (Siebold et Zucc.) Ohle			○	○
	オクチョウジザクラ	<i>Cerasus apetala</i> (Siebold et Zucc.) Ohle var. <i>pilosa</i> (Koidz.) H. Ohba			○	
	ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura</i> (Siebold) H. Ohba	○	○	○	○
	カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i> (Koehne) H. Ohba			○	○
	ミヤマザクラ	<i>Cerasus maximowiczii</i> (Rupr.) Kom.				○
	タカネザクラ (ミネザクラ)	<i>Cerasus nipponica</i> (Matsum.) Ohle				○
	オオヤマザクラ	<i>Cerasus sargentii</i> (Rehder) H. Ohba			○	○
	エドヒガン	<i>Cerasus spachiana</i> Lavalée f. <i>ascendens</i> (Makino) H. Ohba	○		○	
クサボケ (シドミ)	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl.	○	○	○		

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(バラ科)	ヘビイチゴ	<i>Duchesnea chrysantha</i> (Zoll. et Moritzi) Miq.	○	○	○	○
	ヤブヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i> (Andrews) Focke var. <i>major</i> Makino	○	○	○	○
	シモツケソウ	<i>Filipendula multijuga</i> Maxim.				○
	オオダイコンソウ	<i>Geum aleppicum</i> Jacq.				○
	ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i> Thunb.	○	○	○	○
	ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.	○	○	○	○
	ズミ (コリンゴ)	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold	○	○	○	○
	オオズミ	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold var. <i>zumi</i> (Matsum.) H. Hara				○
	オオウラジロノキ (ズ ミノキ)	<i>Malus tschonoskii</i> (Maxim.) C. K. Schneid.			○	○
	イヌザクラ	<i>Padus buergeriana</i> (Miq.) T. T. Yü et T. C. Ku		○	○	○
	ウワミズザクラ	<i>Padus grayana</i> (Maxim.) C. K. Schneid.	○	○	○	○
	ヒメヘビイチゴ	<i>Potentilla centigrana</i> Maxim.	○	○	○	○
	ミツモトソウ	<i>Potentilla cryptotaeniae</i> Maxim.			○	○
	イワキンバイ	<i>Potentilla dickinsii</i> Franch. et Sav.			○	○
	ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	○	○	○	○
	ツルキンバイ	<i>Potentilla rosulifera</i> H. Lév.			○	○
	キジムシロ	<i>Potentilla sprengeliana</i> Lehm.	○	○	○	
	オヘビイチゴ	<i>Potentilla sundaica</i> (Blume) Kuntze var. <i>robusta</i> (Franch. et Sav.) Kitag.	○	○		
	カマツカ (ウシコロシ、 ケカマツカ)	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>villosa</i>			○	○
	ヤマナシ	<i>Pyrus pyrifolia</i> (Burm. f.) Nakai var. <i>pyrifolia</i>				○
	テリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i> Rochebr. et Franch.	○	○	○	○
	ノイバラ (ノバラ)	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(バラ科)	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge	○	○	○	○
	クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.		○	○	
	クロイチゴ	<i>Rubus mesogaeus</i> Focke				○
	ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i> L. f.	○	○	○	○
	モミジイチゴ (キイチゴ)	<i>Rubus palmatus</i> Thunb. var. <i>coptophyllus</i> (A. Gray) Kuntze	○	○	○	○
	ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i> L.	○	○	○	○
	コバノフユイチゴ (マルバフユイチゴ)	<i>Rubus pectinellus</i> Maxim.				○
	エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicolasius</i> Maxim.				○
	ミヤマニガイチゴ	<i>Rubus subcrataegifolius</i> (H. Lév. et Vaniot) H. Lév.				○
	ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.	○	○	○	○
	ナガボノワレモコウ (ナガボノアカワレモコウ)	<i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fisch. ( <i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fisch. var. <i>purpurea</i> Trautv. et C. A. Mey.)				○
	ナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl.				○
	サビバナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> Hedl. var. <i>rufoferruginea</i> C. K. Schneid.				○
	ナンキンナナカマド (コバノナナカマド)	<i>Sorbus gracilis</i> (Siebold et Zucc.) K. Koch				○
	タチバナモドキ (ホソバノトキワサンザシ)	<i>Pyracantha angustifolia</i> (Franch.) C. K. Schneid.	○			
	シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> L. f.	○			
	ユキヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i> Siebold			○	
	コゴメウツギ	<i>Stephanandra incisa</i> (Thunb.) Zabel	○	○	○	○
マメ科	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i> L.	○	○		
	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	○	○	○	
	イタチハギ (クロバナエンジュ)	<i>Amorpha fruticosa</i> L.	○	○	○	○
	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) H. Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliv.) H. Ohashi	○	○	○	○
	ホドイモ	<i>Apios fortunei</i> Maxim.			○	○
	ゲンゲ (レンゲ)	<i>Astragalus sinicus</i> L.	○	○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(マメ科)	カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i> (Siebold) H. Ohashi	○	○	○	
	エニシダ	<i>Cytisus scoparius</i> (L.) Link			○	○
	フジカンゾウ	<i>Desmodium oldhamii</i> Oliv.		○	○	
	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.	○	○		
	ヌスビトハギ	<i>Desmodium podocarpum</i> DC. subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H. Ohashi	○	○	○	○
	ヤブハギ	<i>Desmodium podocarpum</i> DC. subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H. Ohashi var. <i>mandshuricum</i> Maxim.			○	○
	ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	○	○		
	ツルマメ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) H. Ohashi	○	○		
	コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsum.	○	○	○	○
	マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i> (Maxim.) Makino	○	○	○	○
	ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindl.	○	○	○	○
	ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i> Willd.				○
	レンリソウ (カマキリソウ)	<i>Lathyrus quinquenervius</i> (Miq.) Litv.			○	
	ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	○	○	○	
	キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i> Miq.		○	○	○
	メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum. Cours.) G. Don	○	○	○	○
	ハイメドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum. Cours.) G. Don var. <i>serpens</i> (Nakai) Ohwi	○	○	○	
	マルバハギ	<i>Lespedeza cyrtobotrya</i> Miq.	○	○		
	カラメドハギ	<i>Lespedeza inschanica</i> (Maxim.) Schindl.			○	
	ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> L. var. <i>corniculatus</i>			○	○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(マメ科)	ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> L. var. <i>japonicus</i> Regel			○	
	イヌエンジュ	<i>Maackia amurensis</i> Rupr. et Maxim.		○	○	○
	ムラサキウマゴヤシ (アルファルファ)	<i>Medicago sativa</i> L.			○	○
	シナガワハギ	<i>Melilotus officinalis</i> (L.) Pall. subsp. <i>suaveolens</i> (Ledeb.) H. Ohashi		○		
	クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	○	○	○	○
	ハリエンジュ (ニセアカシア)	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	○	○	○	○
	クララ	<i>Sophora flavescens</i> Aiton		○		
	コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i> Sibth.				○
	タチオランダゲンゲ	<i>Trifolium hybridum</i> L.				○
	ムラサキツメクサ (アカクロバー)	<i>Trifolium pratense</i> L.	○	○	○	○
	シロツメクサ (シロクロバー)	<i>Trifolium repens</i> L.	○	○	○	○
	ツルフジバカマ	<i>Vicia amoena</i> Fisch.		○	○	
	ヨツバハギ	<i>Vicia nipponica</i> Matsum.			○	
	クサフジ	<i>Vicia cracca</i> L.			○	
	ヤハズエンドウ (カラスノエンドウ)	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.	○	○	○	
	ホソバヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh. var. <i>minor</i> (Bertol.) Gaudin		○		
	ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i> A. Braun	○	○	○	
	ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et H. Ohashi var. <i>nipponensis</i> (Ohwi) Ohwi et H. Ohashi		○	○	○
	フジ	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	○	○	○	○
	フウロソウ目					
カタバミ科	コミヤマカタバミ	<i>Oxalis acetosella</i> L.				○
	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i> Savigny			○	
	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.	○	○	○	○
	アカカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>rubrifolia</i> (Makino) H. Hara		○		
	ケカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. var. <i>trichocaulon</i> H. Lév.		○		

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カタバミ科)	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig	○	○		
	オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i> Jacq.	○	○	○	
	エゾタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i> L.				○
フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.	○	○		
	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold	○	○	○	○
	ベニバナゲンノショウ コ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold f. <i>thunbergii</i>	○			○
	コフウロ	<i>Geranium tripartitum</i> R. Knuth				○
	ハクサンフウロ	<i>Geranium yesoense</i> Franch. et Sav. var. <i>nipponicum</i> Nakai				○
アマ科	キバナノマツバニンジン	<i>Linum medium</i> (Planch.) Britton	○	○	○	
トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i> L.	○	○	○	○
	コニシキソウ	<i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small	○	○	○	○
	オオニシキソウ	<i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small	○	○	○	
	タカトウダイ	<i>Euphorbia lasiocaula</i> Boiss.	○	○	○	○
	センダイタイゲキ	<i>Euphorbia sendaica</i> Makino	○	○		
	ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i> C. Morren et Decne.	○			
	アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i> (L. f.) Müll. Arg.	○	○	○	
	ヒメミカンソウ	<i>Phyllanthus ussuriensis</i> Rupr. et Maxim.	○	○	○	○
	コミカンソウ	<i>Phyllanthus lepidocarpus</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	
	シラキ	<i>Neoshirakia japonica</i> (Siebold et Zucc.) Esser			○	○
	アブラギリ	<i>Vernicia cordata</i> (Thunb.) Airy Shaw	○			
ユズリハ科	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq.	○		○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
ミカン目						
ミカン科	マツカゼソウ	<i>Boenninghausenia albiflora</i> (Hook.) Rehb. var. <i>japonica</i> (Nakai) Suzuki			○	○
	コクサギ	<i>Orixa japonica</i> Thunb.	○		○	
	キハダ	<i>Phellodendron amurense</i> Rupr.			○	○
	ミヤマシキミ	<i>Skimmia japonica</i> Thunb.				○
	ツルシキミ	<i>Skimmia japonica</i> Thunb. var. <i>intermedia</i> Komatsu f. <i>repens</i> (Nakai) Ohwi				○
	カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> Siebold et Zucc.			○	
	サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	○	○	○	○
	イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
ニガキ科	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle	○			
	ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn.	○	○	○	○
センダン科	センダン	<i>Melia azedarach</i> L.	○	○		
ヒメハギ科	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i> Houtt.	○	○	○	○
ムクロジ目						
ドクウツギ科	ドクウツギ	<i>Coriaria japonica</i> A. Gray	○	○	○	○
ウルシ科	ツタウルシ	<i>Rhus ambigua</i> Lavall.	○	○	○	○
	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T. Yamaz.	○	○	○	○
	ヤマウルシ	<i>Rhus trichocarpa</i> Miq.	○	○	○	○
カエデ科	オオモミジ (ヒロハモミジ)	<i>Acer amoenum</i> Carr.	○	○	○	○
	ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> Carr. var. <i>matsumurae</i> (Koidz.) K. Ogata		○	○	○
	フカギレオオモミジ	<i>Acer amoenum</i> Carr. f. <i>palmatipartitum</i> (Koidz.) K. Ogata				○
	アサノハカエデ	<i>Acer argutum</i> Maxim.		○	○	○
	トウカエデ	<i>Acer buergerianum</i> Miq.	○		○	
	チドリノキ	<i>Acer carpinifolium</i> Siebold et Zucc.			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カエデ科)	ミツデカエデ	<i>Acer cissifolium</i> (Siebold et Zucc.) K. Koch			○	○
	ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	カジカエデ (オニモミジ)	<i>Acer diabolicum</i> Blume	○		○	○
	ヒトツバカエデ (マルバカエデ)	<i>Acer distylum</i> Siebold et Zucc.			○	○
	カラコギカエデ	<i>Acer ginnala</i> Maxim. var. <i>aidzuense</i> (Franch.) K. Ogata			○	○
	ハウチワカエデ (メイゲツカエデ)	<i>Acer japonicum</i> Thunb.			○	○
	メグスリノキ	<i>Acer maximowiczianum</i> Miq.			○	○
	コミネカエデ	<i>Acer micranthum</i> Siebold et Zucc.			○	○
	オニイタヤ (ケイタヤ)	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>pictum</i> f. <i>ambiguum</i> (Pax) H. Ohashi	○		○	○
	ウラゲエンコウカエデ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>dissectum</i> (Wesm.) H. Ohashi f. <i>connivens</i> (G. Nicholson) H. Ohashi			○	○
	エンコウカエデ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>dissectum</i> (Wesm.) H. Ohashi f. <i>dissectum</i> (Wesm.) H. Ohashi	○		○	○
	アカイタヤ (ベニイタヤ)	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>mayrii</i> (Schwer.) H. Ohashi			○	
	イトマキイタヤ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>savatieri</i> (Pax) H. Ohashi			○	
	イロハモミジ (タカオカエデ、イロハカエデ)	<i>Acer palmatum</i> Thunb.	○	○	○	○
	ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	オオイタヤメイゲツ	<i>Acer shirasawanum</i> Koidz.			○	○
コハウチワカエデ (イタヤメイゲツ)	<i>Acer sieboldianum</i> Miq.			○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カエデ科)	ヒナウチワカエデ	<i>Acer tenuifolium</i> (Koidz.) Koidz.		○	○	○
	ミネカエデ	<i>Acer tschonoskii</i> Maxim.				○
	オオバミネカエデ	<i>Acer tschonoskii</i> Maxim. var. <i>macrophyllum</i> Nakai				○
トチノキ科	トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i> Blume			○	○
	ウラゲトチノキ (ケト チノキ)	<i>Aesculus turbinata</i> Blume f. <i>pubescens</i> (Rehder) Ohwi				○
アワブキ科	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i> Siebold et Zucc.	○		○	○
	ミヤマハハソ	<i>Meliosma tenuis</i> Maxim.			○	○
ツリフネソウ科	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i> L.	○	○	○	○
	ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i> Miq.	○	○	○	○
ニシキギ目						
モチノキ科	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb.	○	○	○	
	ハイイヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. var. <i>radicans</i> (Nakai) Murai			○	○
	フウリンウメモドキ	<i>Ilex geniculata</i> Maxim.				○
	モチノキ	<i>Ilex integra</i> Thunb.	○	○	○	○
	ヒメモチ	<i>Ilex leucoclada</i> (Maxim.) Makino				○
	アオハダ	<i>Ilex macropoda</i> Miq.	○	○	○	○
	ツルツゲ	<i>Ilex rugosa</i> F. Schmidt				○
	ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i> Thunb.	○	○	○	
	アカミノイヌツゲ	<i>Ilex sugerokii</i> Maxim. var. <i>brevipedunculata</i> (Maxim.) S. Y. Hu				○
ニシキギ科	イワウメヅル	<i>Celastrus flagellaris</i> Rupr.			○	○
	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb.	○	○	○	○
	オニツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>strigillosus</i> (Nakai) H. Hara		○	○	○
	オオツルウメモドキ	<i>Celastrus stephanotifolius</i> (Makino) Makino				○
	ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold	○	○	○	○
	コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>striatus</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○
	ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> (Turcz.) Hand.-Mazz.	○	○	○	○
	マサキ	<i>Euonymus japonicus</i> Thunb.	○			

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ニシキギ科)	ヒロハノツリバナ (ヒロハツリバナ)	<i>Euonymus macropterus</i> Rupr.				○
	サワダツ (アオジクマユミ)	<i>Euonymus melananthus</i> Franch. et Sav.				○
	ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq.		○	○	○
	オオツリバナ (ニッコウツリバナ)	<i>Euonymus planipes</i> (Koehne) Koehne				○
	ハイコマユミ	<i>Euonymus profusus</i> (仮称)				○
	マユミ (カンサイマユミ、オオバマユミ)	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	○	○	○	○
	カントウマユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume var. <i>sanguineus</i> Nakai		○	○	○
	クロヅル	<i>Tripterygium regelii</i> Sprague et Takeda			○	○
ミツバウツギ科	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	○	○	○	
	ミツバウツギ	<i>Staphylea bumalda</i> DC.			○	○
クロウメモドキ目						
クロウメモドキ科	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ケンポナシ	<i>Hovenia dulcis</i> Thunb.	○		○	○
	クロカンバ	<i>Rhamnus costata</i> Maxim.				○
	イソノキ	<i>Rhamnus crenata</i> Siebold et Zucc.		○	○	
	クロツバラ	<i>Rhamnus davurica</i> Pall. var. <i>nipponica</i> Makino		○		
	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> Maxim. var. <i>decipiens</i> Maxim.		○	○	○
ブドウ科	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.	○	○	○	○
	キレハノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy. f. <i>citruloides</i> (Lebas) Momiy.	○	○	○	○
	ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.	○	○	○	○
	ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.)	○	○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ブドウ科)	ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i> Pulliat			○	○
	エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge	○	○	○	○
	サンカクヅル	<i>Vitis flexuosa</i> Thunb.			○	○
アオイ目						
シナノキ科	カラスノゴマ	<i>Corchoropsis tomentosa</i> (Thunb.) Makino		○	○	
	シナノキ	<i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonk.		○	○	○
	オオバボダイジュ	<i>Tilia maximowicziana</i> Shiras.				○
アオイ科	イチビ	<i>Abutilon theophrasti</i> Medik.	○	○	○	
	タチアオイ	<i>Alcea rosea</i> (L.) Cav.		○		
	ゼニアオイ	<i>Malva neglecta</i> Wallr.			○	
	ゼニアオイ	<i>Malva sylvestris</i> L. var. <i>mauritiana</i> (L.) Bois.		○		
ジンチョウゲ目						
ジンチョウゲ科	カラスシキミ	<i>Daphne miyabeana</i> Makino				○
	キガンピ	<i>Diplomorpha trichotoma</i> (Thunb.) Nakai	○			
	ミツマタ	<i>Edgeworthia chrysantha</i> Lindl.				○
グミ科	ナツグミ	<i>Elaeagnus multiflora</i> Thunb.				○
	ツクバグミ (ニッコウ ナツグミ)	<i>Elaeagnus montana</i> Makino var. <i>ovata</i> (Maxim.) Araki				○
	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i> Thunb.		○	○	
イイギリ科	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.	○			○
スマレ目						
スマレ科	エゾノタチツボスマレ	<i>Viola acuminata</i> Ledeb.		○		
	マキバスマレ	<i>Viola arvensis</i> Murray			○	
	アリアケスマレ	<i>Viola betonicifolia</i> Sm. var. <i>albescens</i> (Nakai) F. Maek. et T. Hashim	○	○	○	
	ヒメミヤマスマレ	<i>Viola boissieuana</i> Makino				○
	ヒゴスマレ	<i>Viola chaerophylloides</i> (Regel) W. Becker var. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) Makino			○	
	エイザンスミレ (エゾ スマレ)	<i>Viola eizanensis</i> (Makino) Makino	○	○	○	○
	タチツボスマレ	<i>Viola grypoceras</i> A. Gray	○	○	○	○
	アカフタチツボスマレ	<i>Viola grypoceras</i> A. Gray f. <i>variegata</i> Nakai			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(スミレ科)	ミヤマツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> A. Gray var. <i>fibrillosa</i> (W. Becker) Ohwi				○
	サクラスミレ	<i>Viola hirtipes</i> S. Moore		○	○	○
	チシオスミレ	<i>Viola hirtipes</i> S. Moore f. <i>rhodovenia</i> (Nakai) Hiyama	○	○	○	
	アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i> W. Becker et H. Boissieu	○	○	○	○
	ヒメスミレ	<i>Viola inconspicua</i> Blume subsp. <i>nagasakiensis</i> (W. Becker) J. C. Wang et T. C. Huang	○	○	○	○
	コスミレ	<i>Viola japonica</i> Langsd.	○	○	○	○
	マルバスミレ	<i>Viola keiskei</i> Miq.	○	○	○	○
	オオタチツボスミレ	<i>Viola kusanoana</i> Makino				○
	スミレ	<i>Viola mandshurica</i> W. Becker	○	○	○	
	ニオイタチツボスミレ	<i>Viola obtusa</i> Makino		○	○	○
	アカネスミレ	<i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim.	○	○		○
	オカスミレ	<i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim. f. <i>glaberrima</i> (W. Becker) F. Maek.				○
	アケボノスミレ	<i>Viola rossii</i> Hemsl.		○	○	○
	ミヤマスミレ	<i>Viola selkirkii</i> Pursh				○
	フモトスミレ	<i>Viola sieboldii</i> Maxim.	○	○	○	○
	フィリフモトスミレ	<i>Viola sieboldii</i> Maxim. f. <i>variegata</i> (Nagas.) F. Maek. et T. Hashim.		○	○	○
	アメリカスミレサイシン	<i>Viola sororia</i> Willd.		○	○	
	フッカケスミレ	<i>Viola sororia</i> Willd. 'Freckles'	○	○		
	ヒナスミレ	<i>Viola tokubuchiana</i> Makino var. <i>takedana</i> (Makino) F. Maek.	○		○	○
	スミレサイシン	<i>Viola vaginata</i> Maxim.				○
ツボスミレ (ニョイスミレ)	<i>Viola verecunda</i> A. Gray	○	○	○	○	
アギスミレ	<i>Viola verecunda</i> A. Gray var. <i>semilunaris</i> Maxim	○	○		○	
シハイスミレ	<i>Viola violacea</i> Makino			○	○	



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(スミレ科)	マキノスミレ	<i>Viola violacea</i> Makino var. <i>makinoi</i> (H. Boissieu) Hiyama				○
	ヒカゲスミレ	<i>Viola yezoensis</i> Maxim.	○		○	○
	オクタマスミレ (キク バスミレ)	<i>Viola</i> × <i>savatieri</i> Makino	○			
キブシ科	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zucc.			○	○
シュウカイドウ 科	シュウカイドウ	<i>Begonia grandis</i> Dryand.	○	○	○	
ウリ目						
ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○
	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.	○	○	○	
	カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.	○	○	○	
	キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.	○	○	○	
	スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H. Y. Liu	○	○	○	
フトモモ目						
ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ	<i>Ammannia coccinea</i> Rottb.	○	○		
	エゾミソハギ	<i>Lythrum salicaria</i> L.				○
	キカシグサ	<i>Rotala indica</i> (Willd.) Koehne var. <i>uliginosa</i> (Miq.) Koehne	○	○	○	
	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schltld.		○		
アカバナ科	ミヤマタニタデ	<i>Circaea alpina</i> L.				○
	ウシタキソウ	<i>Circaea cordata</i> Royle				○
	タニタデ	<i>Circaea erubescens</i> Franch. et Sav.				○
	ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ケゴンアカバナ (タカ ネアカバナ)	<i>Epilobium amurense</i> Hauskn.				○
	イワアカバナ	<i>Epilobium amurense</i> Hauskn. subsp. <i>cephalostigma</i> (Hauskn.) C. J. Chen, Hoch et Raven				○
	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.		○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(アカバナ科)	チョウジタデ (タゴボウ)	<i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim.	○	○	○	
	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i> L.		○	○	
	オオマツヨイグサ	<i>Oenothera glazioviana</i> Micheli		○		○
	アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i> L.	○			○
	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i> L'Hér.	○	○		
	マツヨイグサ	<i>Oenothera stricta</i> Ledeb.	○			
アリノトウグサ科	アリノトウグサ	<i>Haloragis micrantha</i> (Thunb.) R. Br.	○	○	○	○
セリ目						
ウリノキ科	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> (Siebold et Zucc.) Harms var. <i>trilobum</i> (Miq.) Ohwi			○	○
ミズキ科	アオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb.	○	○	○	
	ヤマボウシ	<i>Benthamidia japonica</i> (Siebold et Zucc.) H. Hara	○	○	○	○
	ゴゼンタチバナ	<i>Chamaepericlymenum</i> <i>canadense</i> (L.) Asch. et Graebn.				○
	ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F. Dietr.			○	○
	ミズキ	<i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Soják	○	○	○	○
	クマノミズキ	<i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Soják		○	○	○
ウコギ科	ウド	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	○	○	○	○
	タラノキ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	○	○	○	○
	ミヤマウド	<i>Aralia glabra</i> Matsum.				○
	コシアブラ	<i>Eleutherococcus</i> <i>sciadophylloides</i> (Franch. et Sav.) H. Ohashi	○	○	○	○
	ヤマウコギ (ウコギ)	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L. f.) S. Y. Hu	○	○	○	○
	ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	○	○	○	
	タカノツメ	<i>Gamblea innovans</i> (Siebold et Zucc.) C. B. Shang, Lowry et Frodin	○		○	○
	キツタ	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	○	○	○	○
	ハリギリ (センノキ)	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb.) Koidz.	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ウコギ科)	ハリブキ	<i>Oplopanax japonicus</i> (Nakai) Nakai				○
	トチバニンジン (チクセツニンジン)	<i>Panax japonicus</i> C. A. Mey.	○	○	○	○
	ソウシシヨウニンジン	<i>Panax japonicus</i> C. A. Mey. f. <i>dichrocarpus</i> (Makino) Nakai			○	
セリ科	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	○	○	○	○
	アマニュウ	<i>Angelica edulis</i> Miyabe			○	
	イワニンジン (ノダケモドキ)	<i>Angelica hakonensis</i> Maxim.				○
	ハナビゼリ	<i>Angelica inaequalis</i> Maxim.			○	
	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i> Maxim.			○	○
	シシウド	<i>Angelica pubescens</i> Maxim.			○	○
	シャク (ヤマニンジン)	<i>Anthriscus sylvestris</i> (L.) Hoffm.				○
	ホタルサイコ	<i>Bupleurum longiradiatum</i> Turcz. var. <i>elatius</i> (Koso-Pol.) Kitag.		○		○
	セントウソウ	<i>Chamaele decumbens</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○
	ドクゼリ	<i>Cicuta virosa</i> L.	○			
	ミヤマセンキュウ	<i>Conioselinum filicinum</i> (H. Wolff) H. Hara			○	
	ミツバ	<i>Cryptotaenia canadensis</i> DC. subsp. <i>japonica</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	○	○	○	○
	ムラサキミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk. f. <i>atropurpurea</i> (Makino) Ohwi		○	○	
	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i> Honda	○	○	○	
	オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i> Maxim.	○	○	○	○
	チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lam.	○	○	○	
	ヒメチドメ	<i>Hydrocotyle yabei</i> Makino	○	○	○	○
	ミヤマチドメ (ミヤマチドメグサ)	<i>Hydrocotyle yabei</i> Makino var. <i>japonica</i> (Makino) M. Hiroe				○
	イブキボウフウ	<i>Libanotis coreana</i> (H. Wolff) Kitag.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(セリ科)	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	○	○	○	○
	ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydb.	○	○	○	○
	タニミツバ	<i>Pimpinella serra</i> Franch. et Sav.				○
	イワセントウソウ	<i>Pternopetalum tanakae</i> (Franch. et Sav.) Hand.-Mazz.			○	
	ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i> Bunge		○	○	○
	ヤマナシウマノミツバ	<i>Sanicula kaiensis</i> Makino et Hisauti				○
	ヌマゼリ (サワゼリ)	<i>Sium suave</i> Walter var. <i>nipponicum</i> (Maxim.) H. Hara	○			
	カノツメソウ	<i>Spuriopimpinella calycina</i> (Maxim.) Kitag.			○	○
	ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.			○	○
	オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.	○	○	○	○

(4) 種子植物 (被子植物門・双子葉植物綱・合弁花植物亜綱)

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
イワウメ目						
イワウメ科	ヒメイワカガミ	<i>Schizocodon ilicifolius</i> Maxim.				○
	イワカガミ	<i>Schizocodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc.				○
	コイワウチワ	<i>Shortia uniflora</i> (Maxim.) Maxim. var. <i>kantoensis</i> T. Yamaz.				○
	オオイワウチワ	<i>Shortia uniflora</i> (Maxim.) Maxim. var. <i>uniflora</i>			○	○
ツツジ目						
リョウブ科	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
イチヤクソウ科	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i> Miq.	○	○	○	○
	シャクジョウソウ	<i>Monotropa hypopithys</i> L.				○
	ギンリョウソウモドキ	<i>Monotropa uniflora</i> L.		○	○	○
	ギンリョウソウ (マル ミノギンリョウソウ)	<i>Monotropastrum humile</i> (D. Don) H. Hara	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イチヤクソウ科)	コバノイチヤクソウ	<i>Pyrola alpina</i> Andres			○	
	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> Klenze	○	○	○	○
	マルバノイチヤクソウ	<i>Pyrola nephrophylla</i> (Andres) Andres			○	○
	ジンヨウイチヤクソウ	<i>Pyrola renifolia</i> Maxim.			○	
ツツジ科	ホツツジ	<i>Elliottia paniculata</i> (Siebold et Zucc.) Hook. f.	○		○	○
	サラサドウダン (フウリンツツジ)	<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) G. Nicholson				○
	ベニサラサドウダン	<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) G. Nicholson var. <i>palibinii</i> (Craib) Bean				○
	アブラツツジ	<i>Enkianthus subsessilis</i> (Miq.) Makino				○
	イワナシ	<i>Epigaea asiatica</i> Maxim.				○
	アカモノ	<i>Gaultheria adenostrix</i> (Miq.) Maxim.				○
	ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> (Wall.) Drude subsp. <i>neziki</i> (Nakai et H. Hara) H. Hara	○	○	○	○
	アセビ (アセボ)	<i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D. Don	○	○		
	ハナヒリノキ	<i>Leucothoe grayana</i> Maxim.				○
	ウラジロヨウラク	<i>Menziesia multiflora</i> Maxim.				○
	コヨウラクツツジ	<i>Menziesia pentandra</i> Maxim.				○
	ムラサキヤシオツツジ	<i>Rhododendron albrechtii</i> Maxim.				○
	ハクサンシャクナゲ	<i>Rhododendron brachycarpum</i> D. Don				○
	アズマシャクナゲ	<i>Rhododendron japonicum</i> (Blume) C. K. Schneid. var. <i>pentamerum</i> (Maxim.) Hutch.				○
	ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>kaempferi</i>	○	○	○	○
	レンゲツツジ	<i>Rhododendron molle</i> (Blume) G. Don subsp. <i>japonicum</i> (A. Gray) K. Kron	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ツツジ科)	アカヤシオ	<i>Rhododendron pentaphyllum</i> Maxim. var. <i>nikoense</i> Komatsu				○
	シロヤシオ (ゴヨウツツジ)	<i>Rhododendron quinquefolium</i> Bisset et S. Moore			○	○
	バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i> Maxim.		○	○	○
	オオヤマツツジ	<i>Rhododendron transiens</i> Nakai		○		
	コメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> Maxim.				○
	トウゴクミツバツツジ	<i>Rhododendron wadanum</i> Makino			○	○
	ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> Thunb. var. <i>pubescens</i> (Koidz.) T. Yamaz.			○	○
	アクシバ	<i>Vaccinium japonicum</i> Miq.				○
	ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i> Miq.		○	○	○
サクラソウ目						
ヤブコウジ科	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims	○	○	○	
	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i> (Thunb.) A. DC.	○	○		
	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	○	○	○	
サクラソウ科	オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i> Duby	○	○	○	○
	ヌマトラノオ	<i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.	○	○	○	○
	コナスビ (ナガエコナスビ)	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	○	○	○	○
	クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> L. var. <i>davurica</i> (Ledeb.) R. Knuth				○
	ツマトリソウ	<i>Trientalis europaea</i> L.				○
カキノキ目						
カキノキ科	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	○	○	○	
	マメガキ	<i>Diospyros lotus</i> L.	○	○		
エゴノキ科	エゴノキ	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ハクウンボク	<i>Styrax obassia</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
ハイノキ科	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i> Nagam.	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
モクセイ目						
モクセイ科	レンギョウ	<i>Forsythia suspensa</i> (Thunb.) Vahl			○	
	ミヤマアオダモ	<i>Fraxinus apertisquamifera</i> H. Hara				○
	ケアオダモ (アラゲア オダモ)	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz.				○
	アオダモ (コバノトネ リコ)	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Murata			○	○
	マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i> Blume	○	○	○	○
	ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.	○	○	○	
	イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ミヤマイボタ	<i>Ligustrum tschonoskii</i> Decne.		○	○	○
	エゾイボタ	<i>Ligustrum tschonoskii</i> Decne. f. <i>glabrescens</i> (Koidz.) Murata				○
	ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i> (G. Don) P. S. Green	○	○	○	
リンドウ目						
マチン科	アイナエ	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R. Br.		○		
リンドウ科	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buengeri</i> (Miq.) Maxim.	○	○	○	○
	ハルリンドウ	<i>Gentiana thunbergii</i> (G. Don) Griseb.				○
	エゾリンドウ	<i>Gentiana triflora</i> Pall. var. <i>japonica</i> (Kusn.) H. Hara				○
	フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawc.		○	○	○
	ハナイカリ	<i>Halenia corniculata</i> (L.) Cornaz				○
	アケボノソウ	<i>Swertia bimaculata</i> (Siebold et Zucc.) Hook. f. et Thomson			○	○
	センブリ	<i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino		○	○	○
	イヌセンブリ	<i>Swertia tosaensis</i> Makino		○		○
	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum trinervium</i> (Thunb.) H. Ohashi et H. Nakai	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(リンドウ科)	テングノコヅチ	<i>Tripterospermum trinervium</i> (Thunb.) H. Ohashi et H. Nakai var. <i>involutum</i> (N. Yonez.) H. Ohashi et H. Nakai				○
ミツガシワ科	ミツガシワ	<i>Menyanthes trifoliata</i> L.				○
	アサザ	<i>Nymphoides peltata</i> (S. G. Gmel.) Kuntze		○		
キョウチクトウ科	テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	○	○	○	○
ガガイモ科	イケマ	<i>Cynanchum caudatum</i> (Miq.) Maxim.			○	○
	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	
	オオカモメヅル	<i>Tylophora aristolochioides</i> Miq.	○	○	○	○
	コカモメヅル	<i>Tylophora floribunda</i> Miq.	○	○		
	アズマカモメヅル	<i>Vincetoxicum sublanceolatum</i> (Miq.) Maxim. var. <i>albiflorum</i> (Franch. et Sav) Kitag.			○	○
	コバノカモメヅル	<i>Vincetoxicum sublanceolatum</i> (Miq.) Maxim. var. <i>sublanceolatum</i>		○	○	○
	タチガシワ	<i>Vincetoxicum magnificum</i> (Nakai) Kitag.			○	○
	ホソバノロクオンソウ	<i>Vincetoxicum multinerve</i> Franch. et Sav.		○		
アカネ科	オオフタバムグラ (オニフタバムグラ)	<i>Diodia teres</i> Walter	○	○		
	オオバノヨツバムグラ	<i>Galium kamtschaticum</i> Steller var. <i>acutifolium</i> H. Hara				○
	キクムグラ (マルバノヨツバムグラ)	<i>Galium kikumugura</i> Ohwi		○	○	
	キヌタソウ	<i>Galium kinuta</i> Nakai et H. Hara		○	○	○
	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Hayek	○	○	○	○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(アカネ科)	オオバノヤエムグラ	<i>Galium pseudoasprellum</i> Makino			○	○
	ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i> A. Gray			○	○
	ホソバノヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> L. subsp. <i>columbianum</i> (Rydb.) Hultén			○	○
	オククルマムグラ	<i>Galium trifloriforme</i> Kom.				○
	クルマムグラ	<i>Galium japonicum</i> Makino			○	○
	カワラマツバ	<i>Galium verum</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> (Nakai) T. Yamaz. var. <i>asiaticum</i> Nakai f. <i>lacteum</i> (Maxim.) Nakai	○		○	○
	フタバムグラ	<i>Hedyotis brachypoda</i> (DC.) Sivar. et Biju	○	○		
	ツルアリドオシ	<i>Mitchella undulata</i> Siebold et Zucc.		○	○	○
	ハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> (L. f.) W. H. Lewis var. <i>hirsuta</i>	○	○	○	
	ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.	○	○	○	○
アカネ	<i>Rubia argyi</i> (H. Lév. et Vaniot) H. Hara	○	○	○	○	
シソ目						
ヒルガオ科	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.	○	○	○	
	ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i> Lindl.	○	○	○	○
	ハマヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i> (L.) R. Br.				○
	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i> R. Br.		○		
	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i> Yuncker	○	○	○	
	ネナシカズラ	<i>Cuscuta japonica</i> Choisy		○	○	○
	マルバルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i> L.	○	○		
	マルバアメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq. var. <i>integriuscula</i> A. Gray	○	○		
	マルバアサガオ	<i>Ipomoea purpurea</i> (L.) Roth	○	○	○	
ムラサキ科	サワリソウ	<i>Ancistrocarya japonica</i> Maxim.				○
	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J. Jacq.) Druce	○	○		
	オニルリソウ	<i>Cynoglossum asperrimum</i> Nakai		○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ムラサキ科)	ルリソウ	<i>Omphalodes krameri</i> Franch. et Sav.	○	○		
	ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i> L.	○	○	○	○
	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth.	○	○		
クマツヅラ科	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	○	○	○	○
	ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.			○	○
	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	○	○	○	○
アワゴケ科	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i> Engelm.		○		
	ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i> L.	○			
シソ科	カワミドリ	<i>Agastache rugosa</i> (Fisch. et C. A. Mey.) Kuntze				○
	キラソウ	<i>Ajuga decumbens</i> Thunb.	○	○	○	○
	ジュウニヒトエ	<i>Ajuga nipponensis</i> Makino			○	○
	ツクバキンモンソウ	<i>Ajuga yesoensis</i> Maxim. var. <i>tsukubana</i> Nakai			○	○
	クルマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> (Benth.) Kuntze subsp. <i>grandiflorum</i> (Maxim.) H. Hara var. <i>urticifolium</i> (Hance) Koidz	○	○	○	○
	ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hyl.	○	○	○	○
	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze			○	○
	イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) H. Hara	○	○	○	○
	ミヤマトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) H. Hara var. <i>sachalinense</i> (F. Schmidt) T. Yamaz. et Murata				○
	ヤマトウバナ	<i>Clinopodium multicaule</i> (Maxim.) Kuntze				○
	ヒロハヤマトウバナ	<i>Clinopodium multicaule</i> (Maxim.) Kuntze var. <i>latifolium</i> H. Hara			○	
	カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> L. subsp. <i>grandis</i> (A.Gray) H. Hara	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(シソ科)	ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô	○	○	○	○
	ヒキオコシ	<i>Isodon japonicus</i> (Burm.f.) H. Hara		○	○	○
	カメバヒキオコシ	<i>Isodon umbrosus</i> (Maxim.) H. Hara var. <i>leucanthus</i> (Murai) K. Asano f. <i>kameba</i> (Okuyama) K. Asano			○	○
	ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i> L.	○	○	○	
	オドリコソウ	<i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Siebold et Zucc.) Franch. et Sav.	○	○		
	モミジバヒメオドリコソウ	<i>Lamium hybridum</i> Vill.	○	○		
	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i> L.	○	○	○	
	テンニンソウ	<i>Leucosceptrum japonicum</i> (Miq.) Kitam. et Murata	○	○	○	○
	ヒメシロネ	<i>Lycopus maackianus</i> (Maxim.) Makino		○		○
	エゾシロネ	<i>Lycopus uniflorus</i> Michx.		○		○
	アカジソ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Thunb.) H. Deane f. <i>purpurea</i> (Makino) Makino		○	○	
	アオジソ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Thunb.) H. Deane f. <i>viridis</i> (Makino) Makino			○	
	エゴマ	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>			○	
	ミズネコノオ	<i>Pogostemon stellatus</i> (Lour.) Kuntze		○		
	ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) H. Hara	○	○	○	○
	アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i> Thunb.		○	○	
	キバナアキギリ	<i>Salvia nipponica</i> Miq.	○	○	○	○
	ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i> Maxim.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(シソ科)	タツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i> L.	○	○	○	○
	シソバタツナミ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz.				○
	トウゴクシソバタツナミ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz. var. <i>abbreviata</i> (H. Hara) H. Hara			○	○
	ヤマタツナミソウ	<i>Scutellaria pekinensis</i> Maxim. var. <i>transitra</i> (Makino) H. Hara		○	○	○
	イヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> Michx. var. <i>hispidula</i> (Regel) Vorosch	○		○	
	ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.	○	○	○	○
	ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i> Blume var. <i>miquelianum</i> (Maxim.) H. Hara			○	
	ラショウモンカズラ	<i>Meehania urticifolia</i> (Miq.) Makino			○	○
	ハッカ	<i>Mentha canadensis</i> L. var. <i>piperascens</i> (Malinv.) H. Hara	○	○		
	ヒメハッカ	<i>Mentha japonica</i> (Miq.) Makino				○
	ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i> (Buch.-Ham.) Maxim.	○	○	○	
	イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i> (Thunb.) C. Y. Wu et H. W. Li	○	○	○	
	ナス科	クコ	<i>Lycium chinense</i> Mill.		○	
オオセンナリ		<i>Nicandra physalodes</i> (L.) Gaertn.	○			
ホオズキ		<i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Mast.) Makino	○	○	○	
アオホオズキ		<i>Physalidium japonicum</i> (Franch. et Sav.) Honda				○
ハシリドコロ		<i>Scopolia japonica</i> Maxim.				○
テリミノイヌホオズキ		<i>Solanum americanum</i> Mill.		○		
ワルナスビ		<i>Solanum carolinense</i> L.	○	○	○	
ヤマホロシ		<i>Solanum japonense</i> Nakai				○
ヒヨドリジョウゴ		<i>Solanum lyratum</i> Thunb.	○	○		
イヌホオズキ		<i>Solanum nigrum</i> L.		○	○	
アメリカイヌホオズキ		<i>Solanum ptychanthum</i> Dunal	○		○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ナス科)	ケイヌホオズキ	<i>Solanum sarrachoides</i> Sendtn.		○	○	
フジウツギ科	フジウツギ	<i>Buddleja japonica</i> Hemsl.		○		○
ゴマノハグサ科	サワトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) T. Yamaz.		○	○	○
	タチコゴメグサ	<i>Euphrasia maximowiczii</i> Wettst.				○
	ヤマウツボ (ゲンジウツボ)	<i>Lathraea japonica</i> Miq.				○
	ケヤマウツボ	<i>Lathraea japonica</i> Miq. var. <i>miqueliana</i> (Franch. et Sav.) Ohwi				○
	マツバウンラン	<i>Linaria canadensis</i> (L.) Dumort.	○	○		
	ウリクサ	<i>Lindernia crustacea</i> (L.) F. Muell.	○	○		
	タケトアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell subsp. <i>dubia</i>	○	○	○	
	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell subsp. <i>major</i> (Pursh) Pennell	○	○	○	
	アゼトウガラシ	<i>Lindernia micrantha</i> D. Don	○	○	○	
	アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i> (Krock.) Borbás	○	○	○	
	サギゴケ (ムラサキサギゴケ)	<i>Mazus miquelii</i> Makino	○	○	○	○
	ヤマサギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> Makino f. <i>rotundifolius</i> (Franch. et Sav.) T. Yamaz.				○
	トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i> (Burm. f.) Steenis	○	○	○	○
	ミヤマママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> Miq. var. <i>nikkoense</i> Beauverd				○
	ママコナ	<i>Melampyrum roseum</i> Maxim. var. <i>japonicum</i> Franch. et Sav.		○	○	○
	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i> (Thunb.) Steud.	○	○	○	○
	シオガマガク	<i>Pedicularis resupinata</i> L. subsp. <i>oppositifolia</i> (Miq.) T. Yamaz.		○		○
	キヨスミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i> Siebold et Zucc.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ゴマノハグサ科)	コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz	○	○	○	
	ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i> Miq.			○	
	オオヒナノウスツボ (ヒナノウスツボ)	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.				○
	ビロードモウズイカ	<i>Verbascum thapsus</i> L.	○	○	○	○
	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	○			
	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.	○	○	○	
	フラサバソウ	<i>Veronica hederifolia</i> L.	○			
	ヤマクワガタ	<i>Veronica japonensis</i> Makino				○
	クワガタソウ	<i>Veronica miqueliana</i> Nakai				○
	ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i> L.		○		
	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i> Poir.	○	○	○	
	コテングクワガタ	<i>Veronica serpyllifolia</i> L. subsp. <i>serpyllifolia</i>				○
	クガイソウ	<i>Veronicastrum japonicum</i> (Nakai) T. Yamaz.			○	
ノウゼンカズラ科	ノウゼンカズラ	<i>Campsis grandiflora</i> (Thunb.) K. Schum.		○		
	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i> G. Don	○	○	○	
キツネノマゴ科	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>procumbens</i>	○	○	○	
イワタバコ科	イワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i> Siebold et Zucc.			○	○
	ケイワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i> Siebold et Zucc. var. <i>pilosus</i> Makino				○
ハマウツボ科	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i> L.		○	○	
	オオナンバンギセル	<i>Aeginetia sinensis</i> G. Beck			○	○
	ヤセウツボ	<i>Orobanche minor</i> Sm.				○
タヌキモ科	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i> R. Br.				○
	ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i> Vahl				○
ハエドクソウ科	ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam.	○	○	○	○
	ナガバハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H. Hara) Kitam. f. <i>oblongifolia</i> (Koidz.) Ohwi	○	○	○	○
オオバコ目						
オオバコ科	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L.	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(オオバコ科)	ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i> L.	○	○	○	○
	ツボミオオバコ	<i>Plantago virginica</i> L.				○
マツムシソウ目						
スイカズラ科	ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zucc.			○	
	ベニバナノツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zucc. var. <i>sanguinea</i> Makino			○	○
	ミヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>glandulosa</i> Maxim.	○	○	○	○
	ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i>		○	○	
	スイカズラ (ニンドウ)	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.	○	○	○	
	チチブヒョウタンボク	<i>Lonicera ramosissima</i> Franch. et Sav. var. <i>ramosissima</i> f. <i>glabrata</i> (Nakai) H. Hara				○
	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H. Hara	○	○	○	○
	ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	○	○	○	○
	コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i> Thunb.		○		
	オオカメノキ (ムシカリ)	<i>Viburnum furcatum</i> Blume			○	○
	カンボク	<i>Viburnum opulus</i> L. var. <i>sargentii</i> (Koehne) Takeda				○
	オトコヨウゾメ	<i>Viburnum phlebotrimum</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	○
	ヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> Thunb. var. <i>tomentosum</i> Miq.	○		○	○
	ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> Miq.			○	○
	オオミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> Miq. var. <i>stipellatum</i> Nakai			○	○
	ニシキウツギ	<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai		○		○
	シロバナニシキウツギ	<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai f. <i>nivea</i> Sugim.		○	○	
	ベニバナニシキウツギ	<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai f. <i>unicolor</i> (Nakai) H. Hara		○	○	
	キバナウツギ	<i>Weigela maximowiczii</i> (S. Moore) Rehder				○
	タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i> (Siebold et Zucc.) K. Koch			○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
レンプクソウ科	レンプクソウ	<i>Adoxa moschatellina</i> L.	○		○	
オミナエシ科	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch.		○		○
	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	○	○	○	○
	ノヂシャ	<i>Valerianella locusta</i> (L.) Laterr.	○			
マツムシソウ科	ナベナ	<i>Dipsacus japonicus</i> Miq.			○	○
	マツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i> Miq				○
キキョウ目						
キキョウ科	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i> (Siebold et Zucc.) Miq.		○		○
	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A. DC. var. <i>japonica</i> (Regel)H. Hara	○	○	○	○
	シデシャジン	<i>Asyneuma japonicum</i> (Miq.) Briq.			○	○
	ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> Lam.				○
	ツルニンジン (ジイソブ)	<i>Codonopsis lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Trautv.	○		○	○
	バアソブ	<i>Codonopsis ussuriensis</i> (Rupr. et Maxim.) Hemsl.		○		○
	ミゾカクシ (アゼムシロ)	<i>Lobelia chinensis</i> Lour.	○	○	○	
	サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lamb				○
	タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosa</i> (Wall.) Hook. f. et Thomson			○	○
	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A. DC.				○
キク科	セイヨウノコギリソウ	<i>Achillea millefolium</i> L.				○
	ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	○	○	○	○
	マルバフジバカマ	<i>Ageratina altissima</i> (L.) R. M. King et H. Rob.	○	○	○	○
	モミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch. Bip. var. <i>acerifolia</i>				○
	オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch. Bip. var. <i>subapoda</i> Nakai	○	○	○	○
	キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i> Sch. Bip	○	○	○	○
	テイショウソウ	<i>Ainsliaea cordifolia</i> Franch. et Sav.			○	○
	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.	○	○	○	○
	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.	○	○	○	



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キク科)	カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook. f. subsp. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	○	○	○	
	ヤマハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook. f. subsp. <i>margaritacea</i>				○
	カワラヨモギ	<i>Artemisia capillaris</i> Thunb.	○	○	○	○
	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H. Hara	○	○	○	○
	オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i> Thunb.		○	○	○
	イヌヨモギ	<i>Artemisia keiskeana</i> Miq.			○	○
	ヒメヨモギ	<i>Artemisia lancea</i> Vaniot				○
	オオヨモギ	<i>Artemisia montana</i> (Nakai) Pamp.				○
	イワヨモギ	<i>Artemisia sacrorum</i> Ledeb.				○
	シロヨメナ (ヤマシロギク)	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. var. <i>ageratoides</i>	○	○	○	○
	ゴマナ	<i>Aster glehnii</i> F. Schmidt var. <i>hondoensis</i> Kitam.		○		○
	ユウガギク	<i>Aster iinumae</i> Kitam.	○	○	○	
	カワラノギク	<i>Aster kantoensis</i> Kitam.		○	○	
	ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> (Miq.) Franch. et Sav. var. <i>ovatus</i> (Franch. et Sav.) Soejima et Mot.Ito	○	○	○	○
	ヤマシロギク (イナカギク)	<i>Aster semiamplexicaulis</i> (Makino) Makino			○	
	シラヤマギク	<i>Aster scaber</i> Thunb.	○	○	○	○
	ヒロハホウキギク	<i>Aster subulatus</i> Michx. var. <i>sandwicensis</i> (A. Gray et H. Mann) A. G. Jones				○
	シオン	<i>Aster tataricus</i> L. f.				○
	カントウヨメナ	<i>Aster yomena</i> (Kitam.) Honda var. <i>dentatus</i> (Kitam.) H. Hara	○	○	○	
	オケラ	<i>Atractylis ovata</i> Thunb.		○		○
センダングサ	<i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merr et Sherff	○	○	○	○	
アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i> L.	○	○	○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キク科)	コシロノセンダングサ (シロノセンダングサ)	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff	○	○	○	
	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	○	○	○	
	タウコギ	<i>Bidens tripartita</i> L.	○	○	○	○
	ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i> L.		○	○	○
	ガンクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i> Siebold et Zucc.	○		○	○
	ノッポロガンクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i> Siebold et Zucc. var. <i>matsuei</i> (Tatew. et Kitam.) Kitam.				○
	サジガンクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i> Maxim.		○	○	
	オオガンクビソウ	<i>Carpesium macrocephalum</i> Franch. et Sav.			○	
	ミヤマヤブタバコ	<i>Carpesium triste</i> Maxim.				○
	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i> (L.) A. Braun et Asch.	○	○	○	○
	ノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i> Fisch.			○	○
	アズマヤマアザミ	<i>Cirsium microspicatum</i> Nakai var. <i>microspicatum</i>				○
	トネアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam.	○		○	○
	オニアザミ	<i>Cirsium nipponense</i> (Nakai) Koidz.				○
	ナンブアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>nipponicum</i>				○
	ノハラアザミ	<i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum.	○	○	○	○
	タカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i> Fisch.	○	○	○	○
	ヒメムカシヨモギ	<i>Conyza canadensis</i> (L.) Cronquist	○	○	○	
	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) E. Walker	○	○	○	
	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i> L.	○	○	○	○
	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.	○		○	
	コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i> Cav.	○	○		
	ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S. Moore	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キク科)	ヤクシソウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i> (Houtt.) J. H. Pak et Kawano	○	○	○	○
	アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	○	○		
	タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i> Bunge	○	○	○	○
	ダンドボロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> (L.) Raf.	○	○	○	○
	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	○	○	○	○
	ヘラバヒメジョオン	<i>Erigeron strigosus</i> Muhl.			○	○
	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	○	○	○	○
	アズマギク	<i>Erigeron thunbergii</i> A. Gray subsp. <i>thunbergii</i>				○
	サワヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i> DC. var. <i>lindleyanum</i>	○			
	ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> T. Kawahara et Yahara	○	○	○	○
	ヨツバヒヨドリ	<i>Eupatorium glehnii</i> F. Schmidt				○
	ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.	○	○	○	○
	チチコグサモドキ	<i>Gamochaeta pensylvanicum</i> Willd.	○	○	○	○
	ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i> D. Don	○	○	○	
	チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i> Thunb.		○	○	
	ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i> Lam.		○		
	エダウチチチコグサ	<i>Gnaphalium sylvaticum</i> L.		○		
	ククイモ	<i>Helianthus tuberosus</i> L.	○	○	○	○
	キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i> Bunge	○	○	○	
	ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i> L.		○	○	
	カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatic</i> Kitam				○
	ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev	○	○	○	○
	シロバナニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>nipponicum</i> (Nakai) J. H. Pak et Kawano var. <i>albiflorum</i> (Makino)			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キク科)	ハナニガナ (オオバナニガナ)	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>nipponicum</i> (Nakai) J. H. Pak et Kawano var. <i>albiflorum</i> (Makino) f. <i>amplifolium</i> (Kitam.)			○	○
	オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i> (Burm. f.) Nakai	○	○	○	
	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.		○		
	イワニガナ (ジシバリ)	<i>Ixeris stolonifera</i> A. Gray	○	○	○	○
	カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i> (Makino) Kitam.	○	○	○	
	アキノノゲシ (ホソバアキノノゲシ)	<i>Lactuca indica</i> L.	○	○	○	○
	ヤマニガナ	<i>Lactuca raddeana</i> Maxim. var. <i>elata</i> (Hemsl.) Kitam.		○	○	○
	トゲチシャ	<i>Lactuca serriola</i> L.		○		
	ケムラサキニガナ	<i>Lactuca sororia</i> Miq. var. <i>pilipes</i> (Migo) Kitam.			○	
	コオニタビラコ (タビラコ)	<i>Lapsanastrum apogonoides</i> (Maxim.) J. H. Pak et K. Bremer	○	○	○	
	ヤブタビラコ	<i>Lapsanastrum humile</i> (Thunb.) J. H. Pak et K. Bremer		○	○	
	センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i> (L.) Turcz.	○	○	○	○
	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i> Lam.				○
	マルバダケブキ	<i>Ligularia dentata</i> (A. Gray) H. Hara			○	○
	オタカラコウ	<i>Ligularia fischeri</i> (Ledeb.) Turcz.			○	○
	メタカラコウ	<i>Ligularia stenocephala</i> (Maxim.) Matsum. et Koidz.	○		○	○
	オオモミジガサ	<i>Miricacalia makinoana</i> (Yatabe) Kitam.				○
	サワギク	<i>Nemosenecio nikoensis</i> (Miq.) B. Nord.			○	○
	カニコウモリ	<i>Parasenecio adenostyloides</i> (Franch. et Sav.) H. Koyama				○
	モミジガサ (シドケ)	<i>Parasenecio delphiniifolius</i> (Siebold et Zucc.) H. Koyama		○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キク科)	タマブキ	<i>Parasenecio farfarifolius</i> (Siebold et Zucc.) H. Koyama var. <i>bulbifer</i> (Maxim.) H. Koyama	○		○	○
	ウスゲタマブキ	<i>Parasenecio farfarifolius</i> (Siebold et Zucc.) H. Koyama var. <i>farfarifolius</i>			○	
	ニッコウコウモリ	<i>Parasenecio hastatus</i> (L.) H. Koyama subsp. <i>orientalis</i> (Kitam.) H. Koyama var. <i>nantaicus</i> (Komatsu) H. Koyama				○
	コウモリソウ	<i>Parasenecio</i> <i>maximowiczianus</i> (Nakai et F. Maek.) H. Koyama			○	
	ヤマタイミンガサ (タイミンガサモドキ)	<i>Parasenecio yatabei</i> (Matsum. et Koidz.) H. Koyama			○	○
	クルマバハグマ	<i>Pertya rigidula</i> (Miq.) Makino		○	○	○
	ナガバノコウヤボウキ	<i>Pertya glabrescens</i> Sch. Bip.			○	○
	コウヤボウキ	<i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch. Bip.	○	○	○	○
	フキ	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	○	○	○	○
	コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov	○	○	○	○
	フクオウソウ	<i>Prenanthes acerifolia</i> (Maxim.) Matsum.	○		○	○
	アラゲハンゴンソウ (キヌガサギク)	<i>Rudbeckia hirta</i> L. var. <i>sericea</i> (T. V. Moore) Fernald			○	○
	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i> L.	○	○	○	○
	ハナガサギク (ヤエザ キオオハンゴンソウ)	<i>Rudbeckia laciniata</i> L. 'Hortensis'	○	○	○	
	シラネアザミ	<i>Saussurea nikoensis</i> Franch. et Sav.				○
	ハンゴンソウ	<i>Senecio cannabifolius</i> Less.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(キク科)	アサマヒゴタイ (セン ダイトウヒレン)	<i>Saussurea nipponica</i> Miq. subsp. <i>savatieri</i> (Franch.) Kitam.			○	○
	キオン	<i>Senecio nemorensis</i> L.				○
	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i> L.	○	○	○	○
	コメナモミ	<i>Sigesbeckia glabrescens</i> (Makino) Makino			○	○
	メナモミ	<i>Sigesbeckia pubescens</i> (Makino) Makino	○	○	○	○
	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	○	○	○	
	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> Aiton subsp. <i>serotina</i> (Kuntze) Mc Neill	○	○	○	
	アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) Kitam.	○	○	○	○
	ミヤマアキノキリンソ ウ (コガネギク)	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>leiocarpa</i> (Benth.) Hultén				○
	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	○	○	○	
	ノゲシ (ハルノノゲシ)	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	○	○	○	
	ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i> (Thunb.) Maxim.			○	○
	オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i> (Franch. et Sav.) Kitam.		○	○	○
	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber	○	○	○	○
	アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i> (Willd.) DC.	○	○		
	オクウスギタンポポ (ナンブシロタンポ ポ)	<i>Taraxacum denudatum</i> H. Koidz.			○	
	カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst.	○		○	
	エゾタンポポ	<i>Taraxacum venustum</i> H. Koidz.	○	○		○
	コウリンカ	<i>Tephrosieris flammea</i> (Turcz.) Holub subsp. <i>glabrifolia</i> (Cufod.) B. Nord.				○
	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i> Bertol.	○	○	○	
オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	○	○	○	○	

(5) 種子植物 (被子植物門・単子葉植物綱)

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
イバラモ目						
オモダカ科	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i> A. Braun et C. D. Bouché	○	○	○	○
	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i> L.	○	○	○	○
トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i> (Planch.) St. John	○	○		
ヒルムシロ科	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i> Fieber			○	
	エビモ	<i>Potamogeton crispus</i> L.	○			
	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i> A. Benn.			○	
	フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i> A. Benn.	○			○
	オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i> L.				○
	ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i> Poir. var. <i>octandrus</i>				○
ユリ目						
ユリ科	ネバリノギラン	<i>Aletris foliata</i> (Maxim.) Bureau et Franch.			○	○
	ノギラン	<i>Aletris luteoviridis</i> (Maxim.) Franch.	○	○	○	○
	ノビル	<i>Allium macrostemon</i> Bunge	○	○	○	
	ヒメニラ	<i>Allium monanthum</i> Maxim.	○		○	○
	ヤマラッキョウ	<i>Allium thunbergii</i> G. Don		○	○	
	ギョウジャニンニク	<i>Allium victorialis</i> L. subsp. <i>platyphyllum</i> Hultén				○
	アマナ	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda	○		○	
	キジカクシ	<i>Asparagus schoberioides</i> Kunth		○	○	○
	ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○
	オオウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino var. <i>glehnii</i> (F. Schmidt) H. Hara				○
	ツバメオモト	<i>Clintonia udensis</i> Trautv. et C. A. Mey.				○
	スズラン	<i>Convallaria majalis</i> L. var. <i>manshurica</i> Kom.				○
	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i> D. Don	○	○	○	○
	チゴユリ (エダウチチゴユリ)	<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ユリ科)	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	○	○	○	○
	ヒメアマナ	<i>Gagea japonica</i> Pascher				○
	キバナノアマナ	<i>Gagea lutea</i> (L.) Ker Gawl.			○	○
	ショウジョウバカマ	<i>Helonias orientalis</i> (Thunb.) N. Tanaka		○	○	○
	ゼンテイカ (ニッコウ キスゲ)	<i>Hemerocallis dumortieri</i> C. Morren var. <i>esculenta</i> (Koidz.) Kitam.	○	○	○	○
	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>disticha</i> (Donn) M. Hotta	○	○	○	○
	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel	○	○	○	○
	イワギボウシ	<i>Hosta longipes</i> (Franch. et Sav.) Matsum.			○	○
	トウギボウシ (オオバ ギボウシ)	<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engl.		○	○	○
	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J. W. Ingram f. <i>lancifolia</i> (Miq.) H. Hara	○	○	○	○
	ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> Lindl.	○	○	○	○
	タカサゴユリ	<i>Lilium formosanum</i> A. Wallace	○	○	○	
	コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> Hook. f. f. <i>pseudotigrinum</i> (Carr.) H. Hara et Kitam.	○	○	○	○
	クルマユリ	<i>Lilium medeoloides</i> A. Gray				○
	ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	○	○	○	○
	ヤブラン	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L. H. Bailey	○	○	○	
	ホソバナノアマナ	<i>Lloydia triflora</i> (Ledeb.) Baker			○	○
	マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i> (A. W. Wood) A. Nelson et J. F. Macbr.		○		○
	ジャノヒゲ (リュウノ ヒゲ)	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl.	○	○	○	
	ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>umbrosus</i> Maxim.	○	○	○	○



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ユリ科)	オオバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i> Nakai	○	○	○	
	ツクバネソウ	<i>Paris tetraphylla</i> A. Gray			○	○
	ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray		○	○	○
	ワニグチソウ	<i>Polygonatum involucreatum</i> (Franch. et Sav.) Maxim.			○	○
	ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.	○	○	○	○
	オオナルコユリ	<i>Polygonatum macranthum</i> (Maxim.) Koidz.			○	○
	アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi		○	○	○
	キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i> (Andrews) Kunth	○	○	○	
	オモト	<i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth	○	○	○	
	ツルボ	<i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce		○	○	
	ユキザサ	<i>Smilacina japonica</i> A. Gray	○		○	○
	ヤマトユキザサ (オオ バユキザサ)	<i>Smilacina viridiflora</i> Nakai			○	○
	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> L.	○	○	○	○
	タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i> Miq.	○	○	○	
	シオデ	<i>Smilax riparia</i> A. DC.		○	○	○
	ヤマカシュウ	<i>Smilax sieboldii</i> Miq.	○	○	○	○
	マルバサンキライ	<i>Smilax stans</i> Maxim.		○	○	○
	タケシマラン	<i>Streptopus streptopoides</i> (Ledeb.) Frye et Rigg subsp. <i>japonicus</i> (Maxim.) Utech et Kawano				○
	ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i> Makino	○	○	○	○
	タマガワホトトギス	<i>Tricyrtis latifolia</i> Maxim.		○	○	○
	エンレイソウ	<i>Trillium apetalon</i> Makino			○	○
	ミヤマエンレイソウ (シロバナエンレイソ ウ)	<i>Trillium tschonoskii</i> Maxim.				○
	バイケイソウ	<i>Veratrum album</i> L. subsp. <i>oxysepalum</i> (Turcz.) Hultén		○	○	○
	コバイケイソウ (コバ イケイ)	<i>Veratrum stamineum</i> Maxim.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ユリ科)	オオシュロソウ (シュロソウ)	<i>Veratrum maackii</i> Regel var. <i>japonicum</i> (Baker) T. Shimizu		○	○	
	アオヤギソウ	<i>Veratrum maackii</i> Regel var. <i>parviflorum</i> (Maxim.) H. Hara	○			○
ヒガンバナ科	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i> (L'Hér.) Herb.	○	○	○	
	キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i> Maxim.		○	○	○
	ナツズイセン	<i>Lycoris</i> × <i>squamigera</i> Maxim.		○		○
ヤマノイモ科	タチドコロ	<i>Dioscorea gracillima</i> Miq.	○	○	○	
	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	○	○	○	○
	ウチワドコロ	<i>Dioscorea nipponica</i> Makino			○	○
	カエデドコロ	<i>Dioscorea quinquelobata</i> Thunb.		○		○
	キクバドコロ (モミジドコロ)	<i>Dioscorea septemloba</i> Thunb.			○	○
	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino		○	○	○
ミズアオイ科	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm. f.) C. Presl	○	○	○	
アヤメ科	ヒオウギ	<i>Belamcanda chinensis</i> (L.) DC.			○	
	ヒメヒオウギズイセン (モントブレチア)	<i>Crocasmia</i> × <i>crocosmiflora</i> (Lemoine) N. E. Br.	○	○	○	
	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai		○		○
	ヒメシャガ	<i>Iris gracilipes</i> A. Gray				○
	シャガ	<i>Iris japonica</i> Thunb.	○		○	○
	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i> L.	○	○	○	○
	ルリニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium graminoides</i> E. P. Bicknell	○	○	○	
	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i> E. P. Bicknell	○	○	○	
イグサ目						
イグサ科	イグサ (イ)	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai			○	○
	ヒメイ	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai f. <i>gracilis</i> (Buchenau) Satake				○
	タチコウガイゼキショウ	<i>Juncus krameri</i> Franch. et Sav.			○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イグサ科)	ニッコウコウガイゼキ ショウ	<i>Juncus nikkoensis</i> Satake				○
	コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> R. Br. subsp. <i>leschenaultii</i> (J. Gay) Kirschner	○		○	○
	ホソイ	<i>Juncus setchuensis</i> Buchenau var. <i>effusoides</i> Buchenau				○
	クサイ	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	○	○	○	○
	スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq.	○	○	○	○
	ヤマスズメノヒエ (ヤ マスズメノヤリ)	<i>Luzula multiflora</i> (Ehrh.) Lejeune				○
	ヌカボシソウ	<i>Luzula plumosa</i> E. Mey. subsp. <i>plumosa</i>				○
ツユクサ目						
ツユクサ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i> L.	○	○	○	○
	イボクサ	<i>Murdannia keisak</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	○	○	○	
	ヤブミョウガ	<i>Pollia japonica</i> Thunb.		○	○	
	ムラサキツユクサ	<i>Tradescantia ohimensis</i> Raf.	○	○	○	
ホシクサ科	ヒロハノイヌノヒゲ (ヒロハイヌノヒゲ)	<i>Eriocaulon alpestre</i> Hook. f. et Thomson var. <i>robustius</i> Maxim.		○		○
	クロイヌノヒゲモドキ	<i>Eriocaulon atroides</i> Satake				○
イネ目						
イネ科	ヒメヌカボ	<i>Agrostis canina</i> L.				○
	ヤマヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>clavata</i>		○		
	ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>matsumurae</i> (Hack.) Tateoka		○	○	○
	コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i> Roth	○	○	○	○
	スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Kom.) Ohwi	○	○	○	○
	オオスズメノテッポウ	<i>Alopecurus pratensis</i> L.			○	○
	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i> L.	○	○	○	○
	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L.	○	○	○	○
	ケナシハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L. var. <i>alpinum</i> Max et Uechtr.	○			
	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	○	○	○	○
	トダシバ	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イネ科)	オートムギ (マカラスムギ、エンバク)	<i>Avena sativa</i> L.	○			
	コウヤザサ	<i>Brachyelytrum japonicum</i> (Hack.) Hack.			○	
	ヤマカモジグサ	<i>Brachypodium sylvaticum</i> (Huds.) P. Beauv.		○	○	○
	コバンソウ	<i>Briza maxima</i> L.		○	○	
	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl	○	○	○	
	キツネガヤ	<i>Bromus remotiflorus</i> (Steud.) Ohwi		○	○	○
	ウマノチャヒキ	<i>Bromus tectorum</i> L.		○		
	ホガエリガヤ	<i>Brylkinia caudata</i> (Munro) F. Schmidt	○		○	○
	ノガリヤス (サイトウガヤ)	<i>Calamagrostis brachytricha</i> Steud.	○	○	○	
	ヤマアワ	<i>Calamagrostis epigeios</i> (L.) Roth				○
	ヒメノガリヤス	<i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. et Sav.		○	○	○
	ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudophragmites</i> (Hallier f.) Koeler		○	○	
	ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i> L.	○		○	
	オガルカヤ	<i>Cymbopogon tortilis</i> (J. Presl) Hitchc. var. <i>goeringii</i> (Steud.) Hand.-Mazz.	○		○	
	ギョウギシバ (バミューダグラス)	<i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers.			○	
	カモガヤ (オーチャードグラス)	<i>Dactylis glomerata</i> L.	○	○	○	○
	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler	○	○	○	○
	コメヒシバ	<i>Digitaria radicata</i> (C. Presl) Miq.		○		
	アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i> Link	○	○	○	
	カリマタガヤ	<i>Dimeria ornithopoda</i> Trin. var. <i>tenera</i> (Trin.) Hack.			○	○
アブラスキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) A. Camus			○	○	
ケイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P. Beauv. var. <i>aristata</i> Gray	○				

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イネ科)	イヌビエ (ノビエ)	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P. Beauv. var. <i>crus-galli</i>	○	○	○	○
	ヒメイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P. Beauv. var. <i>praticola</i> Ohwi		○		
	タイヌビエ	<i>Echinochloa oryzicola</i> (Vasing.) Vasing.	○	○	○	○
	オヒシバ	<i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.	○	○	○	
	エゾカモジグサ	<i>Elymus nipponicus</i> Jaaska			○	
	アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev	○	○	○	
	タチカモジ	<i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev var. <i>japonensis</i> (Honda) Osada	○		○	○
	カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada	○	○	○	
	シバムギ	<i>Elytrigia repens</i> (L.) Desv.			○	
	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i> (Schrad.) Nees	○	○	○	○
	カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) P. Beauv.	○	○	○	○
	ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.	○	○	○	○
	オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i> (L.) P. Beauv.			○	
	ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i> (Thunb.) Kunth		○	○	
	オニウシノケグサ (トールフェク)	<i>Festuca arundinacea</i> Schreb.	○	○	○	○
	トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i> Steud.			○	○
	イトウシノケグサ (チュウイングフェスク)	<i>Festuca rubra</i> L. var. <i>commutata</i> Gaudin		○		○
	オオウシノケグサ (レッドフェスク)	<i>Festuca rubra</i> L. var. <i>rubra</i>			○	○
	ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyronoura</i> Steud.			○	
	ウシノシッペイ	<i>Hemarthria sibirica</i> (Gandog.) Ohwi		○	○	
コウボウ	<i>Hierochloa glabra</i> Trin. subsp. <i>sachalinensis</i> (Printz) Tzvelev			○	○	
シラゲガヤ (ベルベツトグラス)	<i>Holcus lanatus</i> L.	○	○	○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イネ科)	チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg	○	○	○	○
	チゴザサ	<i>Isachne globosa</i> (Thunb.) Kuntze	○			○
	チョウセンガリヤス	<i>Kengia hackelii</i> (Honda) J. G. Packer			○	
	サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i> Ohwi			○	○
	アゼガヤ	<i>Leptochloa chinensis</i> (L.) Nees		○	○	
	ネズミムギ (イタリア ンライグラス)	<i>Lolium multiflorum</i> Lam.	○	○	○	○
	ホソムギ (ペレニアル ライグラス)	<i>Lolium perenne</i> L.	○	○	○	○
	ドクムギ	<i>Lolium temulentum</i> L.	○	○		
	ササクサ	<i>Lophatherum gracile</i> Brongn.			○	
	コメガヤ	<i>Melica nutans</i> L.			○	
	ササガヤ	<i>Microstegium japonicum</i> (Miq.) Koidz.	○	○	○	○
	アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A. Camus	○	○	○	○
	ヒメアシボソ	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A. Camus f. <i>willdenowianum</i> (Nees) Osada			○	
	オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.			○	
	ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	○	○	○	○
	ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i> (Hack.) Hayata				○
	ミヤマネズミガヤ	<i>Muhlenbergia curviaristata</i> (Ohwi) Ohwi var. <i>nipponica</i> Ohwi			○	○
	タチネズミガヤ	<i>Muhlenbergia hakonensis</i> (Hack.) Makino			○	
	オオネズミガヤ	<i>Muhlenbergia huegelii</i> Trin.			○	○
	ネズミガヤ	<i>Muhlenbergia japonica</i> Steud.			○	○
タツノヒゲ	<i>Neomolinia japonica</i> (Franch. et Sav.) Honda			○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イネ科)	チヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult.	○	○	○	○
	ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>undulatifolius</i>			○	
	コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>japonicus</i> (Steud.) Koidz.			○	
	ニコゲヌカキビ	<i>Panicum acuminatum</i> Sw.	○	○	○	○
	ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.	○	○	○	○
	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	○	○	○	
	スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i> Kunth	○	○	○	○
	チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.	○	○	○	○
	クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i> L.	○	○	○	○
	カナリークサヨシ (リ ードカナリーグラス)	<i>Phalaris canariensis</i> L.		○	○	
	オオアワガエリ (チモ シー)	<i>Phleum pratense</i> L.	○		○	○
	ヨシ (アシ)	<i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin.	○	○	○	○
	ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i> Steud.	○	○	○	
	ホテイチク	<i>Phyllostachys aurea</i> Carr.		○		
	マダケ	<i>Phyllostachys bambusoides</i> Siebold et Zucc.	○	○	○	
	モウソウチク	<i>Phyllostachys heterocycla</i> (Carri.) Matsum.	○	○	○	○
	ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>henonis</i> (Bean) Stapf			○	
	クロチク	<i>Phyllostachys nigra</i> (Lodd.) Munro var. <i>nigra</i>	○		○	
	ネザサ	<i>Pleiblastus argenteostriatus</i> (Regel) Nakai f. <i>glaber</i> (Makino) Murata			○	○
	アズマネザサ	<i>Pleiblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	○	○	○	○
	スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.		○		
	ツルスズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L. var. <i>reptans</i> Hausskn.	○	○	○	
	イチゴツナギ	<i>Poa ochotensis</i> Trin.				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イネ科)	ヌマイチゴツナギ	<i>Poa palustris</i> L.				○
	ナガハグサ (ケンタッキープルーグラス)	<i>Poa pratensis</i> L.	○	○	○	○
	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i> L.				○
	ムカゴツヅリ	<i>Poa tuberifera</i> Faurie				○
	ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i> Nees			○	
	ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i> (Siebold et Zucc.) Makino	○		○	
	ラッキョウヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i> (Siebold et Zucc.) Makino var. <i>tsutsumiana</i> Yanagita		○		
	ハイヌメリグサ	<i>Sacciolepis indica</i> (L.) Chase var. <i>indica</i>		○	○	
	アキウネマ加里	<i>Sasa akiuensis</i> (Sad.Suzuki) Sad. Suzuki		○		
	スズタケ	<i>Sasa borealis</i> (Hack.) Makino et Shibata			○	○
	チシマザサ	<i>Sasa kurilensis</i> (Rupr.) Makino et Shibata			○	
	ミヤコザサ	<i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino et Shibata	○		○	○
	チマキザサ	<i>Sasa palmata</i> (Lat.-Marl.) E. G. Camus				○
	クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i> (Franch. et Sav.) Rehder				○
	ミナカミザサ	<i>Sasa senanensis</i> (Franch. et Sav.) Rehder var. <i>harae</i> (Nakai) Sad. Suzuki				○
	クマザサ	<i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehder		○		
	アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino			○	
	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> R. A. W. Herrm.	○	○	○	○
	キンエノコロ	<i>Setaria glauca</i> (L.) P. Beauv.	○	○	○	○
	コツブキンエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i> (Schumach.) Stapf et C. E. Hubb.	○	○	○	
エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P. Beauv.	○	○	○		
カタバエノコログサ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P. Beauv. f. <i>japonica</i> (Koidz.) Ohwi			○		



科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(イネ科)	ムラサキエノコロ	<i>Setaria viridis</i> (L.) P. Beauv. f. <i>miseria</i> Honda	○	○	○	
	オオエノコロ	<i>Setaria</i> × <i>pycnocoma</i> (Steud.) Henrard	○			
	オカメザサ	<i>Shibataea kumasasa</i> (Zoll.) Nakai	○	○		
	セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers.		○		
	ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i> (Steud.) Clayton		○	○	○
	ヒゲシバ	<i>Sporobolus japonicus</i> (Steud.) Maxim.		○	○	
	メガルカヤ	<i>Themeda triandra</i> Forssk. var. <i>japonica</i> (Willd.) Makino	○		○	
	カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i> (Thunb.) Ohwi			○	○
	ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> (L.) C. C. Gmel.	○	○	○	
	シバ	<i>Zoysia japonica</i> Steud.	○	○	○	○
ヤシ目						
ヤシ科	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl.	○	○	○	○
	トウジュロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i> Hort.		○		
サトイモ目						
サトイモ科	セキショウ	<i>Acorus gramineus</i> Sol.	○	○	○	
	ヒトツバテンナンショウ	<i>Arisaema monophyllum</i> Nakai				○
	ヒロハテンナンショウ	<i>Arisaema ovale</i> Nakai var. <i>sadoense</i> (Nakai) J. Murata				○
	マムシグサ	<i>Arisaema serratum</i> (Thunb.) Schott	○	○	○	○
	ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> Blume subsp. <i>urashima</i> (H. Hara) H. Ohashi et J. Murata	○		○	
	ショウブ	<i>Acorus calamus</i> L.				○
	ミズバショウ	<i>Lysichiton camtschatcense</i> (L.) Schott				○
	カラスビシャク (ハンゲ)	<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	○	○	○	○
ウキクサ科	アオウキクサ	<i>Lemna auoukikusa</i> Beppu et Murata	○	○	○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ウキクサ科)	ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i> (L.) Schleid.			○	○
タコノキ目						
ミクリ科	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert	○			
ガマ科	ガマ	<i>Typha latifolia</i> L.	○	○	○	○
	コガマ	<i>Typha orientalis</i> C. Presl		○	○	
カヤツリグサ目						
カヤツリグサ科	イトハナビテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> (Wall.) Hand.-Mazz.		○	○	
	シラスゲ	<i>Carex alopecuroides</i> D. Don var. <i>chlorostachya</i> C. B. Clarke			○	
	エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	○		○	○
	メアオスゲ	<i>Carex leucochlora</i> Bunge var. <i>aphanandra</i> (Franch. et Sav.) T. Koyama			○	○
	ハリガネスゲ	<i>Carex capillacea</i> Boott				○
	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i> Boott				○
	ナルコスゲ	<i>Carex curvicollis</i> Franch. et Sav.				○
	イトスゲ	<i>Carex fernaldiana</i> H. Lév. et Vaniot			○	
	オクノカンスゲ	<i>Carex foliosissima</i> F. Schmidt				○
	ニッコウハリスゲ (ヒメタマスゲ)	<i>Carex fulva</i> Franch.				○
	マスクサ	<i>Carex gibba</i> Wahlenb.			○	
	クロヒナスゲ	<i>Carex gifuensis</i> Franch.			○	○
	ヒナスゲ	<i>Carex grallatoria</i> Maxim.			○	○
	ヤマアゼスゲ	<i>Carex heterolepis</i> Bunge				○
	ナガミショウジョウスゲ (ツクバスゲ)	<i>Carex blepharicarpa</i> Franch. var. <i>stenocarpa</i> Ohwi				○
	カワラスゲ	<i>Carex incisa</i> Boott			○	○
	ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i> Steud.			○	○
	ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i> Thunb.		○	○	○
	テキリスゲ	<i>Carex kiotensis</i> Franch. et Sav.			○	○
	ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i> Boott			○	○
	アズマスゲ	<i>Carex lasiolepis</i> Franch.			○	○
	アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i> Bunge				○
	ヤガミスゲ	<i>Carex maackii</i> Maxim.				○
	ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i> Miq.			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カヤツリグサ科)	ミタケスゲ	<i>Carex michauxiana</i> Boeck. subsp. <i>asiatica</i> (Hultén) Ohwi				○
	ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i> Boott				○
	カンスゲ	<i>Carex morrowii</i> Boott			○	○
	ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i> Ohwi			○	○
	ホソバオゼヌマスゲ	<i>Carex nemurensis</i> Franch.				○
	シバスゲ	<i>Carex nervata</i> Franch. et Sav.		○	○	
	ミコシガヤ	<i>Carex neurocarpa</i> Maxim.			○	
	ミノボロスゲ	<i>Carex nubigena</i> D. Don subsp. <i>albata</i> (Boott) T. Koyama		○		○
	ミヤマシラスゲ	<i>Carex olivacea</i> Boott subsp. <i>confertiflora</i> (Boott) T. Koyama				○
	ヤチカワズスゲ	<i>Carex omiana</i> Franch. et Sav. var. <i>omiana</i>				○
	ヒメスゲ	<i>Carex oxyandra</i> (Franch. et Sav.) Kudô		○		○
	コジュズスゲ	<i>Carex parciflora</i> Boott var. <i>macroglossa</i> (Franch. et Sav.) Ohwi			○	
	グレーンスゲ	<i>Carex parciflora</i> Boott var. <i>parciflora</i>				○
	ナガボノコジュズスゲ	<i>Carex parciflora</i> Boott var. <i>vaniotii</i> (H. Lév.) Ohwi				○
	ヒメゴウソ (アオゴウソ)	<i>Carex phacota</i> Spreng.		○		○
	タヌキラン	<i>Carex podogyna</i> Franch. et Sav.				○
	イトアオスゲ	<i>Carex puberula</i> Boott				○
	コカンスゲ	<i>Carex reinii</i> Franch. et Sav.				○
	シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i> Maxim.				○
	クサスゲ	<i>Carex rugata</i> Ohwi		○		
	ツルカミカワスゲ	<i>Carex sabynensis</i> Less. var. <i>rostrata</i> (Maxim.) Ohwi				○
	オオイトスゲ (シロイトスゲ)	<i>Carex sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi		○		○
	コイトスゲ	<i>Carex sachalinensis</i> F. Schmidt var. <i>iwakiana</i> Ohwi		○	○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カヤツリグサ科)	アブラシバ	<i>Carex satsumensis</i> Franch. et Sav.	○	○		○
	アズマナルコ (ミヤマナルコ)	<i>Carex shimidzensis</i> Franch.			○	
	タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i> Hance	○	○	○	○
	ホソバカンスゲ	<i>Carex temnolepis</i> Franch.				○
	アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> Steud.				○
	オオアゼスゲ (エゾアゼスゲ)	<i>Carex thunbergii</i> Steud. var. <i>appendiculata</i> (Trautv. et C. A. Mey.) Ohwi				○
	オニナルコスゲ	<i>Carex vesicaria</i> L.				○
	チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i> Maxim.			○	
	ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>leiolepis</i> (Franch. et Sav.) T. Koyama	○	○	○	○
	クグガヤツリ	<i>Cyperus compressus</i> L.	○	○		
	タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i> L.	○	○	○	○
	シヨクヨウガヤツリ	<i>Cyperus esculentus</i> L.			○	
	ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i> R. Br.	○	○	○	
	アゼガヤツリ	<i>Cyperus flavidus</i> Retz.			○	○
	コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i> L.		○	○	
	カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i> Steud.	○	○	○	○
	ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i> Franch. et Sav.			○	
	カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i> Vahl			○	
	マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> (L.) Roem. et Schult. var. <i>longiseta</i> Svenson	○	○	○	○
	オオハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> D. Don var. <i>congesta</i>	○			
	ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> D. Don var. <i>japonica</i> (Miq.) T. Koyama				○
	ヒメハリイ	<i>Eleocharis kamtschatica</i> (C. A. Mey.) Kom. f. <i>kamtschatica</i>			○	
	オオヌマハリイ	<i>Eleocharis mamillata</i> H. Lindb. var. <i>cyclocarpa</i> Kitag.				○
シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i> Boeck.				○	
サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i> K. Koch				○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(カヤツリグサ科)	ワタスゲ	<i>Eriophorum vaginatum</i> L. subsp. <i>fauriei</i> (E. G. Camus) A. et D. Löve				○
	コアゼテンツキ	<i>Fimbristylis aestivalis</i> (Retz.) Vahl				○
	ヒメヒラテンツキ (ヒメテンツキ)	<i>Fimbristylis autumnalis</i> (L.) Roem. et Schult.	○		○	
	テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tentsuki</i> T. Koyama			○	
	ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i> Gaudich.	○		○	
	ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i> Nees et Meyen		○		
	ヒンジガヤツリ	<i>Lipocarpha microcephala</i> (R. Br.) Kunth	○	○	○	
	ミカヅキグサ	<i>Rhynchospora alba</i> (L.) Vahl				○
	オオイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fauriei</i> Franch.				○
	コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i> Makino			○	
	ホタルイ	<i>Schoenoplectus hotarui</i> (Ohwi) Holub	○	○		○
	イヌホタルイ	<i>Schoenoplectus juncooides</i> (Roxb.) Palla	○		○	
	カンガレイ	<i>Schoenoplectus triangulatus</i> (Roxb.) Soják			○	
	エゾアブラガヤ (ヒゲアブラガヤ)	<i>Scirpus asiaticus</i> Beetle				○
	アブラガヤ	<i>Scirpus wichurae</i> Boeck. f. <i>concolor</i> (Maxim.) Ohwi	○		○	○
	アイバソウ	<i>Scirpus wichurae</i> Boeck. f. <i>wichurae</i>			○	○
ショウガ目						
ショウガ科	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i> (Thunb.) Roscoe		○	○	○
ラン目						
ラン科	ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> Maxim.				○
	キソエビネ	<i>Calanthe alpina</i> Hook. f. var. <i>schlechteri</i> (H. Hara) F. Maek.				○
	エビネ	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.		○	○	
	キンセイラン	<i>Calanthe nipponica</i> Makino				○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ラン科)	ナツエビネ	<i>Calanthe reflexa</i> Maxim.		○		
	ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume		○	○	○
	ユウシュンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>subaphylla</i> (Miyabe et Kudô) Ohwi			○	○
	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume		○	○	○
	ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume		○	○	○
	オノエラン	<i>Chondradenia fauriei</i> (Finet) Sawada				○
	サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i> (D. Don) Makino var. <i>variabilis</i> (Blume) I. D. Lund	○	○	○	○
	トケンラン	<i>Cremastra unguiculata</i> (Finet) Finet	○		○	○
	シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i> (Rchb. f.) Rchb. f.	○	○	○	○
	コアツモリソウ	<i>Cypripedium debile</i> Rchb. f.				○
	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb.				○
	ツチアケビ	<i>Cyrtosia septentrionalis</i> (Rchb. f.) Garay			○	○
	ハクサンチドリ	<i>Dactylorhiza aristata</i> (Fisch.) Soó				○
	イチヨウラン	<i>Dactylostalix ringens</i> Rchb. f.				○
	サワラン (アサヒラン)	<i>Eleorchis japonica</i> (A. Gray) F. Maek.				○
	コイチヨウラン	<i>Ephippianthus schmidtii</i> Rchb. f.				○
	エゾスズラン (アオスズラン)	<i>Epipactis papillosa</i> Franch. et Sav.				○
	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i> A. Gray				○
	カモメラン	<i>Galearis cyclochila</i> (Franch. et Sav.) Soó				○
	オミノヤガラ	<i>Gastrodia elata</i> Blume			○	○
	ベニシュスラン	<i>Goodyera biflora</i> (Lindl.) Hook. f.			○	○

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ラン科)	アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> (Lindl.) Benth. var. <i>maximowicziana</i> (Makino) F. Maek.	○		○	○
	ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> Rehb. f.	○	○	○	○
	シュスラン (ピロードラン)	<i>Goodyera velutina</i> Maxim.			○	
	ノビネチドリ	<i>Gymnadenia camtschatica</i> (Cham.) Miyabe et Kudô				○
	テガタチドリ	<i>Gymnadenia conopsea</i> (L.) R. Br.				○
	ムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i> Blume	○	○		
	ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i> Franch. et Sav.	○	○	○	○
	アオジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i> Franch. et Sav. f. <i>viridis</i> Makino			○	
	クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i> F. Maek.	○	○	○	○
	クモイジガバチ	<i>Liparis truncata</i> F. Maek.				○
	ヒメフタバラン (オオフタバラン)	<i>Listera japonica</i> Blume	○		○	○
	アオフタバラン	<i>Listera makinoana</i> Ohwi			○	○
	アリドオシラン	<i>Myrmechis japonica</i> (Rehb. f.) Rolfe.				○
	コケイラン	<i>Oreorchis patens</i> (Lindl.) Lindl.	○	○	○	○
	ジンバイソウ	<i>Platanthera florentii</i> Franch. et Sav.			○	○
	ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i> Maxim.				○
	ノヤマトンボ (オオバノトンボソウ)	<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Rehb. f.			○	○
	オオヤマサギソウ	<i>Platanthera sachalinensis</i> F. Schmidt			○	○
	コバノトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> (L. f.) Lindl. subsp. <i>nipponica</i> (Makino) Murata				○
	トンボソウ	<i>Platanthera ussuriensis</i> (Regel et Maack) Maxim.			○	
トキソウ	<i>Pogonia japonica</i> Rehb. f.				○	

科名	和名	学名	A 地域	B 地域	C 地域	山岳 地域
(ラン科)	ヤマトキソウ	<i>Pogonia minor</i> (Makino) Makino			○	
	ヒナチドリ	<i>Ponerorchis chidori</i> (Makino) Ohwi				○
	ウチョウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i> Rchb. f.				○
	マツラン (ベニカヤラン)	<i>Saccolabium matsuran</i> Makino				○
	モミラン	<i>Saccolabium toramanum</i> Makino				○
	ネジバナ (モジズリ)	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M. Bieb.) H. Hara	○	○	○	○
	シロバナモジズリ	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M. Bieb.) H. Hara f. <i>albescens</i> (Honda) Honda		○	○	
	カヤラン	<i>Thrixspermum japonicum</i> (Miq.) Rchb. f.	○	○	○	
	ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i> Matsum.	○	○	○	○
	ショウキラン	<i>Yoania japonica</i> Maxim.				○
ハクウンラン	<i>Vexillabium nakaianum</i> F. Maek.			○	○	



## 【参考文献・引用文献】

- J. Reveal (1999)の web ページ
- H. Melchior and E. Werdermann (eds.), "A. Engler's Syllabus der Pflanzenfamilien. 2Bd., 12 Aufl." (1964) Verlag Gebruder Borntraeger, Berlin
- 朝日新聞社編 週刊朝日百科「植物の世界」創刊号別冊付録 「植物用語集+植物分類表」(1994) 「植物分類表」(清水建美監修) p. 4-6
- 浅野貞夫・桑原義晴編：日本 山野草・樹木生態図鑑 シダ類・裸子植物・被子植物(離弁花)編 1990 全国農村教育協会
- いがりまさし：日本の野菊(山溪ハンディ図鑑11) 2007 山と溪谷社
- いがりまさし：日本のスミレ(山溪ハンディ図鑑6) 1996 山と溪谷社
- 池畑怜伸：写真でわかるシダ図鑑 2006 トンボ出版
- 岩槻邦男：日本の野生植物 シダ 1992 平凡社
- 大井次三郎：日本植物誌 1953 至文堂
- 長田武正：原色日本帰化植物図鑑 1976 保育社
- 長田武正：日本イネ科植物図譜 1989 平凡社
- 勝山輝男：日本のスゲ 2005 文一総合出版
- 北村四郎・村田源：原色日本植物図鑑 木本編(I)、(II) 1971 1979 (1997) 保育社
- 北村四郎・村田源他：原色日本植物図鑑 草本編(I)、(II)、(III) 1957 1961 1964 (1998) 保育社
- 木原浩・清水建美：高山に咲く花(山溪ハンディ図鑑8) 2002 山と溪谷社
- 佐竹義輔他：日本の野生植物 草本I、II、III 1981 1982 平凡社
- 佐竹義輔他：日本の野生植物 木本I、II 1989 平凡社
- 清水健美：原色新日本高山植物図鑑 (I)、(II) 1982 1983 保育社
- 清水健美編：日本の帰化植物 2003 平凡社
- 清水矩宏他：日本帰化植物写真図鑑 2001 全国農村教育協会
- 田川基二：原色日本羊歯図鑑 1960 保育社
- 永田芳男・西田尚道他：山に咲く花(山溪ハンディ図鑑2) 1996 山と溪谷社
- 前川文夫：原色日本のラン 1971 誠文堂新光社
- 牧野富太郎：増補改訂牧野新日本植物圖鑑 1989 北隆館
- 邑田仁編：原色牧野植物大圖鑑 CD-ROM 2000 北隆館
- 茂木透・勝山輝男他：野に咲く花(山溪ハンディ図鑑1) 1989 山と溪谷社
- 茂木透・勝山輝男他：樹に咲く花 離弁花1、2(山溪ハンディ図鑑3、4) 2000 山と溪谷社
- 茂木透・勝山輝男他：樹に咲く花 合弁花、単子葉、裸子植物(山溪ハンディ図鑑5) 2001 山と溪谷社
- 生物学御研究所編：那須の植物誌 1972、那須の植物誌続編 1985 保育社
- 栃木県：レッドデータブックとちぎ 2005
- 栃木県：とちぎの植物 (I)、(II) 2003

